brother

ユーザーズガイド
応用編
MFC-8890DW

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド基本編 7章「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version A JPN

やりたいことがすぐ探せる! やりたいこと目次 6P

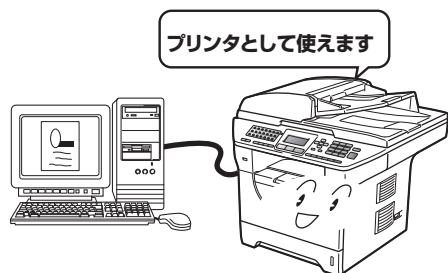
目　次

Macintosh 編

やりたいこと目次

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

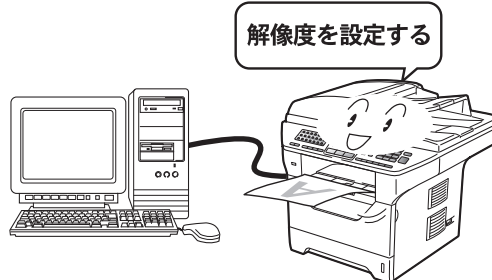
プリンタ

プリンタとして使いたい。

[Windows® の場合]

P.14

[Macintosh の場合]

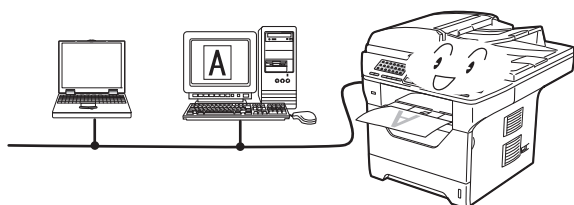
P.140

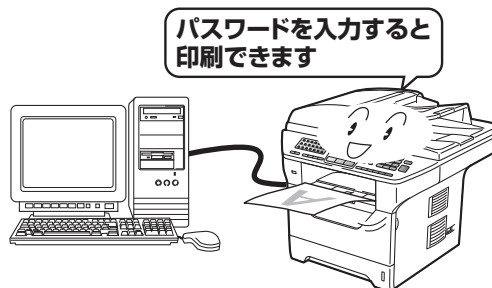
印刷設定を変更したい。

[Windows® の場合]

P.21

[Macintosh の場合]

P.150

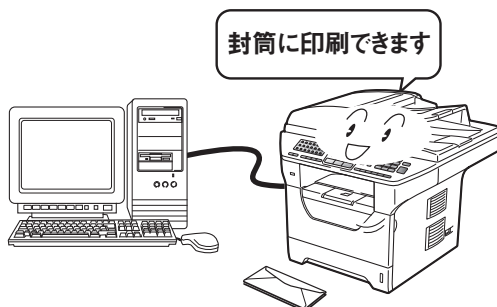
ネットワーク内で本製品を共有プリンタとして使いたい。

詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

機密文書を印刷したい。[セキュリティ印刷]

[Windows® の場合]

P.32

[Macintosh の場合]

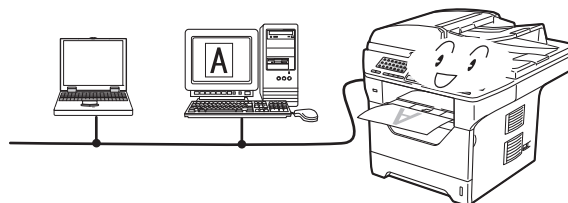
P.156

封筒に印刷したい

[Windows® の場合]

P.23

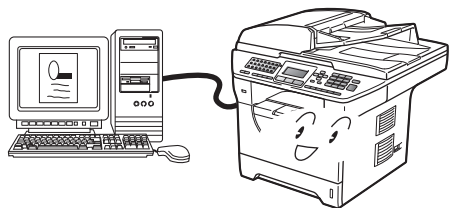
[Macintosh の場合]

P.152

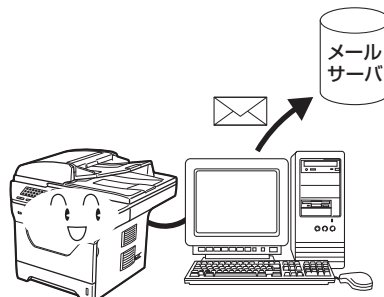
ユーザーごとに印刷枚数を制限したい。

詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

スキャナ

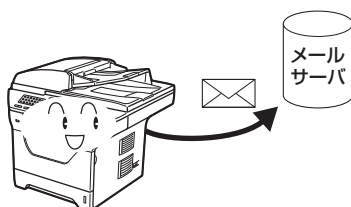
原稿をスキャンしてコンピュータに保存したい。[スキャン to ファイル]

スキャンした原稿を、コンピュータの指定したフォルダに保存します。

[Windows® の場合]
P.59
[Macintosh の場合]
P.171

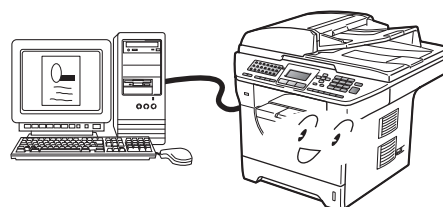
原稿をスキャンして E メールで送りたい。[スキャン to E メール添付]

スキャンした原稿を E メールに添付して送信できます。

[Windows® の場合]
P.56
[Macintosh の場合]
P.168

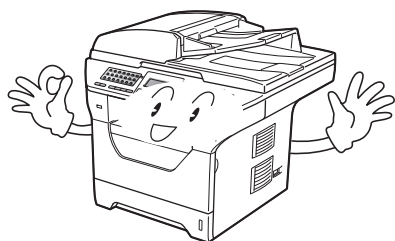
原稿をスキャンして本製品から直接 E メールで送りたい。[スキャン to E メール送信]

スキャンした原稿をコンピュータに送らず、本製品から直接 E メールで送信できます。

[Windows® の場合]
P.53
[Macintosh の場合]
P.165

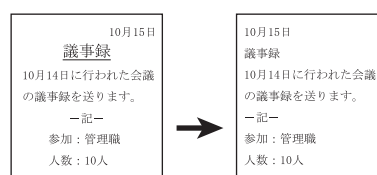
原稿をスキャンしてアプリケーションソフトに送りたい。[スキャン to イメージ]

スキャンした原稿をコンピュータの指定したアプリケーションソフトに送って編集できます。

[Windows® の場合]
P.57
[Macintosh の場合]
P.169

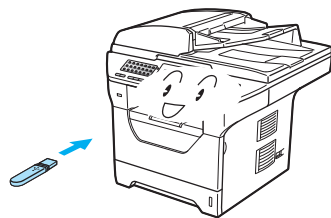
原稿をスキャンして FTP サーバに送りたい。[スキャン to FTP]

スキャンした原稿をネットワーク上またはインターネット上の FTP サーバに保存できます。

[Windows® の場合]
P.60
[Macintosh の場合]
P.172

文字を修正できるようにスキャンしたい。[スキャン to OCR]

スキャンした原稿を解析して、文書（テキスト）データに変換できます。

[Windows® の場合]
P.58
[Macintosh の場合]
P.170

原稿をスキャンしてUSBメモリに保存したい。
[スキャン to USB]

スキャンした原稿を本製品に接続したUSBメモリに保存できます。

[Windows® の場合]
P.62

[Macintosh の場合]
P.174

コンピュータを使わずにスキャンしたい。
[スキャン to E メール送信]
[スキャン to ネットワークファイル]
[スキャン to FTP]
[スキャン to USB]

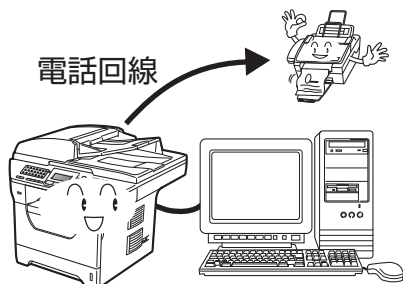
スキャンした原稿をコンピュータに送らずに、本製品で E メール送信／共有ネットワークフォルダへの保存／ FTP サーバへの送信／ USB メモリーへの保存ができます。

[Windows® の場合]
P.53 （スキャン to Eメール送信）
P.61 （スキャン to ネットワークファイル）
P.60 （スキャン to FTP）
P.62 （スキャン to USB）

［Macintoshの場合］
P.165 （スキャン to Eメール送信）
P.173 （スキャン to ネットワークファイル）
P.172 （スキャン to FTP）
P.174 （スキャン to USB）

PCファクス

コンピュータからファクスを送りたい。［PC ファクス送信］

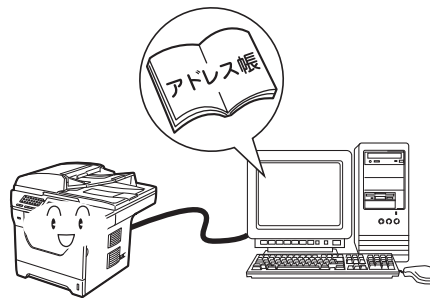
コンピュータで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。印刷してからファクスする必要はありません。

［Windows® の場合］

P.97

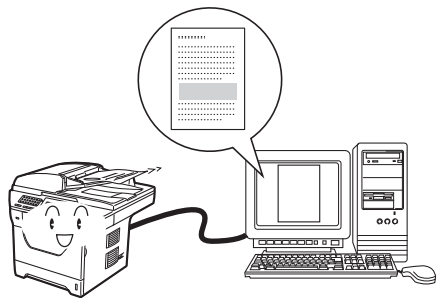
［Macintosh の場合］

P.200

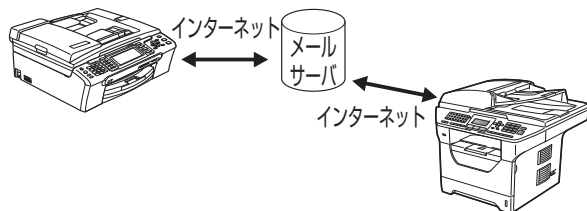
アドレス帳を利用したい。［PC ファクスアドレス帳］（Windows® のみ）

PC ファクスを送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows® メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。

P.100

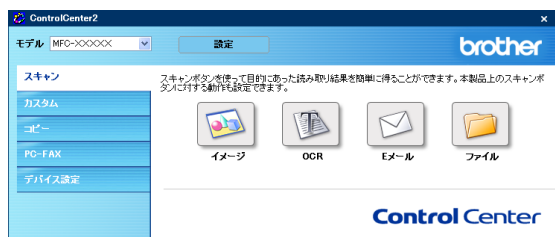
受信したファクスをコンピュータで確認したい。［PC ファクス受信］（Windows® のみ）

受信したファクスを本製品と接続しているコンピュータに送ります。コンピュータ上で内容を確認してから印刷できます。

P.111

インターネットファクス

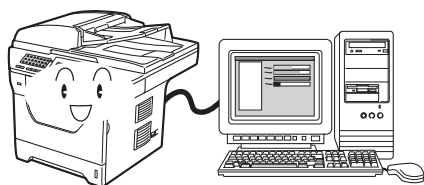
インターネット経由でファクスを送信、受信したい。
[インターネットファクス]

P.116

その他

スキャナ、PC ファクスなどをかんたんに起動したい。
[ControlCenter2、3]

[Windows® の場合]
P.127
[Macintosh の場合]
P.206

コンピュータから本製品の状態を確認したい。
[ステータスモニタ]

[Windows® の場合]
P.20
[Macintosh の場合]
P.147

コンピュータから簡単に電話帳の登録などの設定をしたい。
[リモートセットアップ]

[Windows® の場合]
P.85
[Macintosh の場合]
P.192

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
「XXX」	ユーザーズガイド基本編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。

商標について

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、True Typeは、Apple Inc.の登録商標です。
Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、PhotoshopおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の商標です。
Intel、Intel Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
本ガイドに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Windows®編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。
プリンタドライバは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
コンピュータとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

補足

Windows® XP Service Pack 2以降/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて印刷できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは画面で見るマニュアル(HTML形式)を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもコンピュータからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高30枚（A4）の片面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 自動両面印刷

1分間に最高13ページ※の両面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）
省資源、経費節減に有効です。
※両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、6.5枚/分です。

● 1200 × 1200dpi（最高）出力

普通紙に1200×1200dpi（最高）相当の解像度で印刷します。（解像度を上げていくほど印刷速度は遅くなります。）
HQ1200 (2400×600dpi)よりもきれいに印刷することができます。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

● 双方向パラレルインターフェース（IEEE1284）に対応

本製品のパラレルポートはコンピュータとの双方向通信に対応します。（Windows Vista®には対応していません。）

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、はがきおよびOHPフィルムなどに対応します。

● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、画面で見るマニュアル(HTML形式)を参照してください。

● セキュリティ印刷

データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくはP.32を参照してください。

● ID 印刷

ログインユーザー名など印刷者のIDを記録紙に印刷することができます。印刷者を容易に特定でき、機密情報の漏洩や印刷の無駄を防止するのに役立ちます。詳しくはP.32を参照してください。

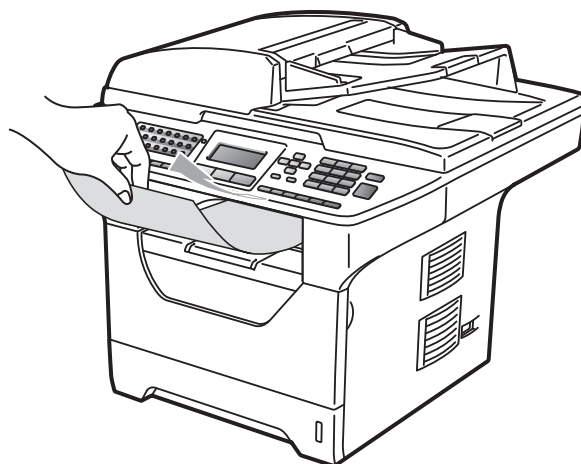
● 印刷枚数の制限

ユーザーごとにパスワードを割り当てて、印刷枚数を制限することで不要な出力を防止し、経費削減につながります。
詳しくは、画面で見るマニュアル(HTML形式)を参照してください。

補足

●解像度などの設定についてはP.24を参照してください。

●記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド基本編1章「ご使用の前に　記録紙について」を参照してください。

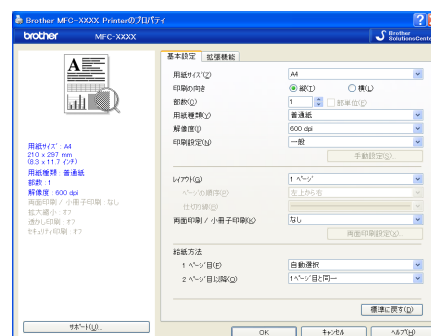
●印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

●本製品がコンピュータからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはコンピュータの印刷終了後です。また、コンピュータから印刷中にファクスを受信すると、コンピュータの印刷終了後に受信したファクスの印刷を開始します。ファクス送信は、印刷中でも可能です。

ご使用のソフトウェアの種類やコンピュータの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

印刷する

片面に印刷する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する

両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

［基本設定］タブの両面印刷 / 小冊子印刷から［両面印刷］を選択する

両面印刷の設定は、［両面印刷設定］をクリックしてください。

［OK］をクリックする

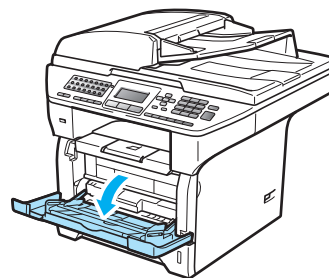
［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

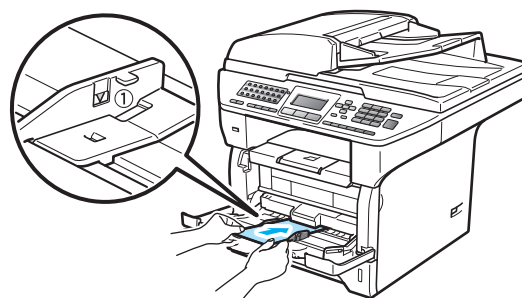
本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。

多目的トレイ（MPトレイ）を使用して印刷する

多目的トレイを開く

必要に応じて、用紙ストッパーを開きます。

印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする

記録紙は、多目的トレイ（MP トレイ）の両側にある記録紙ガイド（①）に収まるようにセットしてください。

記録紙ガイドをつまみながら、記録紙の幅に合わせる

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

［給紙方法］のプルダウンメニューから［MP トレイ］を選択し、［OK］をクリックする

必要に応じて、用紙サイズや向きなどの印刷設定を行ってください。

［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

注意

■用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■多目的トレイ（MPトレイ）から用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に最上面の用紙以外を押さえてください。

操作パネルからのプリント操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

キャンセルを押す

メモリー内のデータが消去されます。

すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル （全て）」と表示されるまでキャンセルを押します。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、1の順に押す

- ▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。
- [1. HP LaserJet]または[2. BR-Script 3]を選択します。

スタートを押す

フォントリストが出力されます。

停止/終了を押す

プリンタ設定内容リストの出力

現在のプリンタの設定内容を印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、2 ABCの順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

スタートを押す

プリント設定内容が出力されます。

停止/終了を押す

テスト印刷

印刷の品質をテスト印刷して確認します。

メニュー、4 GHI、2 ABC、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

スタートを押す

テスト印刷が出力されます。

停止/終了を押す

両面印刷

プリンタの印刷設定を両面にすることができます。
両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

メニュー、4 GHI、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼を押して設定を選択する

［オフ］［オン（長辺とじ）］［オン（短辺とじ）］を選択します。

OKを押す

停止/終了を押す

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

メニュー、4 GHI、4 GHI の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

1を押す

プリント設定内容が初期化されます。

停止/終了を押す

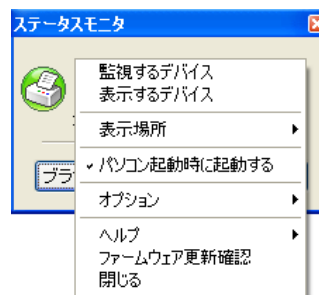
印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

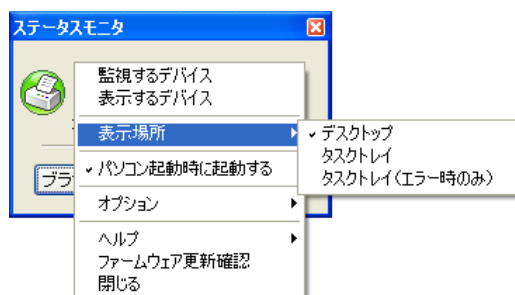
ご使用のコンピュータからステータスモニタで本製品の印刷状況などを確認できます。

ステータスモニタを起動する

［スタート］メニューの［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］の順に選択する

ステータスモニタウインドウが表示されます。

ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［パソコン起動時に起動する］をクリックしてチェックする

ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューの［表示場所］から、ステータスモニタを表示させたい場所を選択してチェックする

ステータスモニタが選択した表示場所に表示されます。

補足

- タスクバーの通知領域にあるステータスモニタアイコンを右クリックしても手順2～3の操作が可能です。
- ［パソコン起動時に起動する］のチェックをはずすと、次回起動時からステータスモニタは表示されません。

本製品の状態を確認する

ステータスモニタアイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

- **緑色のアイコン**

  本製品は正常に動作しています。

- **黄色のアイコン**

  本製品は警告状態です。

- **赤色のアイコン**

  本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題の解決方法は、画面で見るマニュアル(HTML形式)の「こんなときは」を参照してください。

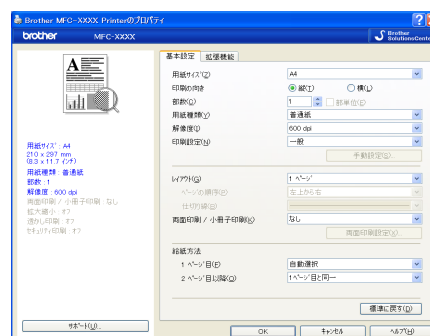
プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本製品をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））
ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピュータから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

各項目を設定する

設定内容の詳細はP.22を参照してください。

［OK］をクリックする

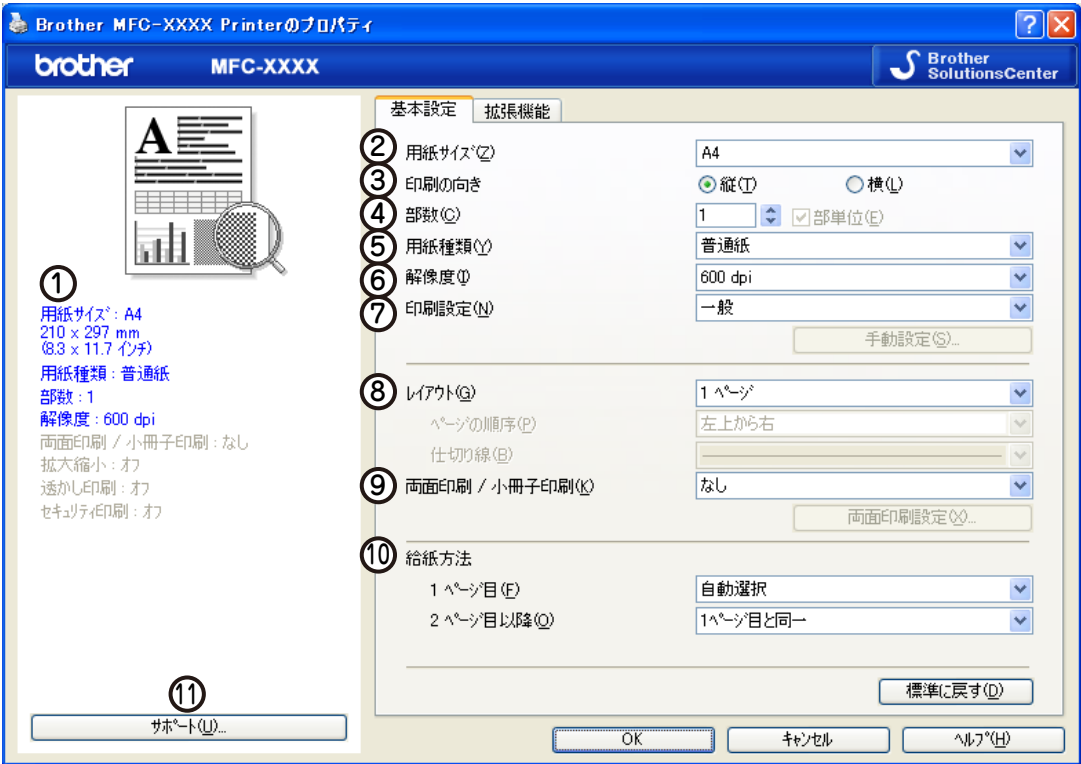
［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

補足

お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックします。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、お使いのアプリケーションの設定が優先されることがありますので、同時に使用しないでください。

［基本設定］タブでの設定項目

設定後［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

①　現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

②　用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する［用紙サイズ］を選択します。

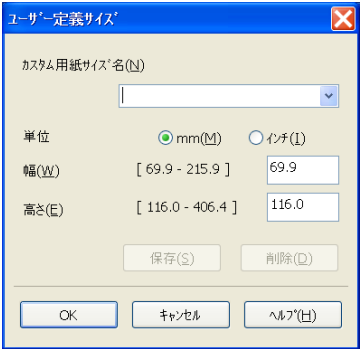
- A4
- レター
- リーガル
- A5
- A5(横)
- A6
- B5
- ハガキ
- 洋形4号封筒
- 洋形定形最大封筒
- A3
- B4
- ユーザー定義

<ユーザー定義サイズ>

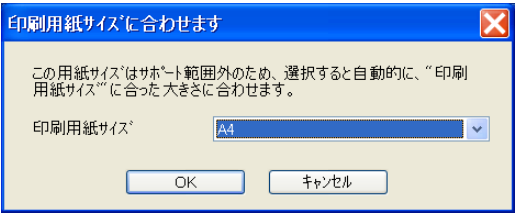
本製品は下記の範囲内で、任意の用紙サイズを印刷することができます。

最小　69.9×116ミリメートル（2.75×4.57インチ）
最大　215.9×406.4ミリメートル（8.5×16インチ）

このオプションでは特定の大きさの用紙を次の方法で登録できます。

1 使いたい用紙のサイズを計ります。
2 ［用紙サイズ］から［ユーザー定義 ...］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。
3 ［カスタム用紙サイズ名］に用紙名称を入力します。
4 単位は［mm］か［インチ］を選択します。
5 ［幅］と［高さ］を指定します。
6 ［保存］をクリックして用紙サイズを登録します。必要に応じて［削除］をクリックすることで、あらかじめ登録してある用紙サイズを削除することができます。
7 ［OK］をクリックすると、設定した値をユーザー定義サイズとして使用することができます。

<印刷用紙サイズに合わせます>

［用紙サイズ］から［A3］または［B4］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。

本製品で対応していない用紙サイズ（A3、B4）を仮想の用紙サイズとして選択可能にしています。これらの用紙サイズは、ダイアログボックスの［印刷用紙サイズ］で印刷可能サイズに変換して印刷します。

③　印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦選択時	横選択時

④　部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。［部単位］のチェックボックスをチェックすると、文書全体が1部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。［部単位］チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

部単位チェックボックスがチェック	部単位チェックボックスが未チェック
1 2 1 2	1 1 2 2

⑤　用紙種類

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている普通紙やコピー用紙に印刷する場合は、［普通紙］を選択します。

市販されている普通紙やコピー用紙で厚めのものに印刷する場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。

厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙］を選択します。［厚紙］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。

再生紙には［再生紙］を選択します。

⑥　解像度

解像度を次の4種類から選択します。

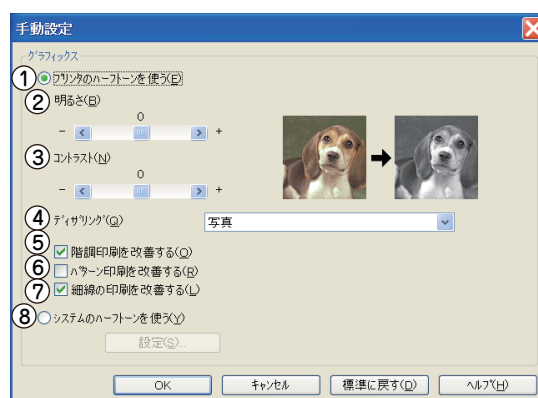
「300 dpi」:	1 インチあたり 300 × 300 ドットの解像度で印刷します。
「600 dpi」:	1 インチあたり 600 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「HQ1200」:	1 インチあたり 2400 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「1200dpi」:	1 インチあたり 1200 × 1200 ドットの解像度で印刷します。

"メモリーがいっぱいです"のエラーが表示されている場合は、解像度を下げて印刷してください。

⑦　印刷設定

印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。

「一般」:	一般的な印刷モードです。
「グラフィックス」:	写真、およびグラフィックスなどの線やグラデーションに最適な印刷モードです。
「オフィスドキュメント」:	ビジネス文書、プレゼンテーション資料など文字、グラフ、チャートが多い印刷に最適な印刷モードです。
「テキスト」:	文字の印刷に適した設定です。
「手動設定」:	手動設定を選択した場合、［設定］をクリックして設定を変更できます。

手動設定の詳細

①プリンタのハーフトーンを使う　グラフィックを印刷するときにプリンタのハーフトーンを使用します。

②「明るさ」：　スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、より明るくなった印刷結果が得られます。数字を減らすと、より暗くなった印刷結果が得られます。

③「コントラスト」：　スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、コントラストが強くなり、暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るく印刷されます。
数字を減らすとコントラストが弱くなり、暗い部分と明るい部分の差が少なくなった印刷結果が得られます。

④「ディザリング」：　ディザリングは、印刷パターンを生成する方法を指定するものです。本製品では白黒印刷のみが可能ですが、下記のパターンを使用するとハーフトーン（灰色の濃淡）の印刷が可能になります。

・写真
写真など階調が連続している印刷に適した設定です。
暗部の微妙な階調の変化を再現できます。

・グラフィックス
グラフィックスなど、線やグラデーションに適した設定です。はっきりした濃さの表現になります。写真を印刷した場合、コントラストの大きい印刷になります。

・チャート / グラフ
ビジネス文書やプレゼンテーション資料など、文字・グラフ・チャートが多い印刷に適した設定です。
同じ濃さの領域は、ざらつきを少なく印刷します。

・テキスト
文字の印刷に適した設定です。
より小さな色文字がはっきりした表現になります。
写真を印刷した場合、濃い印刷になります。

⑤「階調印刷を改善する」：　階調部分がきれいに印刷されない場合に、チェックボックスをチェックします。

⑥「パターン印刷を改善する」：　グラフのようにパターンが含まれる図形において、印刷されたパターンがコンピュータの画面上に表示されたものよりも細かい場合は、このチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。アプリケーションソフトによっては、チェックしても改善されない場合があります。

⑦「細線の印刷を改善する」：　グラフ等で描画される線を太くします。線が細かい場合は、このチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。

⑧システムのハーフトーンを使う　グラフィックを印刷するときにシステムのハーフトーンを使用します。［設定］をクリックして設定を変更します。

⑧　レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して1枚のページを複数の用紙に印刷できます。

例：４枚を１ページに縮小印刷

例：１枚を４ページに拡大印刷

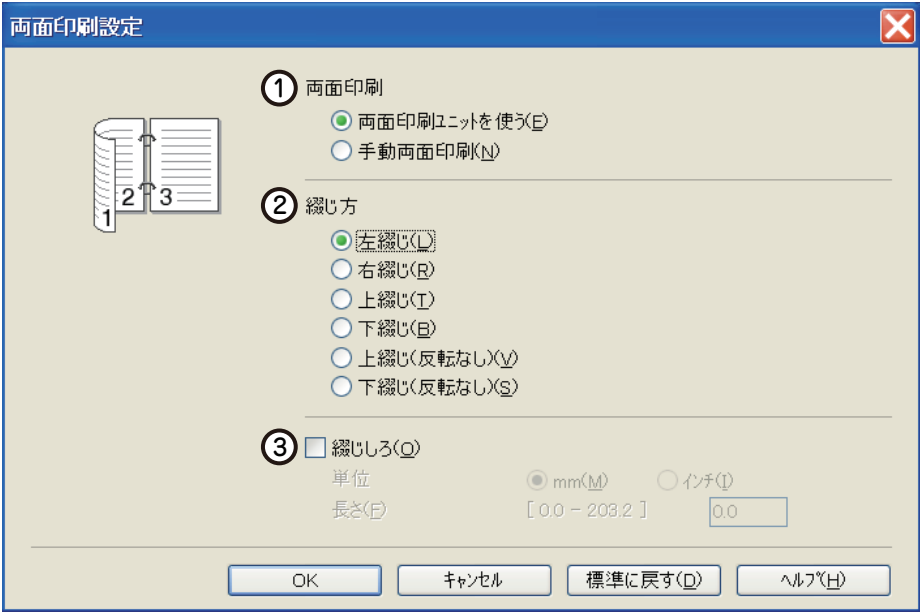
仕切り線

［レイアウト］機能で複数のページを１枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「————」（実線）、「---------」（破線）、「なし」から選択できます。

⑨　両面印刷／小冊子印刷

自動両面印刷または小冊子印刷をするときにプルダウンメニューから選択します。

・両面印刷･････････自動で用紙の両面に印刷したいときに設定します。

・小冊子印刷･･････両面印刷機能とレイアウト機能のを組み合わせることで、小冊子のような印刷物を作ることができます。

①両面印刷　　自動または手動両面印刷の設定ができます。

②綴じ方　　印刷の向き、縦または横など6種類（小冊子印刷は2種類）の綴じ方があります。

③綴じしろ　　綴じしろの量をミリメートルまたはインチで設定できます。

⑩　給紙方法

オプションの「記録紙トレイ#2」（LT-5300）を装着しているときは、1ページ目と2ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

1ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ1
- トレイ2（オプション）
- MPトレイ（多目的トレイ）
- 手差し

2ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1ページ目と同一
- トレイ1
- トレイ2（オプション）
- MPトレイ（多目的トレイ）
- 手差し

⑪　サポート

ドライバのバージョンと設定情報が表示されます。また、Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）へのリンクもあります。

サポートボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

① Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）、ユーザーズガイド、最新のドライバやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

② ブラザー純正消耗品のご案内

ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページが表示されます。

③ 設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

④ バージョン情報

プリンタドライバについての情報を表示します。

[拡張機能] タブでの設定項目

Windows®のプリンタ共有機能を使って印刷する場合、ご使用のOSの種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

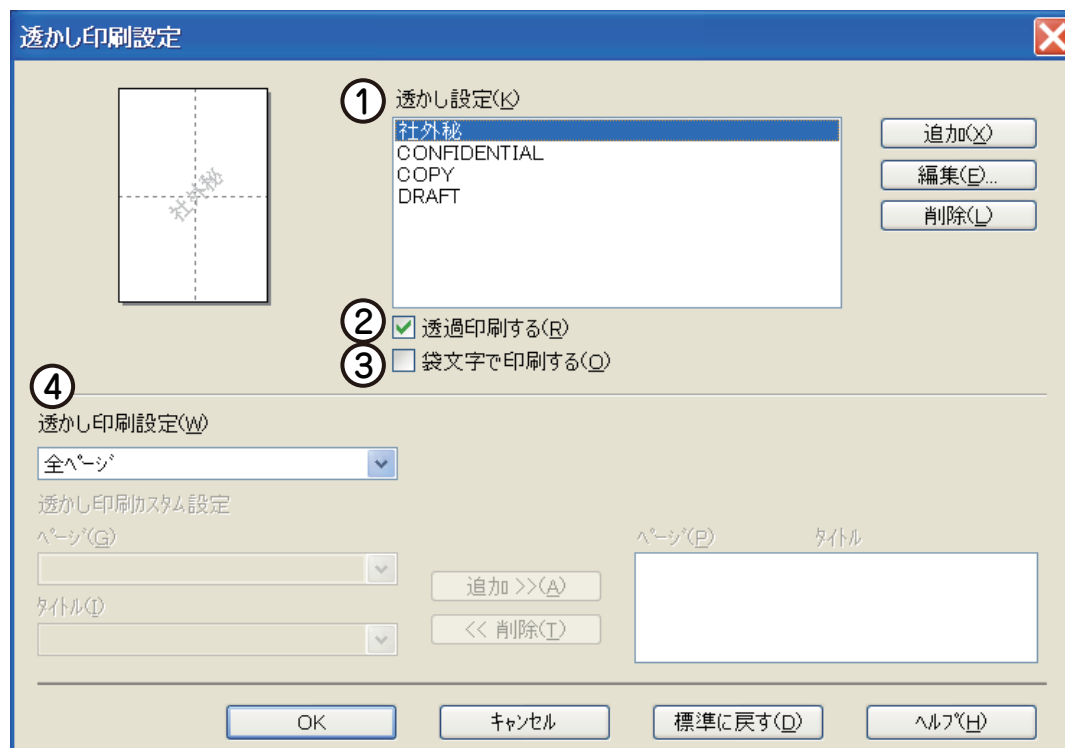
① 拡大縮小

文書を作成したサイズどおりに印刷する場合は、[オフ] を選択します。
記録紙サイズに合わせて倍率を変えたい場合は、[印刷用紙サイズに合わせます] を選択して、用紙サイズを選択します。
倍率を指定する場合は、[任意倍率] を選択して、倍率を指定します。

② 上下反転

チェックボックスをチェックすると、上下を逆にして印刷することができます。

③　透かし印刷を使う

ロゴやテキストを透かしとして文書に入れることができます。あらかじめ設定された透かしの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイル、またはテキストを透かしとして登録して使うことができます。
チェックボックスをチェックすると、「透かし設定」から選択した透かしを文書に入れて印刷できるようになります。また選択した透かしは、編集することもできます。
チェックボックスをチェックし、［設定］をクリックすると、下記の透かし印刷設定ダイアログボックスが表示されます。

① 透かし設定

選択した透かしが左のプレビュー画面に表示されます。
透かし印刷設定（④）で［全ページ］、［開始ページのみ］、［2ページ目から］を選択した場合、指定のページにはここで選択した透かしが印刷されます。

② 透過印刷する

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書に対し透過して透かしが印刷されます。

③ 袋文字で印刷する

チェックボックスをチェックすると、透かしが袋文字で印刷されます。

④ 透かし印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム
  ページごとに異なる透かしを設定できます。

カスタムページ設定

透かし印刷設定（④）で［カスタム］を選択すると、ページごとに異なる透かしを設定できます。

● 設定の追加

［ページ］に透かしを設定したいページを入力します。

［タイトル］で使用したい透かしを選択します。

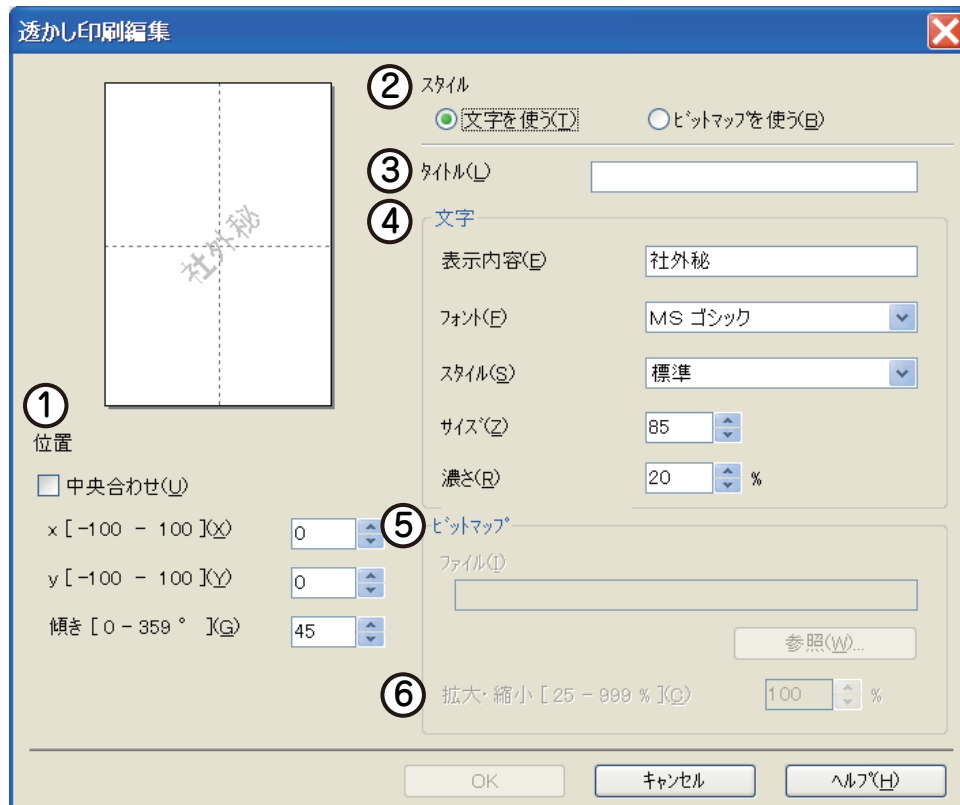
［追加］をクリックします。設定テーブル（右の枠）に追加表示されます。

● 設定の削除

設定テーブルで、削除したいページの設定を選択します。

［削除］をクリックします。透かしが削除され、設定テーブルに表示されなくなります。

● 透かし印刷編集

透かしを選択し、［編集］ボタンを押すと、選択した透かしの設定情報が表示されます。
また、これらの設定値はすべて変更することができます。
新しい透かしを追加したい場合は、［ 新規 ］ボタンをクリックし、［タイトル］および［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択し、その他の情報を設定します。

① 位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

② スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

③ タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、［透かし設定］に表示されます。

④ 文字

透かし絵の文字を［表示内容］ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイルを選択します。

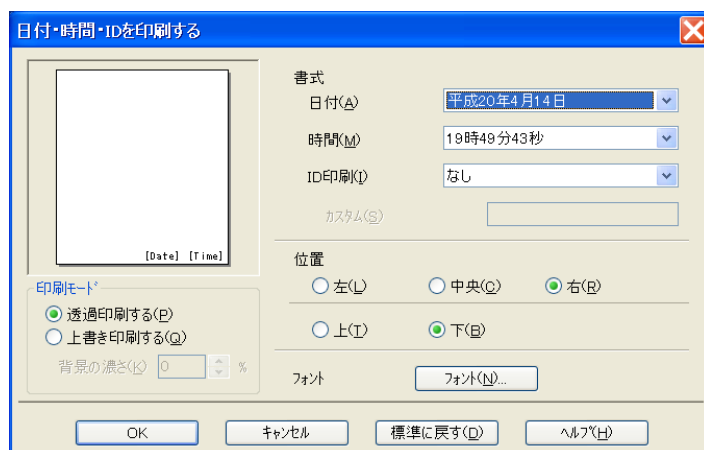
⑤ ビットマップ

［ファイル］ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、
［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥ 拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

④　日付・時間・IDを印刷する

印刷した日付と時間、ユーザーを識別するためのID情報を設定したフォーマットで文書に印刷できます。
日付・時間・ID の設定をするには、チェックボックスをチェックし、［設定］ボタンをクリックします。［日付・時間・ID を印刷する］ダイアログボックスが表示されます。

印刷モード、日付と時間の書式、ID印刷、位置、フォントを設定します。

- 印刷モード
  ［上書き印刷する］を選択すると、［背景の濃さ］で設定した濃度で、付加する文字の背景に色を付けて印刷します。
  ［透過印刷する］を選択すると、付加する文字だけ印刷されます。
- ID印刷
  ［ログインユーザー名］を選択すると、コンピュータにログインしたユーザー名が印刷されます。
  ［カスタム］を選択すると、［カスタム］欄に入力した名前が印刷されます。

⑤トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約することができます。

⑥セキュリティ印刷

コンピュータから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

コンピュータ側でセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する
▼
コンピュータで印刷を実行する
▼
印刷データが本製品に届き、本製品のメモリー内に保持される
▼
本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データは本製品のメモリーから消去されます。

● コンピュータ側の操作

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

ダイアログボックスの［拡張機能］タブで、セキュリティ印刷の［設定］をクリックする

［セキュリティ印刷設定］で、［セキュリティ印刷］チェックボックスにチェックを付ける

パスワード（半角数字４桁）と印刷ジョブ情報を設定する

［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスで印刷を実行する

● 本製品の操作

8

を押す

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。

9 **▲または▼を押してユーザーを選択し、OKを押す**

10 **▲または▼を押して印刷したいデータを選択し、OKを押す**

11 **4桁のパスワードを入力し、OKを押す**

12 **▲または▼を押して「プリント」を選択し、OKを押す**

印刷をしないでデータを削除する場合は、▲または▼を押して「消去」を選択し、OKを押してください。

13 **プリントしたい部数（1～99）をダイヤルボタンで入力し、OKを押す**

印刷を開始します。

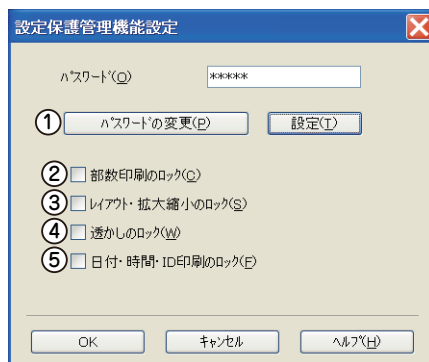
⑦設定保護管理機能

「設定保護管理機能」の［設定］をクリックすると、部数印刷、レイアウト・拡大縮小、透かし、日付・時間・ID 印刷のロックをすることができます。

補足

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［印刷］から表示したプリンタドライバの設定画面では、設定保護管理機能の項目が表示されません。プリンタドライバの設定画面は、次の手順で［スタート］メニューから表示してください。

①Windows® XPの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］をクリックします。
Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
Windows Vista® の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

②「Brother MFC-XXXX」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

① パスワード

保護したい機能を変更する場合は、登録したパスワードを入力し、［設定］をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。
パスワードを変更したいとき、またははじめてこの機能を設定する場合に、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。

② 部数印刷のロック

部数印刷をロックして複数部印刷をできないようにします。

③ レイアウト・拡大縮小のロック

現在設定されているレイアウト・拡大縮小設定にロックします。もし、レイアウト設定が「2 ページ」以外に設定されている場合、小冊子印刷ができなくなります。

④ 透かしのロック

現在設定されている透かし設定にロックします。

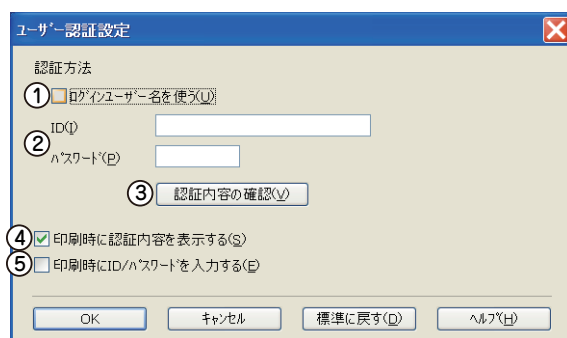
⑤ 日付・時間・ID 印刷のロック

現在設定されている日付・時間・ID 印刷の設定にロックします。

⑧ユーザー認証

セキュリティ機能ロックによってコンピュータからのプリント(出力)が制限されている場合に、ユーザー認証の設定や制限状況の確認をすることができます。

補足

セキュリティ機能ロックの設定やユーザー登録の詳しい操作方法は、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

① ログインユーザー名を使う

コンピュータにログインするために使用しているユーザー名で認証を行います。

② ID、パスワード

セキュリティ機能ロックで登録したID/パスワードで認証を行います。

③ 認証内容の確認

クリックすると現在の制限状況が表示されます。

④ 印刷時に認証内容を表示する

チェックすると印刷開始前に制限状況が表示されます。

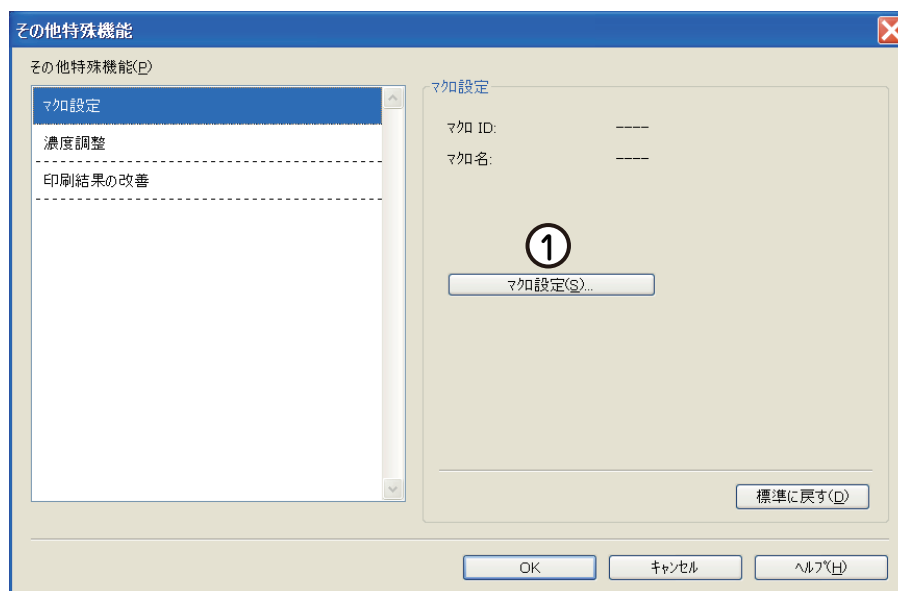
⑤ 印刷時に ID ／パスワードを入力する

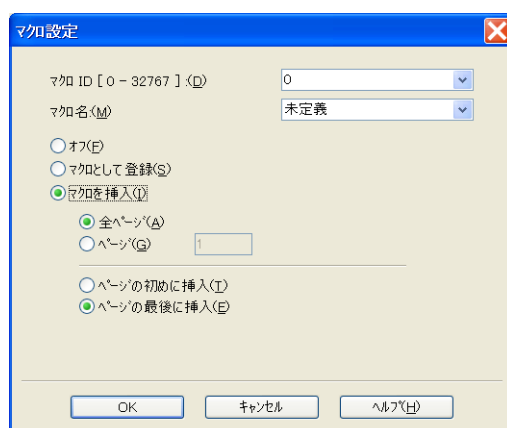
チェックすると印刷開始前にID、パスワードの入力画面が表示されます。

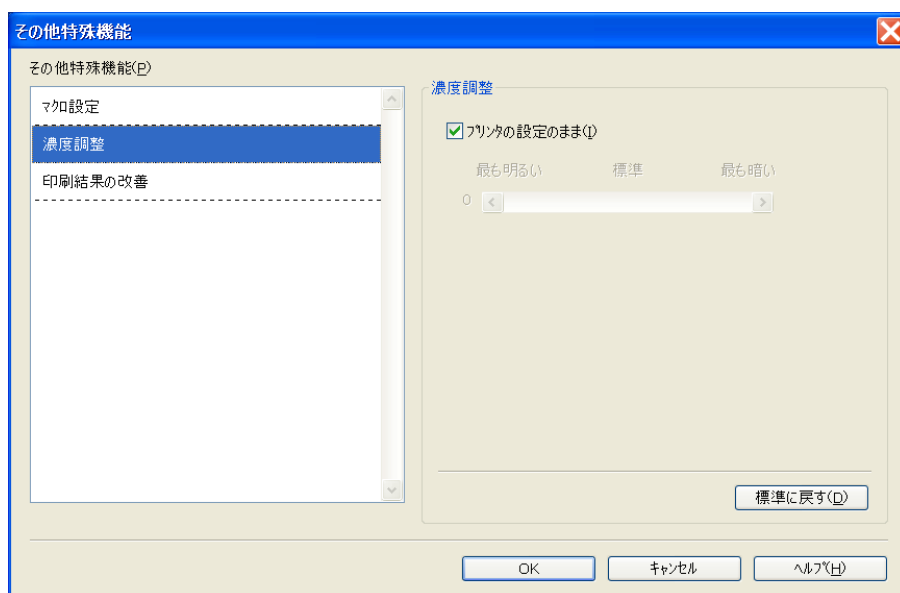
⑨その他特殊機能

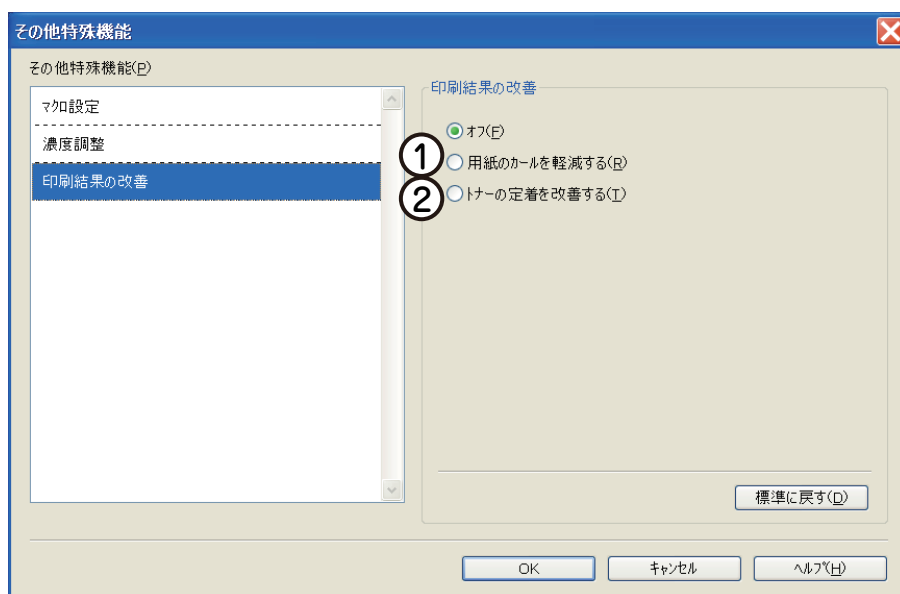
［その他特殊機能］をクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。

● マクロ設定

マクロとして、本製品のメモリーに文書を登録することができます。登録したマクロは、印刷時に実行して、文書にオーバーレイとして印刷できます。
フォーム、会社ロゴ、手紙の書き出し文、送り状など、よく使う情報を登録してご使用になると便利です。

① マクロ設定ボタン

［マクロ設定］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

● 濃度調整

印刷時のトナーの密度を調節できます。
初期設定は、「プリンタの設定のまま」です。
手動でトナーの密度を変更するときは、「プリンタの設定のまま」チェックボックスのチェックをはずし、調節します。

● 印刷結果の改善

印刷時の品質を改善することができます。

①用紙のカールを軽減する

印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」チェックボックスをチェックすることでカールが軽減される場合があります。
チェックしても改善されない場合は、［基本設定］タブの用紙種類P.24をより薄いものに変更してください。

②トナーの定着を改善する

印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」チェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。
チェックしても改善されない場合は、［基本設定］タブの用紙種類P.24をより厚いものに変更してください。

［オプション］タブでの設定項目

オプションの「増設記録紙トレイ」（LT-5300）を装着し、使用可能にするには、ドライバにオプションをインストールする必要があります。オプションタブでは、本製品に装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。

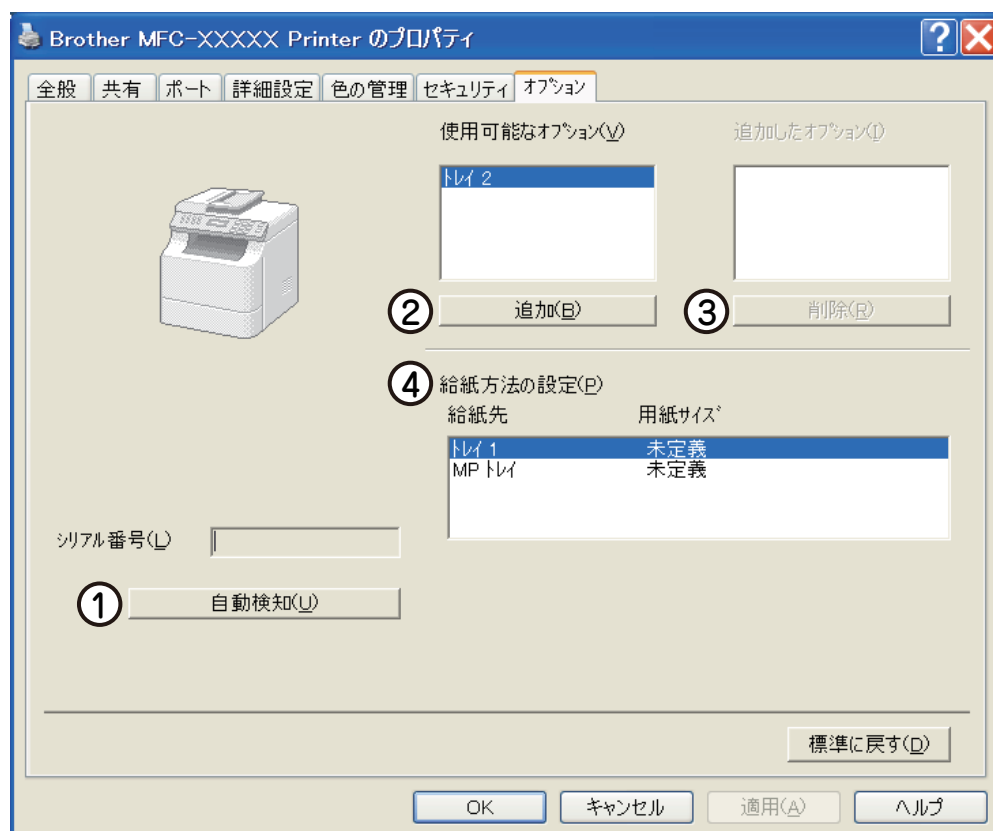
［オプション］タブを表示する

プリンタドライバの一覧を表示する

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［プリンタ］をダブルクリックして開きます。

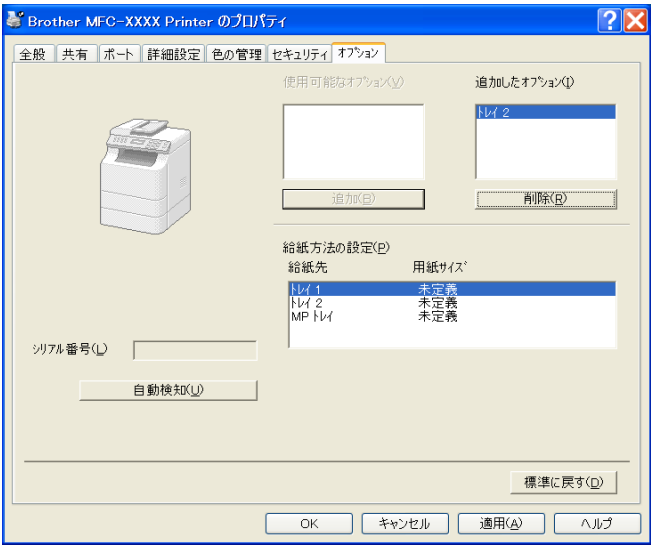
本製品を選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。

［オプション］タブをクリックする

①自動検知

本製品に装着されているオプションや給紙先の用紙サイズ設定情報を取得して、オプション設定を自動的に行います。同時に、画面には［増設記録紙トレイ］が設置された本製品のイラストと認識されたシリアル番号が表示されます。

補足

自動検知による設定情報の取得は、プリンタドライバが選択している印刷先のポートに本製品が接続され、かつ双方向通信が働く状態であることが必要です。

②追加

使用可能なオプションのリストから追加するオプションを選択して、追加ボタンをクリックします。

③削除

追加したオプションのリストから削除するオプションを選択して、削除ボタンをクリックします。

④給紙方法の設定

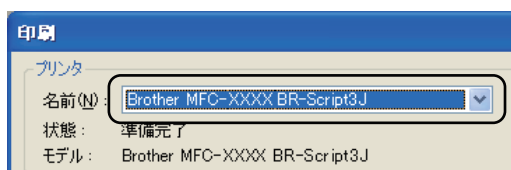
各給紙先に対して設定されている用紙サイズの情報を表示します。

BR-Script3プリンタドライバについて

BR-Script3プリンタドライバはWindows® 2000/XP/Windows Vista®をサポートしています。プリンタドライバは、CD-ROM に収録されています。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

Windows® BR-Script3プリンタドライバを設定する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

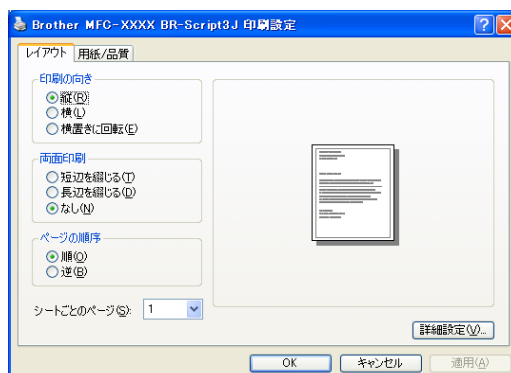
［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

補足

プリンタドライバの設定画面は、「スタート」メニューから表示することもできます。

① ［スタート］メニューから［プリンタとFAX（プリンタ）］をクリックします。

② ［Brother（モデル名）BR-Script 3J］を右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

各項目を設定する

設定内容の詳細はP.44を参照してください。

［適用］または［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

ポートを選択する

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のポートが選択されていることを確認します。

本製品のプリンタドライバのアイコンを表示する

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［プリンタ］をダブルクリックして開きます。

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

［ポート］タブをクリックする

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のポートがチェックされていることを確認する

選択されていないときは、［Brother（モデル名）BR-Script 3J］と表示されているチェックボックスをチェックします。

フォントオプションを指定する

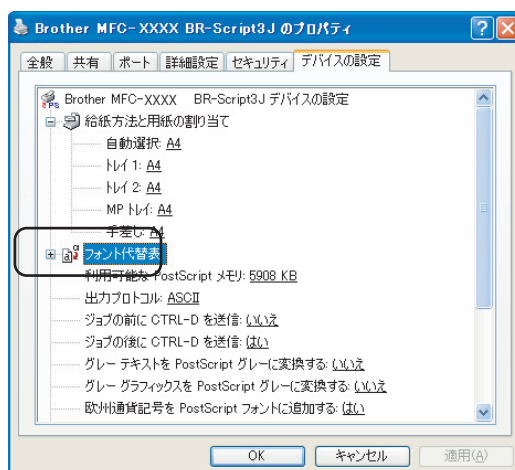
TrueTypeフォントとPostScriptフォントの使用について、オプションを指定します。

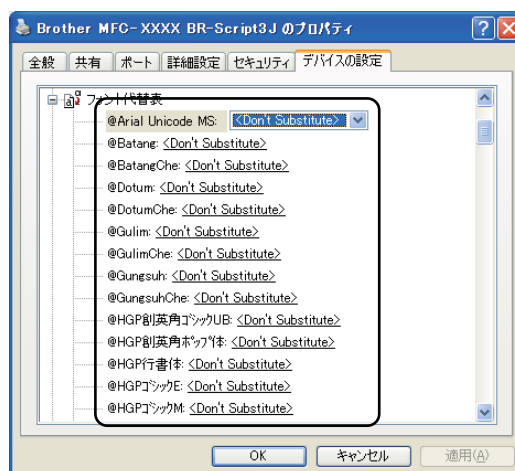
本製品のプリンタドライバのアイコンを表示する

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［プリンタ］をダブルクリックして開きます。

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

［デバイスの設定］タブをクリックする

［フォント代替表］をダブルクリックする

TrueType フォントオプションを指定する

PostScriptフォントを使用する代わりに、TrueTypeフォントを使って印刷する場合は、［Don't Substitute］を選択します。
TrueType フォントを使用する代わりに、PostScript フォントを使って印刷する場合は、［フォント名］を選択します。

BR-Script3プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

［レイアウト］タブでの設定項目

設定後［OK］または［適用］をクリックして、選択した設定を確定します。

① 印刷の向き

文章を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦	横	横置きに回転
	<時計回りに回転>	<反時計回りに回転>

② 両面印刷

自動両面印刷の設定（短辺または長辺を綴じる）を選択します。

短辺を綴じる	長辺を綴じる

③ ページの順序

印刷されるページの順番（順または逆）を選択します。
［順］を選択すると1ページ目が1番上になり、［逆］を選択すると最後のページが1番上になるように印刷されます。

④ シートごとのページ

複数のページを1枚の用紙に印刷します。

2ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	4ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	6ページ分を1枚の用紙で印刷する場合
9ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	16ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	小冊子で印刷する場合

⑤ 詳細設定

［Brother（モデル名）BR-Script 3J詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

以下の項目を設定できます。

① 用紙 / 出力

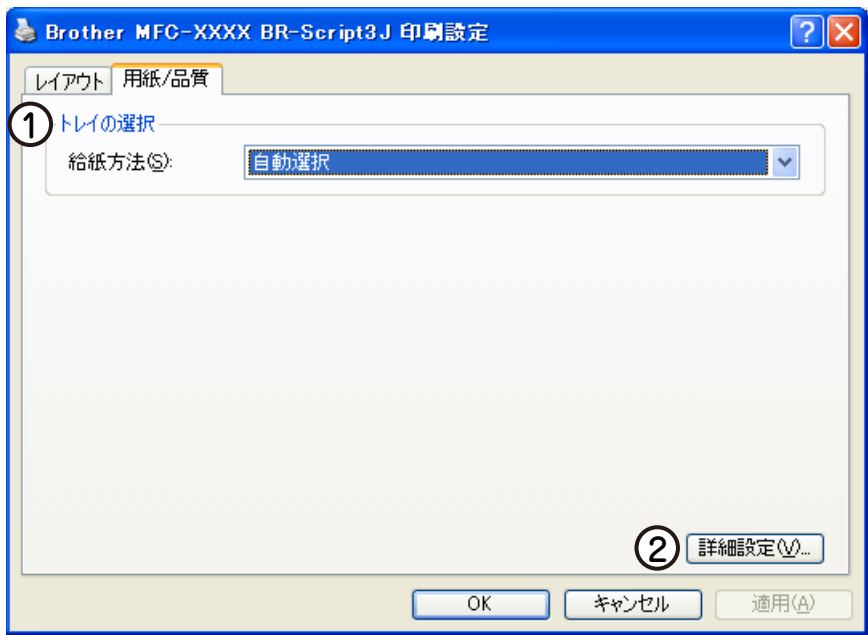
- 用紙サイズ
- 部数

② グラフィックス

- 拡大縮小
- TrueTypeフォント

③ ドキュメントのオプション

- 詳細な印刷機能
- PostScriptオプション
- プリンタの機能

［用紙/品質］タブでの設定項目

設定後［OK］または［適用］をクリックして、選択した設定を確定します。

①トレイの選択

給紙するトレイを選択します。

- 自動選択……［デバイス設定］タブにある「給紙方法と用紙の割り当て」の設定に従って、印刷する用紙が割り当てられたトレイ（給紙方法）を自動的に選択します。
  ［デバイス設定］タブの開き方は、「フォントオプションを指定する」P.43 の手順1～3を参照してください。
- プリンタによる自動選択……本製品が自動的にトレイを選択します。
- トレイ1……記録紙トレイ1から給紙されます。
- トレイ2（オプション）……増設記録紙トレイ（トレイ2）から給紙されます。
- MPトレイ（多目的トレイ）……多目的トレイから給紙されます。
- 手差し……多目的トレイから給紙されます。

②詳細設定

P.45 の⑤を参照してください。

Windows®編

2章

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナドライバをインストールする

付属のCD-ROMに収録されているドライバのインストールが必要です。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

ただし、以下の場合はドライバのインストールは不要です。
- 「スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】」P.53
- 「スキャンした原稿を共有フォルダに保存する【スキャン to ネットワークファイル】」P.61
- 「スキャンした原稿をFTPサーバに保存する【スキャン to FTP】」P.60
- 「スキャンした原稿をUSBメモリーに保存する【スキャン to USB】」P.62

ネットワークを設定する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。ネットワークプリンタとしてお使いいただいていれば設定済みですが、そうでない場合は、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

補足

Windows® XP/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、ネットワーク経由でスキャンできないときは、ポート52925と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

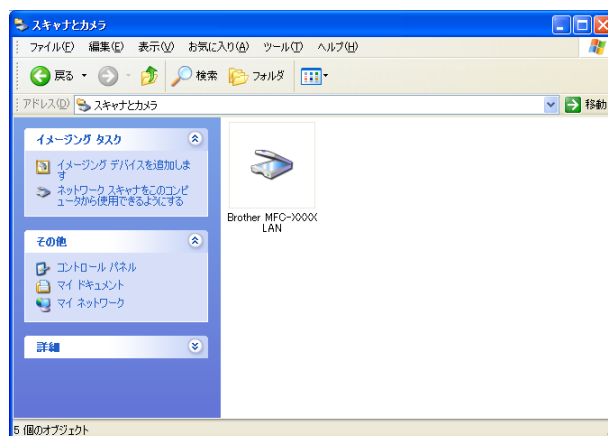
設定の変更（ドライバがインストール済みの場合）

ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

「スキャナとカメラ」アイコン をダブルクリックする

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］－（［プリンタとその他のハードウェア］）－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、「ハードウェアとサウンド」から［スキャナとカメラ］をダブルクリックして開きます。

スキャナのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

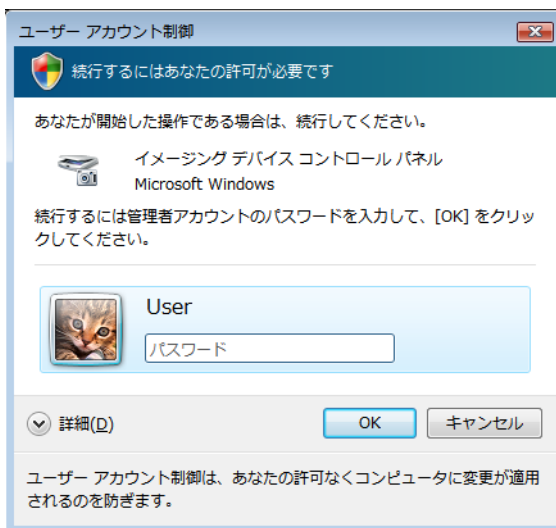
- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。
- Windows Vista®の場合は、スキャナのアイコンを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

補足

Windows Vista®の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

●管理者アカウントでログオンしているとき

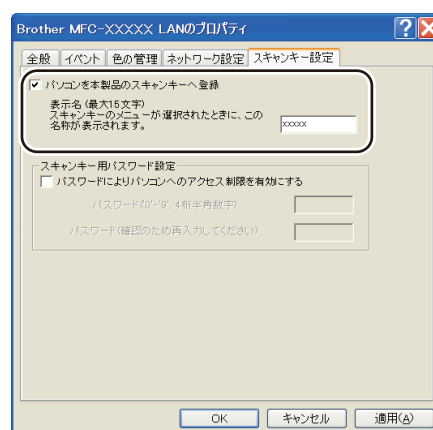
［続行］をクリックします。

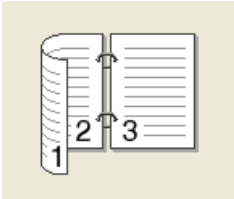
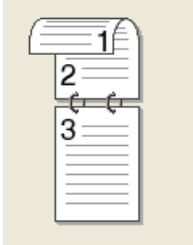
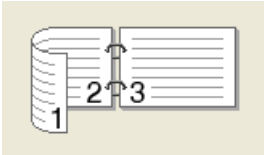
●一般ユーザーでログオンしているとき

管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

- IPアドレスを変更する場合
  本製品の IP アドレスを入力します。
- 名前を変更する場合
  本製品のノード名を「ノード名」欄に入力します。
- 使用可能な機器一覧から指定して変更する場合
  ［検索］をクリックし、既存の LAN 内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

「スキャンキー設定」タブでスキャン画像を取り込むコンピュータの名を登録する

本製品の「スキャン」ボタンを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータ名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。

他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。

［OK］をクリックする

設定が変更されます。

自動両面スキャンについて

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、［両面長辺とじ］または［両面短辺とじ］を選択することで自動両面スキャンをすることができます。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション		詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール	スキャン to Eメール送信	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。(本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、コンピュータ上の操作は必要ありません。)	P.53
		スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをコンピュータに送信し、Eメールの添付としてメールソフトが起動します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	P.56
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ		スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	P.57
	TWAIN/WIAドライバ対応のアプリケーション		解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	P.64
	スキャン to OCR		スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word等で編集できます。	P.58
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル		スキャンしたデータをコンピュータ上のハードディスクに保存します。	P.59
	スキャン to FTP		スキャンしたデータを指定したFTPサーバに保存します。	P.60
	スキャン to ネットワークファイル		スキャンしたデータを指定したネットワーク上の共有フォルダに保存します。	P.61
	スキャン to USB		スキャンしたデータを本製品に差し込んだUSBメモリーに保存します。	P.62

補足

- Presto! PageManagerは、スキャンした原稿ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、HTML形式、PDF形式で保存できるので、Microsoft® Word やAdobe® Acrobat®で編集できます。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition)」はWindows®でデジタルカメラやスキャナなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどは対応していないことがあります。

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの［スキャン］を押してスキャンした原稿データを、コンピュータに送ってさまざまな形で利用します。
［スキャン］ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter3から変更できます。詳しくはP.132を参照してください。

液晶ディスプレイに［次の原稿をセットしてください　OK ボタンを押してください］と表示された後、［停止/終了］を押したり、しばらく操作を放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】

準備～本製品とメールサーバの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバ名（受信・送信）などの設定のことです。詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

スキャンした原稿をEメールで送る

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿はＥメールの添付ファイルとして送信されます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して「ｽｷｬﾝ　to　Eﾒｰﾙ」を選択する

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to PC
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

［OK］を押す

［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し［OK］を押す

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［両面長辺とじ］または［両面短辺とじ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

［▲］または［▼］を押して「設定変更」を選択する

画質やファイル形式、ファイル名などを変更しない場合は、「ｱﾄﾞﾚｽ入力」を選択し、［OK］を押して、手順 12 へ進みます。

OKを押す

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。
- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OKを押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[JPEG]、[XPS] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[TIFF] を選択します。

OKを押す

保存する画像形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

送信先の E メールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法については、ユーザーズガイド基本編 8 章「付録　文字入力をする」を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、すでに登録してある E メールアドレスを入力することもできます。

スタートを押す

- 原稿のスキャンが開始されます。
- スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

補足

手順6～10で画質を変更しない場合は、初期設定の画質・ファイル形式が適用されます。
詳しくは、P.75 を参照してください。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで送る

E メールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することもできます。画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限られます。インターネットファクスのアドレスは利用できません。

補足
スキャンの画質やファイル形式（スキャンプロファイル）は、E メールアドレスごとにワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録できます。詳しくは、ユーザーズガイド基本編2章「ファクス・電話帳　電話帳を作成する」を参照してください。

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

を押す

宛先の E メールアドレスが登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押す

を押す

- 原稿のスキャンが開始されます。
- スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿を E メールに添付して取り込むことができます。スキャンした原稿データがコンピュータに届くと、メール送信画面が起動します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャンを押す

▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択しOKを押す

▲または▼を押して「E ﾒｰﾙ：E ﾒｰﾙ添付」を選択しOKを押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示
OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

5

▲または▼を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択しOKを押す

（ネットワーク接続の場合）
▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してOKを押してください。

OKを押す

スタートを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

スキャンされた原稿がEメールの添付ファイルとして送信されます。ControlCenter3で設定されているメールソフトが起動します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがコンピュータに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータの画面に表示されます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャンを押す

▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択しOKを押す

▲または▼を押して「ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示」を選択しOKを押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示
OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

▲または▼を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択しOKを押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してOKを押してください。

OKを押す

スタートを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter3で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.132を参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

[スキャン]を押す

[▲]または[▼]を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択し[OK]を押す

[▲]または[▼]を押して「OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換」を選択し[OK]を押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示
OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

[▲]または[▼]を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し[OK]を押す

（ネットワーク接続の場合）

[▲]または[▼]を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力して[OK]を押してください。

[OK]を押す

[スタート]を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、コンピュータの指定したフォルダに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter3で行います。詳しくは、P.132を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャンを押す

▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択しOKを押す

▲または▼を押して「ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ保存」を選択しOKを押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▼ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ保存
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

▲または▼を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択しOKを押す

（ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してOKを押してください。

OKを押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント¥マイピクチャ ¥ControlCenter3¥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦※
  mm：月※
  dd：日※
  xxxxx：通し番号
  ※ 本製品に接続されているコンピュータの日付が反映されます。

スキャンした原稿をFTPサーバに保存する【スキャン to FTP】

操作パネルの（スキャン）を押してスキャンした原稿データを、FTPサーバに保存します。
ドライバのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバ上に保存する機能です。
スキャン to FTP を使用するには、ウェブブラウザであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法はP.80を参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバに送る

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

（スキャン）を押す

3 **▲または▼を押して「スキャン to FTP」を選択し OK を押す**

```
▲スキャン to ネットワークファイル
 スキャン to Eメール
 スキャン to PC
▼スキャン to FTP
▲▼で選択&OKボタン
```

▲または▼を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し OK を押す

▲または▼を押して送信したい FTP サーバのプロファイル名を選択する

送信先の FTP サーバプロファイルを登録する方法は、P.80を参照してください。

OK を押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

（スタート）を押す

ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPサーバは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示にならって設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を共有フォルダに保存する【スキャン to ネットワークファイル】

操作パネルの［スキャン］を押してスキャンした原稿データを、ネットワーク上の共有フォルダに保存します。
ドライバのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたCIFSサーバ上に保存する機能です。
スキャン to ネットワークファイルを使用するには、ウェブブラウザであらかじめプロファイルを登録する必要があります。
プロファイルを登録する方法はP.80 を参照してください。

スキャンした原稿を登録した共有フォルダに送る

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して「スキャン to ネットワークファイル」を選択し［OK］を押す

▲スキャン to USB
スキャン to ネットワークファイル
スキャン to Eメール
▼スキャン to PC
▲▼で選択&OKボタン

［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し［OK］を押す

［▲］または［▼］を押して送信したいプロファイルを選択する

送信先の CIFS サーバをプロファイルに登録する方法は、P.80 を参照してください。

［OK］を押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

［スタート］を押す

ディスプレイに「接続中」と表示される

CIFS サーバへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

プロファイルは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示にならって設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿をUSBメモリーに保存する【スキャン to USB】

操作パネルの［スキャン］を押してスキャンした原稿を、本製品のUSBコネクタに接続したUSBメモリーに保存します。
ドライバのインストールは不要です。

USB メモリーを本製品の USB コネクタに接続する

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して［スキャン to USB］を選択し［OK］を押す

▲スキャン to USB
スキャン to ネットワークファイル
スキャン to Eメール
▼スキャン to PC
▲▼で選択&OKボタン

5

［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［両面長辺とじ］または［両面短辺とじ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

［OK］を押す

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順7に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順14に進んでください。

［▲］または［▼］を押して「設定変更」を選択する

［OK］を押す

［▲］または［▼］を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

10

［OK］を押す

11 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］を選択します。

12 OKを押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

13 保存するファイル名を入力する

- ファイル名は6文字まで入力することができます。
- 文字を削除するときは、クリア/バックを押します。

14 OKを押す

15 スタートを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに BROTHER フォルダが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダがある場合は、その中に保存されます）

●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、P.78を参照してください。

- ファイル形式
  カラー　100　dpi／PDF
- ファイル名
  yymmddxx
  yy：西暦の下2桁※
  mm：月※
  dd：日※
  xx：通し番号
  ※ 本製品の日付が反映されます。

アプリケーションからスキャンする

コンピュータ側で、TWAINまたはWIA対応のアプリケーションを操作してスキャンします。
Windows Vista®をお使いの場合は、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAXとスキャン」も利用できます。

TWAINドライバを使ってスキャンする

本製品のドライバは TWAIN に対応しており、TWAIN 対応のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションからスキャンするときも、手順は同様です。

あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、[ファイル] メニューの [ソースの選択] で、接続している本製品のモデル名（「TW-Brother MFC-XXXX」または「TW-Brother MFC-XXXX LAN」）を選んでおきます。また、[ツール] メニューの [スキャンの設定] で、[TWAINユーザーインターフェースを無効にする] のチェックを外してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto! PageManager 画面から をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.65を参照してください。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで以下の項目を設定する

- 解像度
- 色数
- 明るさ　など

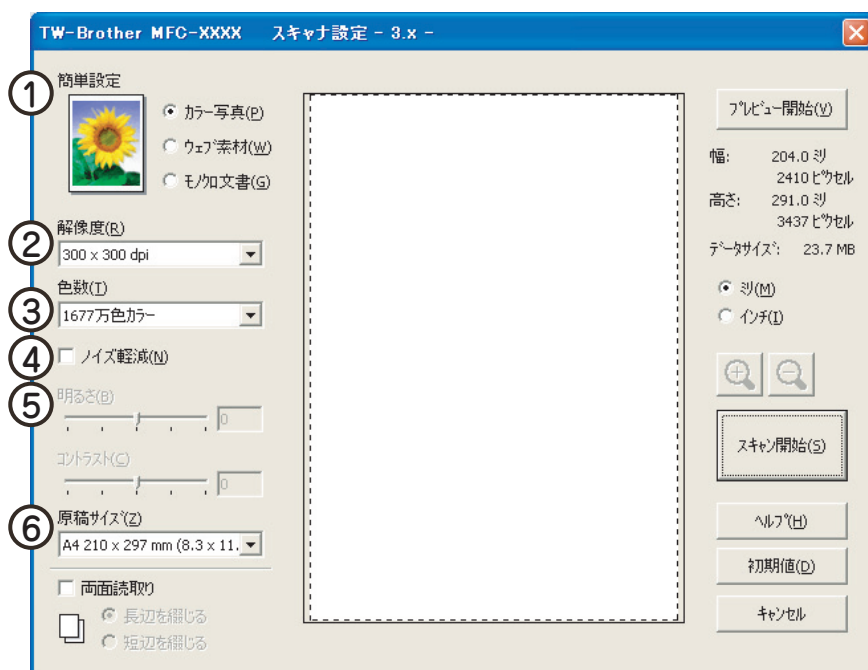
[スキャン開始] ボタンをクリックする

スキャンが終了すると、Presto! PageManager の表示エリアに、スキャンした原稿がサムネールで表示されます。

補足

操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。

TWAINダイアログボックスでの設定

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。

① 簡単設定（イメージタイプ）

カラー写真：写真の場合に選択します。（解像度：300×300dpi　色数：1677万色カラー）
ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。（解像度：100×100dpi　色数：1677万色カラー）
モノクロ文書：文書の場合に選択します。（解像度：200×200dpi　色数：白黒）

② 解像度

プルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。
選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒／グレー／256階調グレー	256色カラー	1677万色カラー
100×100dpi	○	○	○
150×150dpi	○	○	○
200×200dpi	○	○	○
300×300dpi	○	○	○
400×400dpi	○	○	○
600×600dpi	○	○	○
1200×1200dpi	○	×	○
2400×2400dpi	○	×	○
4800×4800dpi	○	×	○
9600×9600dpi	○	×	○
19200×19200dpi	○	×	○

③ 色数

白黒

テキストや線画の場合に設定します。

グレースケール

写真画像の場合にグレー、または256階調グレーに設定します。

カラー

256色カラー、1677万色カラーのいずれかを選択します。

④ ノイズ軽減（1677 万色カラーで解像度 300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi のときのみ）

スキャンしたイメージのノイズを軽減します。スキャンしたイメージにノイズがある場合や、印字の際、縞状のパターンが発生する場合に使用してください。

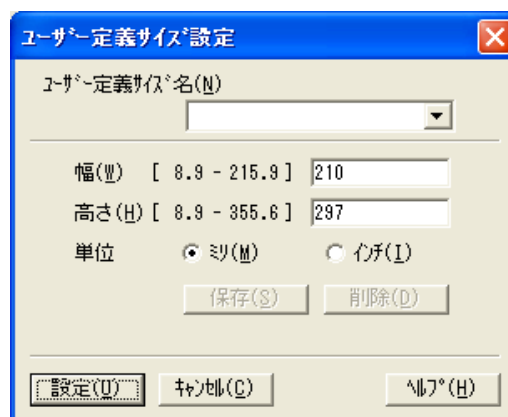
⑤ 明るさ／コントラスト（白黒／グレー／ 256 階調グレーのみ）

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑥ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- A4　210×297mm（8.3×11.7インチ）
- JIS B5　182×257mm（7.2×10.1インチ）
- レター　215.9×279.4mm（8 1/2×11インチ）
- リーガル　215.9×355.6mm（8 1/2×14インチ）
- A5　148×210mm（5.8×8.3インチ）
- エグゼクティブ　184.1×266.7mm（7 1/4×10 1/2インチ）
- 名刺　90×60mm（3.5×2.4インチ）
- ポストカード　101.6×152.4mm（4×6インチ）
- インデックスカード　127×203.2mm（5×8インチ）
- L判　89×127mm（3.5×5インチ）
- 2L判　127×178mm（5×7インチ）
- ハガキ　100×148mm（3.9×5.8インチ）
- 往復ハガキ　148×200mm（5.8×7.9インチ）
- ユーザー定義サイズ

［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、右の画面が表示されます。
［幅］と［高さ］を入力します。

補足

- ●1677万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256色カラーを使用した場合の3倍ほどになります。
- ●ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。
- ●名刺をスキャンするには、名刺サイズ（60×90mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。
- ●ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- ●必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。
- ●ユーザー定義サイズは、8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで調整できます。

自動両面スキャンする

両面に印刷された原稿を自動的に読み取ることができます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

［両面読取り］のチェックボックスにチェックする

［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

［スキャン開始］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

- ●スキャンする範囲をドラッグして調節することはできません。
- ●［プレビュー開始］ボタンは、使用することができません。

プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネールがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［プレビュー開始］ボタンをクリックする

原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレビュー開始］ボタンをクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度セットしてから［スキャン開始］ボタンをクリックする必要があります。

スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端をドラッグする

点線を調整して スキャンしたい部分を囲みます。

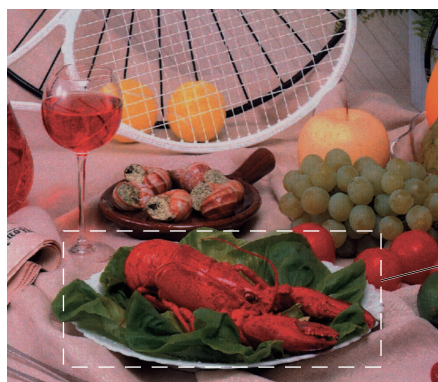
必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

［スキャン開始］ボタンをクリックする

選択された範囲だけが Presto! PageManager 画面に表示されます。

Presto! PageManager 画面上で画像を調整する

補足

［プレビュー開始］ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切り取ります。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面から［スキャン開始］ボタンをクリックして画像をスキャンします。

スキャン範囲

WIAドライバを使ってスキャンする（Windows® XP/Windows Vista®のみ）

本製品のドライバはWIAに対応しており、WIA対応のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。
原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（「WIA-Brother MFC-XXXX」または「WIA-Brother MFC-XXXX LAN」）を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto! PageManager 画面から をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.70を参照してください。

給紙方法を選択する

［フラットベッド］を選択した後、「プレビュー」機能を利用してスキャンする範囲を調整することができます。

必要に応じて WIA ダイアログボックスで以下の項目を設定する

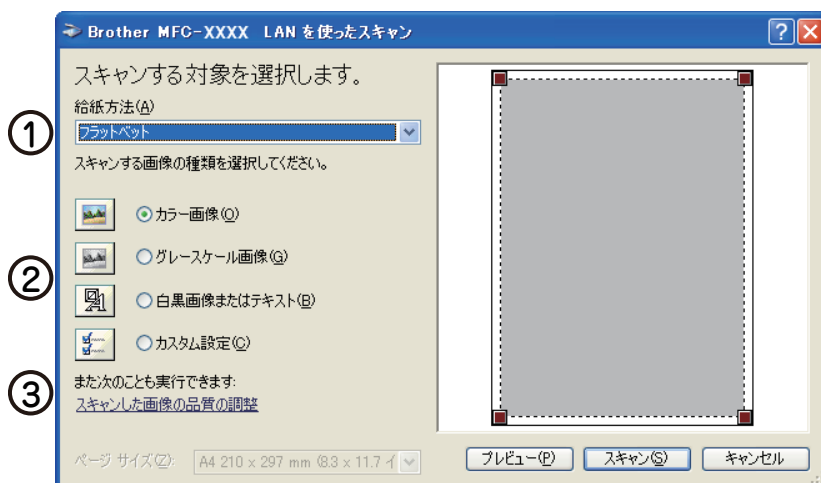
- 解像度
- 明るさ
- 画像の種類　など

［スキャン］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

- 操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。
- WIAドライバは、一部のアプリケーションでは両面スキャン機能に対応していません。

WIAダイアログボックスでの設定

① 給紙方法

［フラットベッド］は原稿台ガラスからスキャンするとき、［ドキュメントフィーダ］は ADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類を選択します。

③ スキャンした原稿の品質の調整

ここをクリックすると、［詳細プロパティ］ウィンドウが表示されます。

④ 明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 解像度

解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間は増えますが、画質は向上します。
［100］［150］［200］［300］［400］［600］［1200］の中から選択します。

⑥ 画像の種類

［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］の中から選択します。

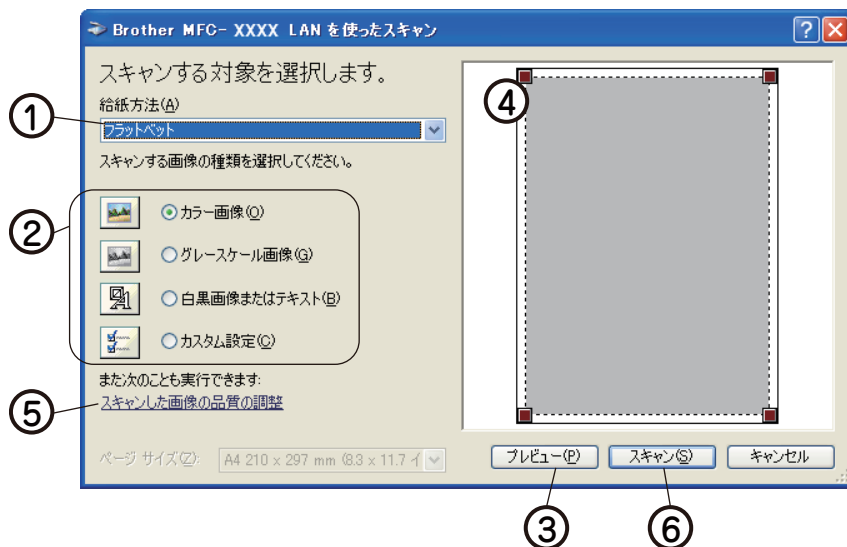
補足

●Windows® XP/Windows Vista®で、2400/4800/9600/19200dpiの解像度を有効にするときは、「Scanner Utility」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「Scanner Utility」は以下の方法で起動します。

① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［スキャナ設定］－［Scanner Utility］の順に選択します。
「Scanner Utility」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

● プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネールがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

原稿の表側を下にして、原稿台ガラスに置く

［給紙方法］のプルダウンメニューから［フラットベット］（①）を選択する

画像の種類を選択する（②）

［プレビュー］ボタン（③）をクリックする

原稿全体がスキャンされ、スキャンエリア（④）に表示されます。

（④）のウィンドウにてマウスの左ボタンを押しながらマウスをドラッグし、取り込みたい部分を指定する

詳細設定が必要な場合は、［スキャンした画像品質の調整］（⑤）をクリックする

詳細プロパティ画面が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら［OK］を押します。詳細プロパティ画面についてはP.70の③を参照してください。

［スキャン］ボタン（⑥）を押す

選択された部分だけが取り込まれ、Presto! PageManager 画面（あるいはアプリケーションソフトの画面）に表示されます。

Windows®フォト ギャラリー、Windows® FAXとスキャンを使用する場合（Windows Vista®のみ）

Windows Vista®をお使いの場合、付属の「Windows®フォト ギャラリー」や「Windows® FAX とスキャン」で、画像を直接スキャンできます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

スキャナとして、本製品を選ぶ

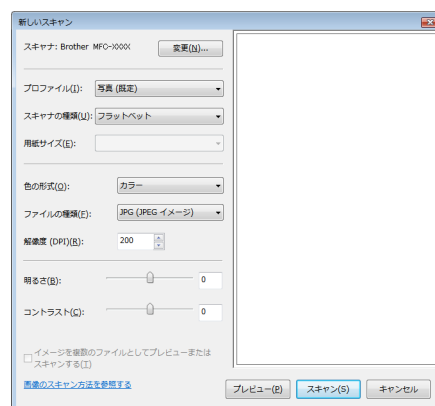
● Windows® フォト ギャラリーの場合

［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択し、接続している本製品のモデル名（Brother MFC-XXXX）を選ぶ

● Windows® FAX とスキャンの場合

［ファイル］メニューから［新規作成］-［スキャン］を選択し、接続している本製品のモデル名（Brother MFC-XXXX）を選ぶ

［読み込み］をクリックする

［新しいスキャン］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャナの種類］で「フラットベッド」（原稿台ガラス）、「フィーダ（片面スキャン）」（ADF）、または「フィーダ（両面スキャン）」（ADF）を選択する

•「フィーダ」を選んだ場合は、手順7に進んでください。
•「フラットベッド」を選んだ場合は、いったん画像を確認する（プレスキャン）ことができます。手順5に進んでください。プレスキャンなしでそのままスキャンするときは、手順7に進んでください。

［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定については、P.70 を参照してください。（Windows® FAX とスキャンを使用のとき）

［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

Windows®編

3章

ソフトウェアを使うための設定

操作パネルからのスキャン設定

解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。また、スキャン to Eメール送信、スキャン to FTP、スキャン to ネットワークファイル、スキャン to USBでは、解像度とファイル形式の初期設定を変更できます。

ファイルサイズを設定する

メニュー、1、8 TUV、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼でカラーまたはグレーを選択する

OKを押す

▲または▼でファイルサイズを選択する

［小］、［中］、［大］から選択できます。

お買い上げ時は［中］に設定されています。

OKを押す

停止/終了を押す

スキャン to Eメール送信の初期設定を変更する

メニュー、7 PQRS、4 GHI の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

▲ または ▼ を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OK を押す

▲ または ▼ を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］ を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］ を選択できます。

OK を押す

停止/終了 を押す

スキャン to FTPの初期設定を変更する

メニュー、7 PQRS、5 JKL の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OKを押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[JPEG]、[XPS] を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[TIFF] を選択できます。

OKを押す

停止/終了を押す

スキャン to ネットワークファイルの初期設定を変更する

メニュー、7 PQRS、6 MNO の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OK を押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[JPEG]、[XPS] を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[TIFF] を選択できます。

OK を押す

停止/終了 を押す

スキャン to USBの初期設定を変更する

解像度と画像の形式を変更する

メニュー、5 JKL、2 ABC、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OK を押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］を選択できます。

OK を押す

停止/終了 を押す

ファイル名を変更する

メニュー、5 JKL、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

新しいファイル名を入力する

ファイル名は 6 文字まで入力できます。

OK を押す

停止/終了 を押す

FTP／ネットワークファイルの保存先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバやネットワーク上の共有フォルダに保存する際の送信先を、プロファイルとして10件まで登録することができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名.....................................15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名..32字以内
- パスワード...32字以内
- 送信先フォルダ.....................................60字以内

ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://XXXXX を入力する
- XXXXXは本製品のIPアドレスです。
- IPアドレスはネットワーク設定リストで確認することができます。ネットワーク設定リストの印刷方法については ユーザーズガイド基本編4章「レポート・リスト　ネットワーク設定リストを印刷する」を参照してください。

「管理者設定」をクリックする

[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

必要に応じて設定を変更する

設定を変更する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ネットワークファイル　スキャン設定］をクリックすると以下の画面が表示され、【スキャン to FTP】または【スキャン to ネットワークファイル】の設定を変更することができます。
また、15文字以内で2種類のオリジナルファイル名を登録することができます。

補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。【スキャン to ネットワークファイル】のプロファイルを設定する場合は、上記画面の［ネットワーク］にチェックをしてから該当のプロファイルを設定してください。

プロファイルを設定する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ ネットワークファイル　スキャンプロファイル］をクリックすると以下の画面が表示され、【スキャン to FTP】または【スキャン to ネットワークファイル】のプロファイルを設定することができます。

補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。【スキャン to ネットワークファイル】のプロファイルを設定する場合は、事前に［FTP/ネットワークファイル　スキャン設定］画面で［ネットワーク］にチェックをする必要があります。P.80 を参照してください。

プロファイル名をクリックすると以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。

【スキャン to FTP】の場合

brother MFC-XXXX

管理者設定

パスワードの設定 / Web表示 / FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル / FTP/ネットワークファイル スキャン設定 / セキュリティ機能ロック

プロファイル名 1 / プロファイル名 2 / プロファイル名 3 / プロファイル名 4 / プロファイル名 5 / プロファイル名 6 / プロファイル名 7 / プロファイル名 8 / プロファイル名 9 / プロファイル名 10

プロファイル名 1(FTP)

- プロファイル名
- サーバ アドレス
- ユーザ名
- パスワード
- 新しいパスワードの確認
- 転送先フォルダ
- ファイル名　BRN001BA90009C9
- 画質　カラー 100dpi
- ファイルタイプ　PDF
- パッシブモード　○オフ　⊙オン
- ポート番号　21

取消　OK

【スキャン to ネットワークファイル】の場合

brother MFC-XXXX

管理者設定

プロファイル名 6(ネットワーク)

- プロファイル名
- サーバ アドレス
- 転送先フォルダ
- ファイル名　BRN001BA90009C9
- 画質　カラー 100dpi
- ファイルタイプ　PDF
- 接続時にパスワード認証を行う　⊙オフ　○オン
- 接続パスワード　0000

認証設定

- 認証方法　⊙自動　○Kerberos　○NTLMv2
- ユーザ名

ドメイン名を指定するには、ユーザ名欄に下記形式で入力してください。
ユーザ名@ドメイン名
ドメイン名\ユーザ名

- パスワード
- 新しいパスワードの確認
- Kerberosサーバアドレス

取消　OK

プロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

「サーバアドレス」にサーバのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

【スキャン to FTP】の場合のみ
サーバにログインするためのユーザ名を入力する

【スキャン to FTP】の場合のみ
サーバにログインするためのパスワードを入力する

スキャンした原稿の転送先フォルダを入力する

転送先フォルダのパスを入力します。（例：brother/abc/）

必要に応じて［ファイル名］から、画像を保存するファイル名を選択する

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、次の「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナのカウンタ（6 文字）＋拡張子が付きます（例：Mitsumori098765.pdf）。

必要に応じて［画質］から解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー 100 dpi
- カラー 200 dpi
- カラー 300 dpi
- カラー 600 dpi
- グレー 100 dpi
- グレー 200 dpi
- グレー 300 dpi
- モノクロ 200 dpi
- モノクロ 200×100dpi

必要に応じて［ファイルタイプ］から画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］を選択できます。

補足

「セキュリティ PDF」を選択した場合は、スキャン開始前に4桁のパスワードを入力する必要があります。

【スキャン to FTP】の場合
必要に応じて、パッシブモードとポート番号を設定する

ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありませんが、FTP サーバの設定を御確認ください。

【スキャン to ネットワークファイル】の場合
必要に応じて、パスワード認証を設定する

[OK] をクリックする

設定した内容で、プロファイルが登録されます。

Windows®編

4章

リモートセットアップ

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をコンピュータで簡単に行うことができます。

補足

Windows® XP Service Pack 2以降/Windows Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、リモートセットアップが使用できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［リモートセットアップ］の順に選択します。
ネットワーク接続時は、パスワードを入力する必要があります（初期設定は“access”です）。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド基本編8章「付録　機能一覧」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にコンピュータにダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのコンピュータに Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイドを参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PCファクス受信ソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- ウイルスバスター ™ などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド基本編4章「レポート・リスト　設定内容リストを印刷する」と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モードタイマー	–	○
	記録紙設定	記録紙タイプ	○
		記録紙サイズ	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープ　モード	○
	トレイ選択	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	画面のコントラスト	–	×
	セキュリティ	セキュリティ機能ロック	×
		セキュリティ設定ロック	×
	原稿読み取り設定	原稿台スキャンサイズ	○
		ファイルサイズ	○
		両面読み取り方向	○
ファクス	受信設定	呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
		両面印刷	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○
		リアルタイム送信	○
		ポーリング送信	×
		送付書	○
		送付書コメント	○
		海外送信モード	×
	電話帳登録	電話帳/ワンタッチ	○
		電話帳/短縮	○
		電話帳/グループ	○
	レポート設定	送信結果レポート	○
		通信管理間隔	○

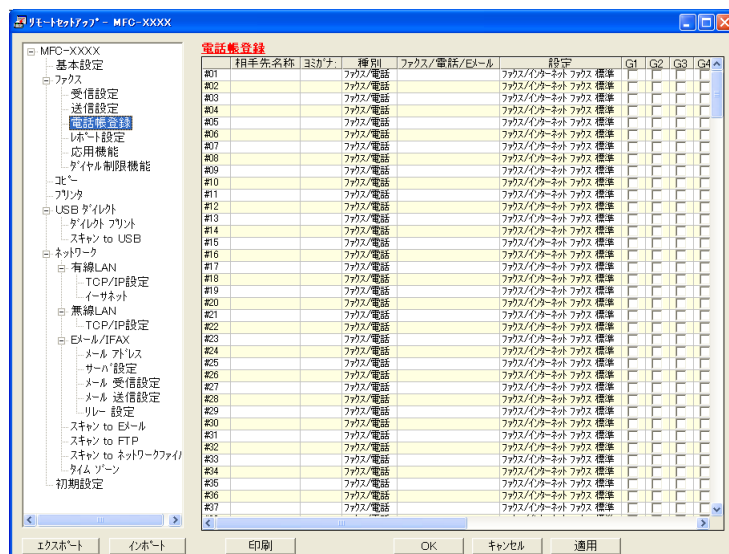
分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	応用機能	転送/メモリー受信	○
		暗証番号	○
		ファクス出力	×
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチ ダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○
		LDAPサーバ	○
	通信待ち確認	–	×
	その他	安心通信モード	×
		ナンバーディスプレイ	×
コピー	コピー画質	–	○
	FBテキスト画質	–	○
	明るさ	–	○
	コントラスト	–	○
プリンタ	エミュレーション	–	×
	プリンタ オプション	フォント リスト	×
		プリンタ設定	×
		テスト プリント	×
	両面印刷	–	○
	プリンタ リセット	–	×
USBダイレクト	ダイレクト プリント	記録紙サイズ	○
		記録紙タイプ	○
		レイアウト	○
		印刷の向き	○
		部単位	○
		プリント画質	○
		PDFオプション	○
		インデックス プリント	○
	スキャン to USB	解像度	○
		ファイル名	○
レポート印刷	送信結果レポート	表示	×
		印刷	×
	機能案内	–	×
	電話帳リスト	メモリー番号順	×
		名前順	×
	通信管理レポート	–	×
	設定内容リスト	–	×
	着信履歴リスト	–	×
	ネットワーク設定リスト	–	×
ネットワーク	有線LAN	TCP/IP設定	○
		イーサネット	○
		初期設定に戻す	×
		有線LAN有効	×
	無線LAN	TCP/IP設定	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ネットワーク	無線LAN	無線接続ウィザード	×
		SES/WPS/AOSS	×
		WPS(PIN方式)	×
		無線状態	×
		初期設定に戻す	×
		無線LAN有効	×
	Eメール/IFAX	メールアドレス	○
		サーバ設定	○
		メール受信設定	○
		メール送信設定	○
		リレー設定	○
	スキャン to Eメール	－	○
	スキャン to FTP	－	○
	スキャン to ネットワークファイル	－	○
	タイムゾーン	－	○
	ネットワーク設定リセット	－	×
製品情報	シリアルNo.	－	×
	印刷枚数表示	－	×
	消耗品寿命	ドラム寿命	×
		ヒーター寿命	×
		レーザー寿命	×
		PFキットMP 寿命	×
		PFキット 1 寿命	×
		PFキット 2 寿命	×
サービス	データ転送	ファクス転送	×
		レポート転送	×
初期設定	受信モード	－	○
	時計セット	－	○
	発信元登録	－	○
	回線種別設定	－	○
	ダイヤルトーン設定	－	○
	特別回線対応	－	×
	ナンバー プレフィックス	－	○
	リセット	機能設定	×
		ネットワーク	×
		電話帳 & ファクス	×
		全設定	×
	表示言語	－	×

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド基本編8章「付録　機能一覧」を参照してください。

電話帳を登録する

リモートセットアップの操作の例として、電話帳を登録する場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「電話帳登録」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大40件（01～40）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は10桁（漢字入力の場合）まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

2 登録する短縮番号の行にある「ファクス / 電話番号」をダブルクリックし、電話番号、ファクス番号を入力する

3 種別を選ぶ

4 「ヨミガナ」をダブルクリックし、ヨミガナを入力する

5 「相手先名称」をダブルクリックし、相手先の名前を入力する

漢字で登録 / 修正することができます。

6 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

7 [OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～20」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

「相手先名称」にグループ名を入力する

グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

［OK］をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳を複数の本製品で共有する

登録した電話帳を、複数の本製品で共有することができます。これには、電話帳のエクスポートとインポートを利用します。

共有したい電話帳がある本製品にコンピュータを接続し、リモートセットアップを起動する

左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

［エクスポート］をクリックする

［電話帳のみ］が選択されていることを確認し、［開始］をクリックする

その他の設定もすべて複写したい場合は、［全設定（電話帳含む）］を選択します。

ファイル名を入力し、［保存］をクリックする

同じコンピュータを、電話帳を複写したい本製品に接続し、リモートセットアップを起動する

［インポート］をクリックする

［電話帳のみ］が選択されていることを確認し、［開始］をクリックする

その他の設定もすべて複写したい場合は、［全設定（電話帳含む）］を選択します。

複写したい電話帳のファイルを選択し、［開く］をクリックする

電話帳データがインポートされ、リモートセットアップの起動画面が表示されます。
「電話帳」には、青いマークが表示されています。

［適用］または［OK］をクリックする

電話帳データが複写先の本製品の電話帳データに上書きされ、新しい電話帳に置き換わります。数分かかることがあります。

Windows®編

5章

PCファクス

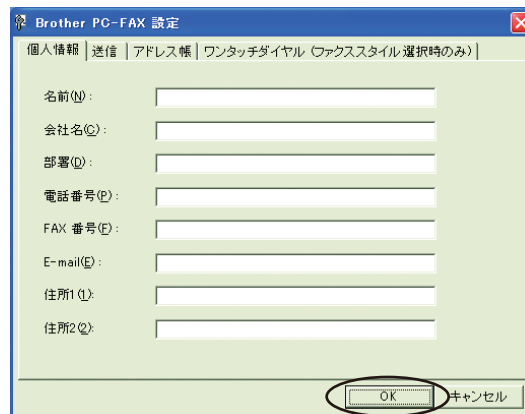
PCファクスを使用する前に

PCファクスを利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送受信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PCファクスのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P.100 を参照してください。
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P.95 を参照してください。

補足

- 送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくと便利です。
- 管理者（Administrator）権限で使用してください。
- Windows® XP/Windows Vista® で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、PC ファクスが使用できないときは、ポート 52926 と 137 を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは 画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を登録します。
登録は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

ファクスのヘッダーには、個人情報の［名前］に入力した名称が表示されます。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX 設定］の順に選択する

個人情報を入力し［OK］をクリックする

個人情報が保存されます。

Brother PC-FAX 設定
個人情報 | 送信 | アドレス帳 | ワンタッチダイヤル（ファクススタイル選択時のみ）
名前(N)：
会社名(C)：
部署(D)：
電話番号(P)：
FAX 番号(F)：
E-mail(E)：
住所1(1)：
住所2(2)：
OK　キャンセル

送信の設定をする

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［送信］タブで行います。

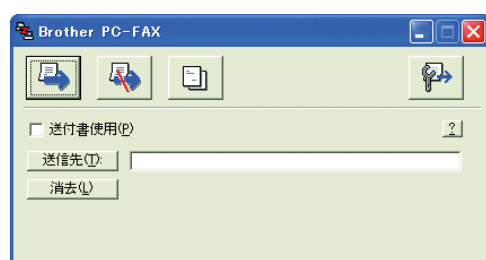
① ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX等の内線接続で必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このボックスをチェックします。

③ 送信操作画面

［シンプルスタイル］か［ファクススタイル］のどちらかを選択できます。

<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>

④ ネットワーク PC-FAX

PCファクス機能を使ってメールアドレスにファクス送信するときは、［使用する］をチェックしておく必要があります。
（送信先がファクス番号の場合、チェックは必要ありません）

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPCファクスアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

「Brother PC-FAXアドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。P.100 を参照してください。

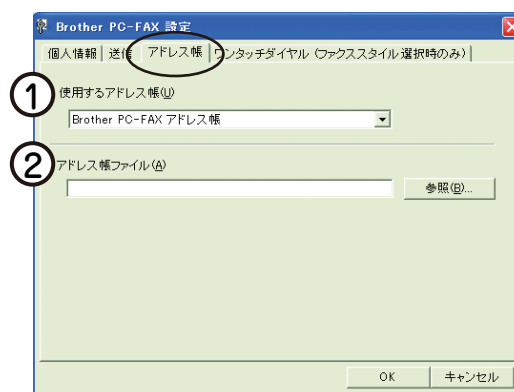
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［アドレス帳］タブで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする

①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Windows® メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳を利用する場合は、「Windows® メールアドレス帳」（Windows Vista®）、「Outlook Express アドレス帳」（Windows® 2000/XP）、または「Outlook アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選びます。

補足

- Microsoft Outlook 2000/2002/2003/2007に対応しています。
- Outlook のアドレス帳を使用するには、Outlook が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

［OK］をクリックする

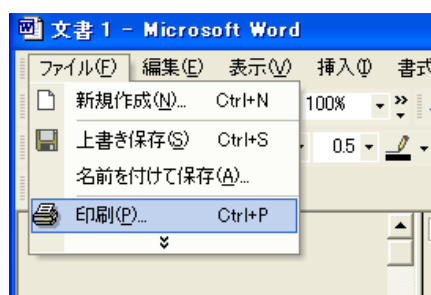
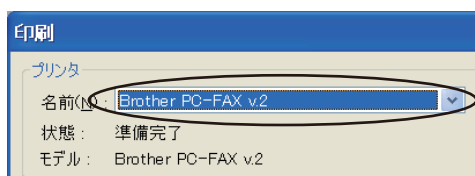
PC ファクスで使用するアドレス帳が設定されます。

コンピュータからファクスを送る［PCファクス送信］

コンピュータ上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定P.95で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

ファクススタイルで送る

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする

以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する

- ダイヤルパッド（①）をクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタン（②）のいずれかをクリックする。
- ［アドレス帳］ボタン（③）をクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- Windows®メールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.96を参照してください。

［送信］をクリックする

ファクス送信が開始されます。
送るのをやめるには、［中止］をクリックします。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

補足

●ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。

●ワンタッチダイヤルボタンやアドレス帳を使うには、あらかじめPCファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。P.96 を参照してください。

●ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

①送付書使用
　ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合に、クリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

②送付書の作成
　送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。P.110 を参照してください。

③ポーズ
　ダイヤル番号の入力時に、ポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。画面上に「-」が表示されます。

④消去
　ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

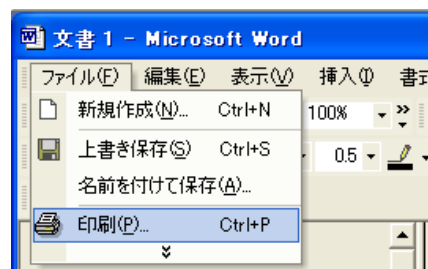
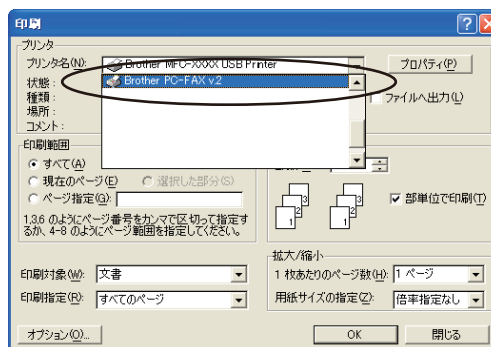
⑤再ダイヤル
　ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］ボタンを押すたびに、最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、［送信］ボタンをクリックします。

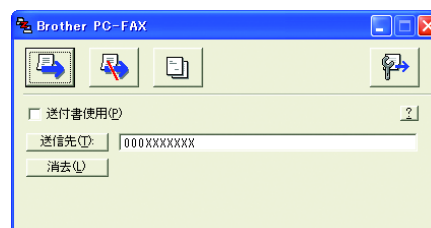
⑥中止
　ファクスの送信を中止する場合にクリックします。

シンプルスタイルで送る

「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする

［送信先］に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、［送信先］ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- Windows®メールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.96 を参照してください。
- ファクス番号を間違って入力したときには、［消去］ボタンをクリックします。

送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、［送付書使用］チェックボックスをチェックする

送付書の作成についてはP.110 を参照してください。

をクリックする

- ファクス送信が開始されます。
- をクリックすると、ファクスの送信を中止します。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- アドレス帳を使うには、あらかじめ PC ファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。P.100 を参照してください。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。P.110 を参照してください。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

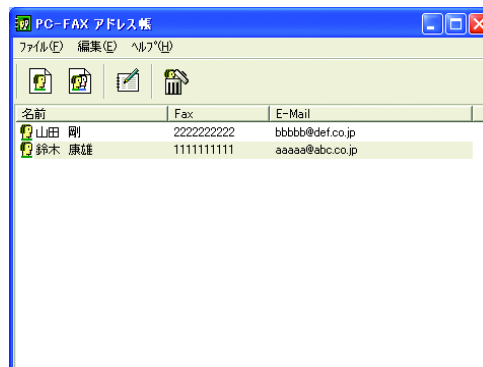
PCファクスアドレス帳を利用する

PCファクスを使うときは、PCファクスアドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PCファクスアドレス帳データは、CSV形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PCファクスアドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］の順に選択する

右の画面が表示されます。

をクリックする

右の画面が表示されます。

相手先の情報を入力する

［名前］の入力は必須です。

［決定］をクリックする

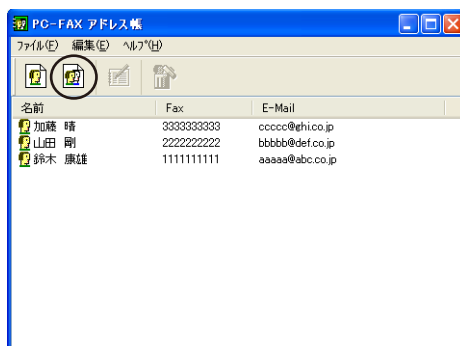
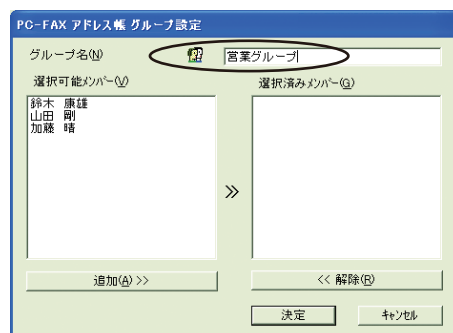
相手先の情報が保存されます。

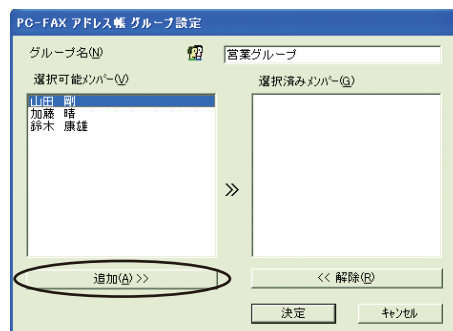
補足

- ●登録情報を追加、編集、削除する場合も、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。
- ●アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

グループダイヤルに相手先を登録する

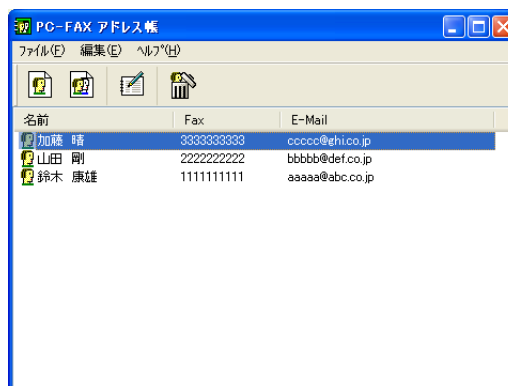
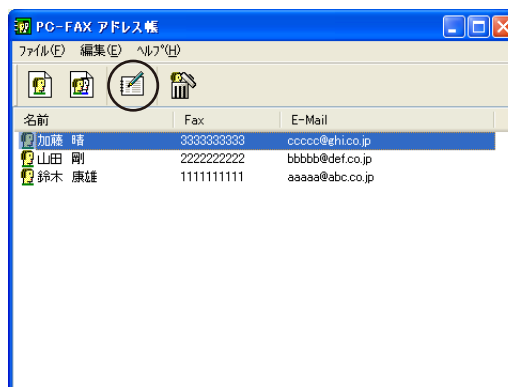
同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数の相手先をグループにまとめて登録しておくと便利です。
一度の操作で、グループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、をクリックする

[グループ名] にグループ名を入力する

[選択可能メンバー] ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、[追加] をクリックする

グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。
追加したメンバーは、[選択済みメンバー] ボックスに一覧表示されます。

メンバーの追加後、[決定] をクリックする

補足
1つのグループダイヤルに最大50件までメンバーを登録できます。また、グループダイヤルは最大256個まで登録できます。

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択する

をクリックする

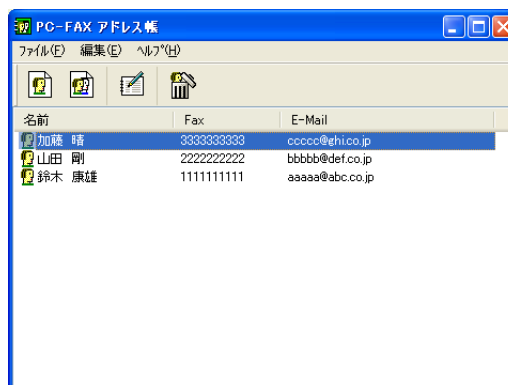
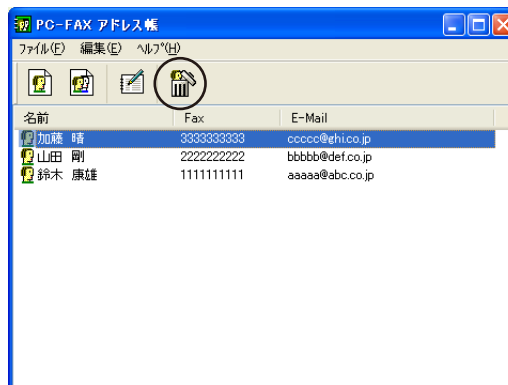
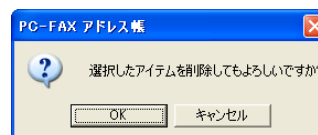
相手先またはグループ情報を編集する

［決定］をクリックする

変更した相手先またはグループ情報が保存されます。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

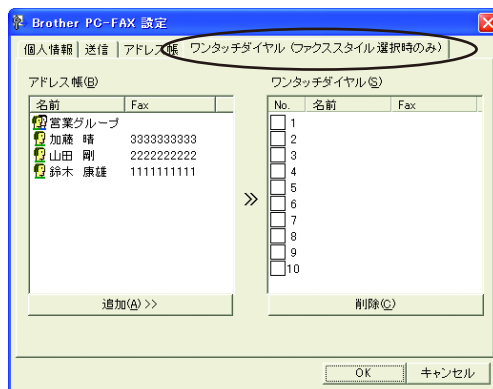
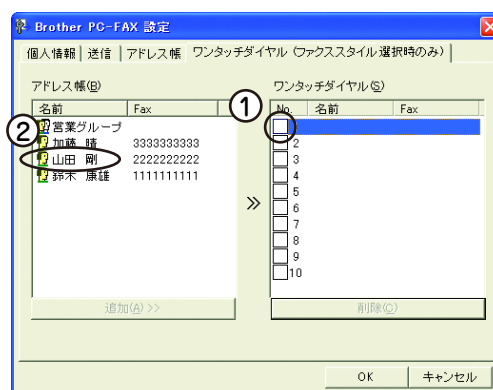
［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択する

 をクリックする

［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。
登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）をクリックするだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する

［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする

［ワンタッチダイヤル］ボックスで、登録先のワンタッチダイヤルの番号をクリックする（①）続けて、［アドレス帳］ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする（②）

［追加］をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順3、4の操作を繰り返します。

［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックする

［削除］をクリックする

補足

ワンタッチダイヤルを使用するには、［送信］タブの［送信操作画面］で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV 形式のファイル、「vCard」またはリモートセットアップのダイアルデータとしてエクスポートすることができます。

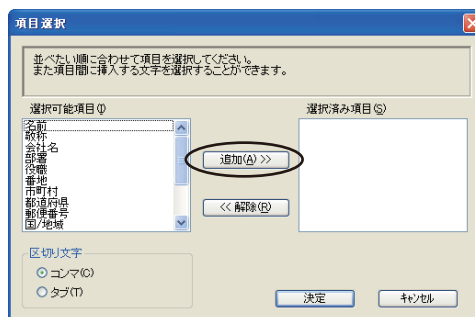
補足

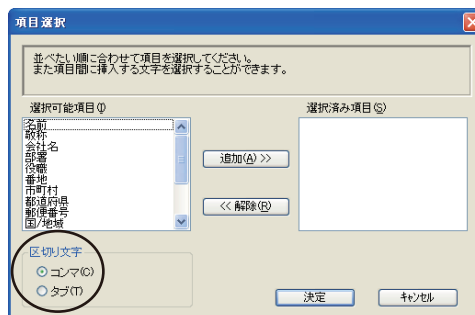
「vCard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「vCard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV形式でエクスポートする

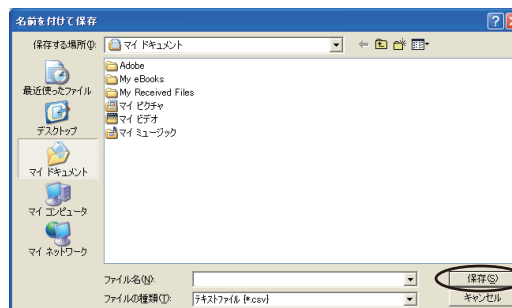
［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［エクスポート］－［テキストファイル］の順にクリックする

［選択可能項目］欄でエクスポートする項目を選んで、［追加］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

［区切り文字］で［コンマ］または［タブ］を選択する

この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。

［決定］をクリックする

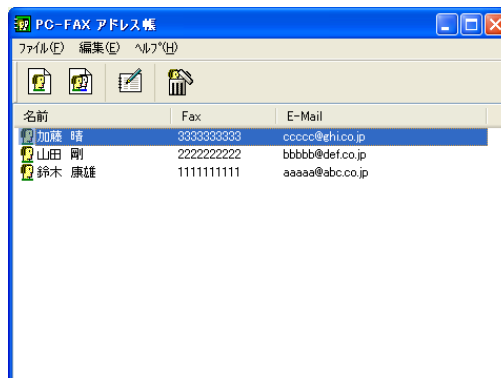
データがエクスポートされます。

ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする

補足

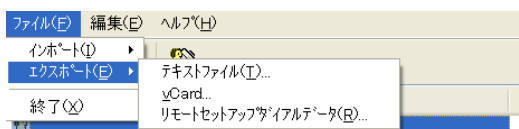
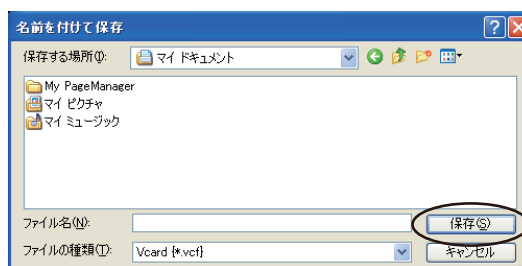
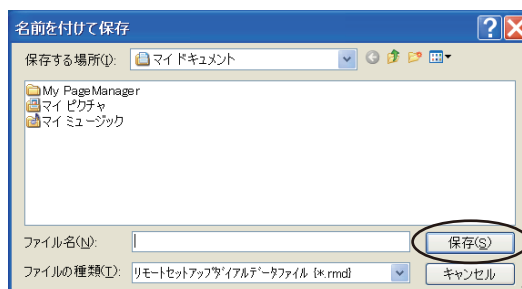
- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。

vCard（vcf形式）またはリモートセットアップダイアルデータでエクスポートする

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、エクスポートしたい相手先をクリックする

追加したい相手先について、この操作を繰り返します。

［ファイル］－［エクスポート］－［vCard］または［リモートセットアップダイアルデータ］の順にクリックする

ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする

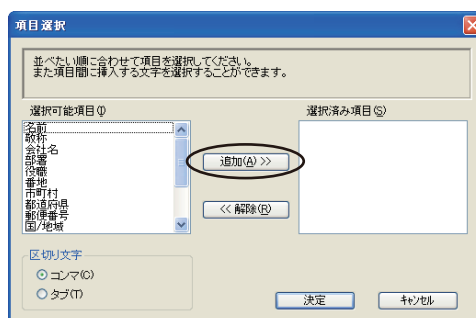
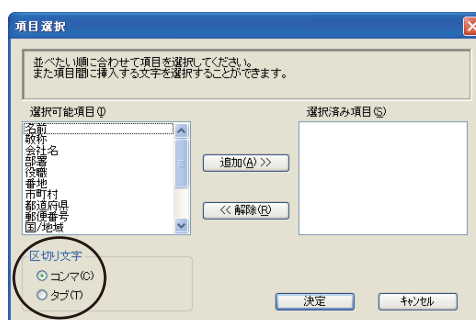
<vcf形式>

<リモートセットアップダイアル>

アドレス帳をインポートする

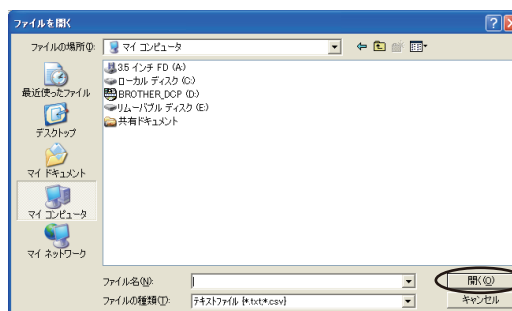
CSV形式のファイル、「vCard」またはリモートセットアップのダイアルデータを、アドレス帳にインポートできます。

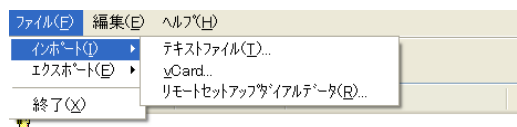
CSV形式でインポートする

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［インポート］－［テキストファイル］の順にクリックする

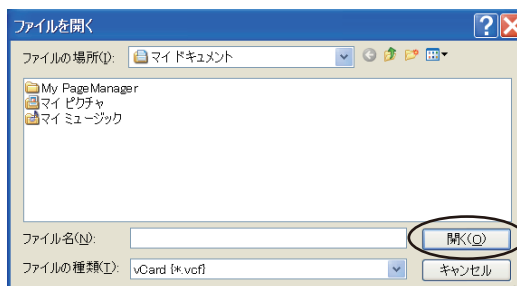
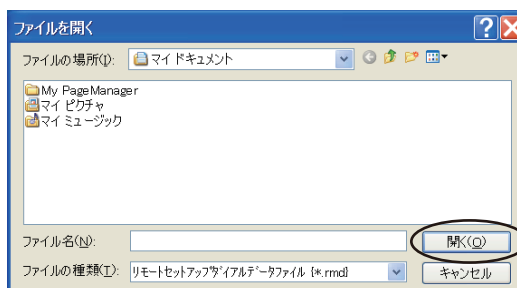
［選択可能項目］欄からインポートする項目を選択してから、［追加］をクリックする

インポートするファイル形式により、［区切り文字］で［コンマ］または［タブ］を選択する

［決定］をクリックする

データがインポートされます。

5 インポートするファイルを選択して、［開く］をクリックする

vCard（vcf形式）またはリモートセットアップダイアルデータでインポートする

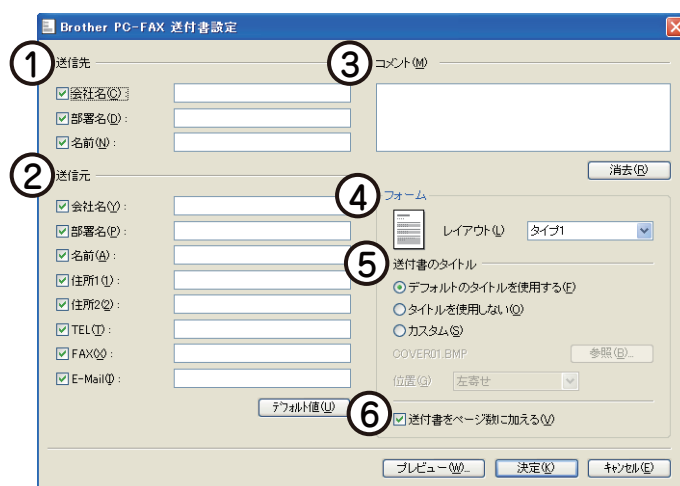
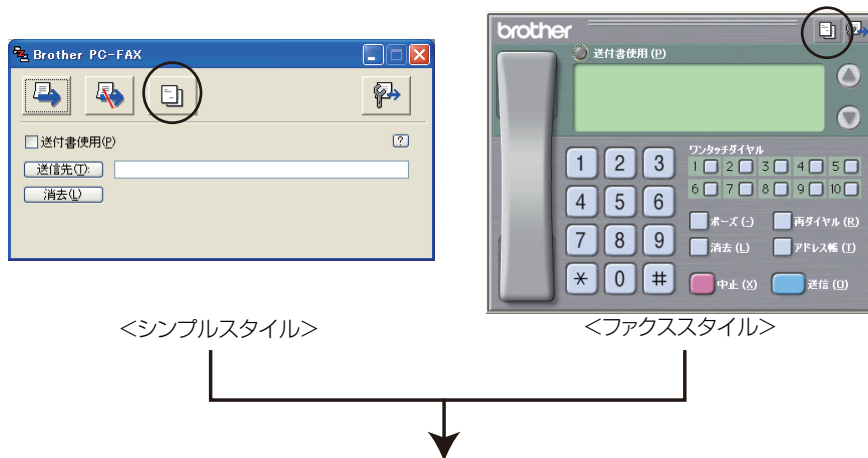
［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［インポート］－［vCard］または［リモートセットアップダイアルデータ］の順にクリックする

インポートするファイルを選択して、［開く］をクリックする

選んだ vcf 形式のデータまたはリモートセットアップダイアルのデータが、PC ファクスアドレス帳に追加されます。

<vcf形式>

<リモートセットアップダイアル>

送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。

＜シンプルスタイル＞　＜ファクススタイル＞

送付書に表示させたい項目のチェックボックスをチェックし、各項目を設定して、［決定］をクリックします。

① 送信先

送信先の情報を入力します。

② 送信元

送信元の情報を入力します。

③ コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④ フォーム

送付書のスタイルを選択します。

⑤ 送付書のタイトル

送付書のタイトルを選択します。
［カスタム］を選択すると、会社独自のロゴなどのビットマップファイルを挿入できます。［位置］で配置を選択します。

⑥ 送付書をページ数に加える

このボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

コンピュータでファクスを受信する［PCファクス受信］

受信したファクスをデータとしてコンピュータに保存します。

注意

■コンピュータでファクスを受信するには、コンピュータの［PC ファクス受信］の起動と、本製品を［PC ファクスモード］にする必要があります。

■ファクスを受信したとき、コンピュータの電源が入っていなかったり、コンピュータと接続されていない場合は、本製品に受信データを保存します。

■コンピュータにセキュリティソフトがインストールされている場合は、UDPポート54926を有効に設定してください。設定方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、または提供元にお問い合わせください。

■PCファクス受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

■本製品がネットワーク接続されている場合は、コンピュータ側でPCファクス受信を起動してから設定してください。

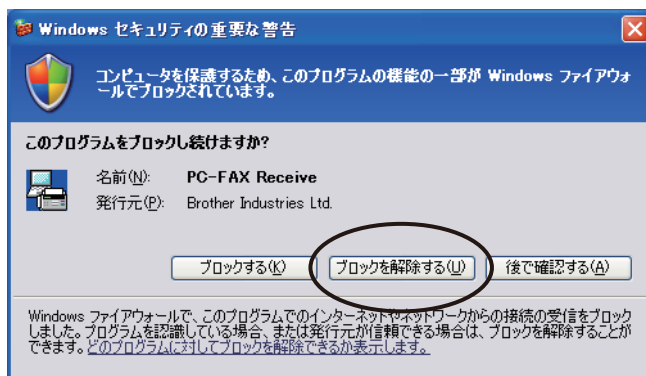
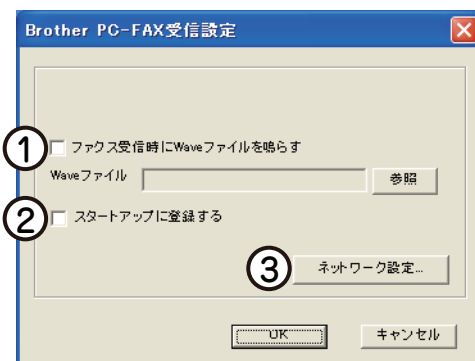
■受信したファクスのデータがコンピュータへ正しく送られない場合は、「かんたん設置ガイド」に従ってソフトウェアをインストールし直してください。

［PCファクス受信］を起動する

［スタート］メニューの、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 受信］－［PC-FAX 受信を起動］の順で選択する

タスクバー上に PC ファクスのアイコン （10:40） が表示されます。

補足

●ネットワーク環境でWindows® XP Service Pack 2またはWindows Vista® をご使用の場合は、PCファクス受信を起動すると［Windowsセキュリティの重要な警告］が表示されることがあります。その場合は［ブロックを解除する］を選択してください。

●受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC ファクスアイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。

①ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす場合は、チェックしてWaveファイル名を入力するか、[参照] をクリックしてWaveファイルを選びます。

②スタートアップに登録する

このボックスをチェックすると、コンピュータを起動する際に自動的に [PC-FAX受信] が起動されますが、データが転送されるまで時間がかかります。

③ネットワーク設定（ネットワーク接続時のみ）

ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IPアドレスやノード名などの設定ができます。

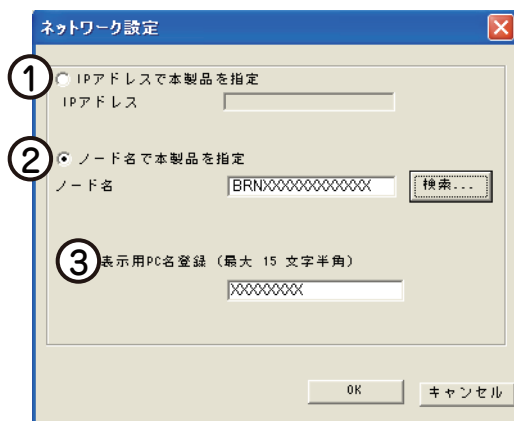
P.113 を参照してください。

●受信したファクスは My Documents￥My PageManager￥faxes フォルダに保存されます。（My Documents より上のフォルダ構成はご使用のコンピュータにより異なります。）

ネットワーク接続されたコンピュータに登録された本製品を変更をする

本製品で受信したファクスをコンピュータに送るための設定は、ソフトウェアのインストール時に終了しています。
ドライバのインストールについては、かんたん設置ガイド ネットワーク編を参照してください。
インストール時に設定した本製品を変更するときは、以下の手順に従ってください。

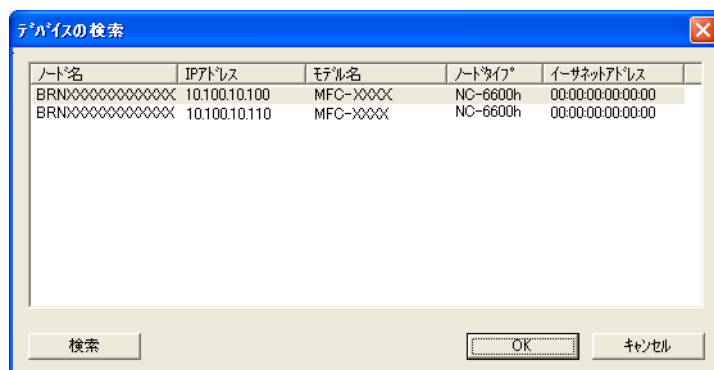
「Brother PC-FAX 受信設定」ダイアログの［ネットワーク設定］をクリックする

「ネットワーク設定」ダイアログが表示されます。

IPアドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で本製品を指定してください。

① IP アドレスで本製品を指定

本製品のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスの設定については、かんたん設置ガイドネットワーク編を参照してください。

②ノード名で本製品を指定

本製品のノード名を入力するか、［検索］をクリックし、一覧からご使用の製品を選択してください。

③表示用 PC 名登録

本製品のディスプレイに表示されるコンピュータ名を登録することができます。
半角15文字まで入力可能です。

本製品をPCファクス受信モードにする／PCファクス受信するコンピュータを変更する

メニュー、2 ABC、5 JKL、1の順に押す

▲または▼で、「PCファクス受信」を選び、OKを押す

▲または▼で、＜USB＞、＜パラレル＞またはコンピュータ名を選び、OKを押す

▲または▼で、「本体でも印刷」の設定を選択する

- 「する」：受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「しない」：受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

OKを押す

停止/終了を押す

補足

ネットワーク環境の場合、複数のコンピュータが接続されていても、PCファクス受信するコンピュータとして指定できるのは1台だけです。

受信したときは

PCファクスの受信を開始すると青色のアイコン、がタスクバー上で交互に表示されます。
受信が終了すると、が表示されます。

Presto! Page Manager を起動します。

「Faxes」フォルダを開く

新規のファクスをダブルクリックする

新規のファクスが開き、メッセージを確認することができます。
受信したメッセージを読み終わると、アイコンが緑色 に変わります。

補足

受信日時がファイル名として表示されます。

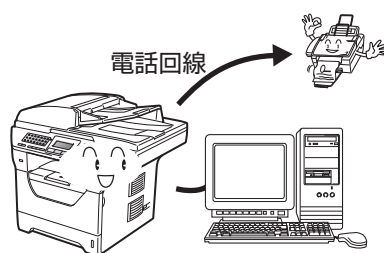
6章

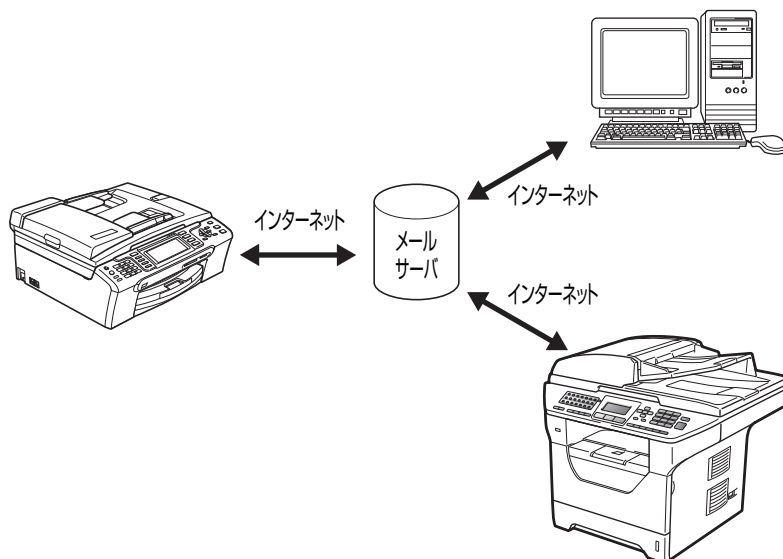
インターネットファクス

PCファクスとインターネットファクスの違い

インターネットファクスは、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。PCファクスとは次のような違いがあります。

PCファクスとは

通常のファクスは、2 台のファクス機が紙の原稿を送ったり受けたりします。原稿データのやり取りには、電話回線を使用するので、通信料金が発生します。
PCファクスは、本製品のような複合機にコンピュータを接続し、コンピュータの画面からファクスをやり取りできるようにしたものです。送信時・受信時とも原稿を印刷する必要がないため、用紙やトナー代が節約できます。データのやり取りには、通常のファクス同様、電話回線を使用するので、通信料金が発生します。

インターネットファクスとは

インターネットファクスは、データのやり取りを、電話回線ではなくインターネットを利用して行います。電話回線が不要になり、通信費がゼロになります（インターネット利用料金は別途必要です）。送受信の操作は本製品の操作パネルで行えるため、必ずしもコンピュータは必要ではありませんが、接続したコンピュータでも可能です。

インターネットファクス機能を使う

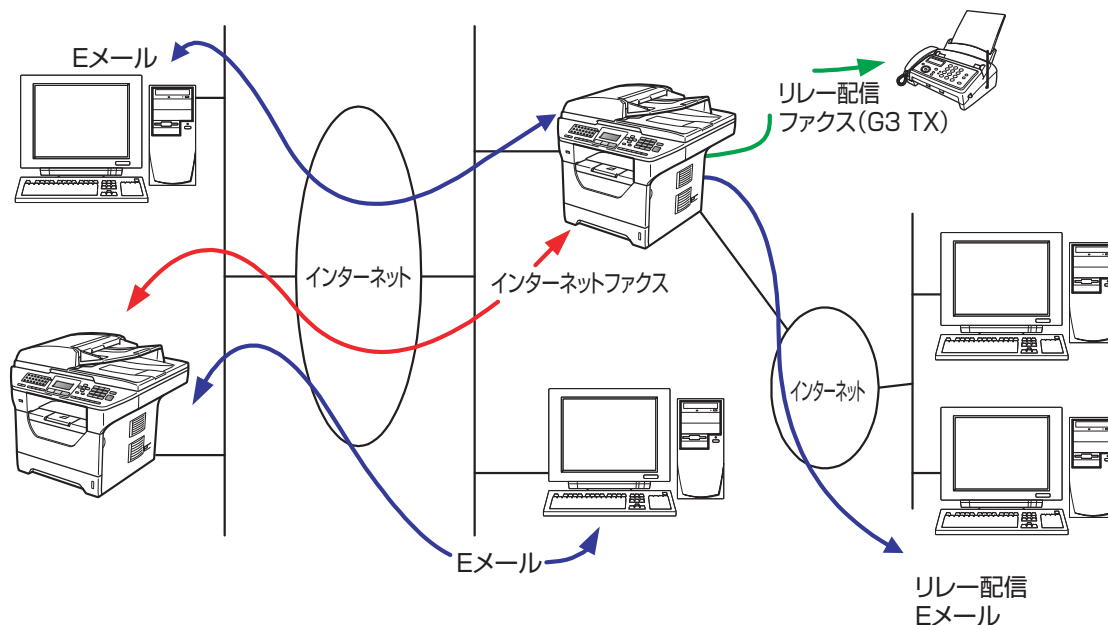
インターネットファクス機能とは

注意

インターネットファクス送受信は、一般的な電話を使用したファクス通信と下記の点が異なります。

- 受信者の場所、LANの構造やネットワークの混み具合によりエラーメールが返されるときに、通常より時間がかかることがあります（通常は20～30秒）。
- 重要機密などの情報の送信についてはインターネットを通じたファクス文書のやり取りよりも一般電話回線を使用したファクス通信をお勧めします。
- 受信側のメールシステムがMIME形式に対応していない場合は、インターネットファクス文書を受信できません。その場合のサーバメッセージの返信もないことがあります。
- 送信原稿のサイズが大きすぎる場合は、通信が正常に終了しないことがあります。
- 受信したメールのフォントやフォントサイズを変更することはできません。

インターネットファクスは、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。本製品からインターネットファクスでメッセージを送信するときは、TIFF-F形式の添付ファイルとしてEメール（MIME形式）で送信されます。
コンピュータ を使って受信する場合、TIFF-F形式が閲覧可能なビューワーを使用してください。

補足

●Windows® XP/Windows Vista® で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、インターネットファクスが使用できないときは、ポート52926と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

●TIFF-F形式について
ファクス間でやり取りされる標準的な画像形式（TIFF）です。画像処理ソフトなどで使用されているTIFFファイルと比較すると、圧縮形式やページ情報を持っている（複数の画像が一つのファイルになっている）などの点で異なっています。したがって、複数枚のファクスを受信しても1個のファイルに変換できます。

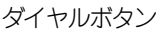
●インターネットファクス機能で送受信できるものはモノクロTIFF-F形式のファイルのみです。

インターネットファクス機能を使う準備

設定の流れ

インターネットファクスをご使用いただく前に、本製品のネットワークおよびメールサーバの設定をしておく必要があります。

- IP アドレスを設定します。（ネットワークプリンタとして使用されていれば、設定済みです。）
- メールアドレスを設定します。
- SMTP、POP3サーバアドレスを設定します。
- アカウント名およびパスワードを設定します。

これらの設定はウェブブラウザやリモートセットアップでも設定できます。
ネットワーク設定およびウェブブラウザからの設定について、詳しくは画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。
設定がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

操作パネルのボタンについて

操作パネルでのボタン操作は、下記のとおりです。

- Shift ▼ + 1
  入力モードを切り替えます。ダイヤルボタンを使ってアルファベットの入力ができます。
- ダイヤルボタン
  アルファベット、数字、記号およびカナ文字の入力できます。
- ◄ または ►
  カーソルを移動するときに使用します。
- ▲ または ▼
  メニューや選択項目をスクロールするときに使用します。
- OK
  複数の送付先を入力または選択する場合、ひとつの送付先を入力するごとに続けて押します。
  また、メニューの設定を確定するときに押します。
- スタート
  文書の送信を開始します。
- 停止/終了
  入力した送付先の削除、スキャニングや送信を止めるときに押します。
- ワンタッチボタン
  通常のファクス送信時のボタン操作と同じです。
- Shift ▼ + スタート
  手動でPOP3 サーバのメールをチェックする時に使用します。

インターネットファクスを送信する

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルボタンにインターネットファクス送付先のアドレスが登録されている場合は、通常のファクス送信の手順で送信できます。これには、本製品の操作パネルで行う方法と、接続したコンピュータの画面で行う方法があります。

注意

■インターネットファクスを利用するには、あらかじめ本製品のネットワークおよびメールサーバの設定が必要です。
画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

■画質は操作パネルの ファクス で選択できます。「標準」、「ファイン」、「写真」の各画質を選択できます。カラーでは送信できません。詳しくは ユーザーズガイド（基本編）を参照してください。

■サイズ制限
Eメールサーバによっては、送信できるメールのサイズに制限があります。本製品のサイズ制限を「オン」にしておくと、1Mバイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたときに「メモリーがいっぱいです」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この場合は、ページを分割するなどして1つのメールを制限値以下に抑える必要があります。
操作パネルのネットワークメニュー、またはウェブブラウザやリモートセットアップでも設定できます。詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

操作パネルからインターネットファクスを送信する

本製品の操作パネルから通常のファクス送信の手順と同様にしてインターネットファクスを送信します。
詳しくは ユーザーズガイド基本編2章「ファクス・電話帳 ファクスを送る」を参照してください。

また、指定した複数の相手に同じ原稿を送信することもできます。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50か所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大390か所まで指定できます）。
詳しくは ユーザーズガイド基本編2章「ファクス･電話帳 同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕」を参照してください。

受信確認について

本製品からインターネットファクスを送信する場合

送信時に受信確認要求（MDN：Mail Disposition Notification）の情報をあわせて送信すると、受信側（相手側）のインターネットファクスやメールソフトが受信確認機能に対応している、またはその機能が有効になっている場合、所定の受信確認レポートを自動的に返信します。
これにより正しくインターネットファクスが届けられたかを知ることができます。

この機能を使用するには

- 受信確認を要求する：　「送信設定」の「受信確認要求」を「ｵﾝ」に設定してください。
受信側がMDNに対応している場合に確認レポートが送付されてきます。「ｵﾌ」の場合は受信確認要求を行いません。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
- 受信確認要求に応じる：「受信設定」の「受信確認」を「ｵﾝ」（要求が無くてもレポートを送信）または MDN（受信確認要求が受信メールに含まれていた場合のみレポートを返信）に設定してください。「ｵﾌ」の場合は確認要求に応じません。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

エラーメール

エラーによりインターネットファクスが正しく配信されなかった場合、メールサーバからエラーメッセージが返信され、本製品から印刷されます。受信時になにか問題があった場合も、エラーメッセージが出力されます。
（ただし、「ﾍｯﾀﾞ印刷」が「なし」に設定されているとエラーメッセージは出力されません。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。）

例：「受信データ　エラー　：　TIFF-F形式ではありませんでした」

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを受信するには2つの方法があります。
- 自動で定期的に確認する
- 手動で確認する

自動で定期確認を設定する

本製品を定期的にPOP3サーバへアクセスさせます。操作パネルのネットワークメニューを使用してポーリング設定を行った場合、その間隔でメールの確認を行います。
またウェブブラウザやリモートセットアップでも設定できます。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。

手動で確認する

手動で本製品をPOP3サーバにアクセスさせ、メールを確認します。

Shift + スタート を押す

メールの受信が開始されます。
本製品のディスプレイに［受信中］と表示され、受信が完了すると受信したメールの数が表示されます。
メール確認の結果、POP3 サーバにメールが存在しない場合は［メールはありませんでした］と表示されます。
データを受信し、印刷開始の時点で記録紙トレイに紙が無い場合、受信されたデータは本製品内のメモリに保存されます。このデータは記録紙を補充することで自動的に印刷されます。

注意

■受信されたメールがテキスト形式でない場合や、添付ファイルが TIFF-F 形式でない場合は［添付ファイルのフォーマットは使用できません　ファイル名：XXXX］などのエラーメッセージが印刷されます。

■受信されたメールのファイルサイズが大きすぎる場合、［ファイルサイズが大きすぎます］というメッセージが印刷されます。

■操作パネルのネットワークメニューやウェブブラウザでエラーメール削除機能を「オン」に設定しているときは、これらのメールはサーバより削除されます。

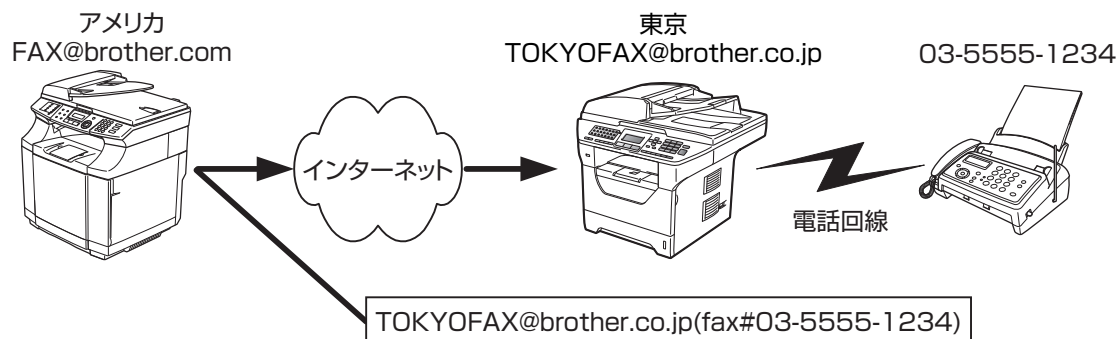
コンピュータでインターネットファクスを受信する

インターネットファクス文書（添付ファイル）を読むには、コンピュータにTIFF-Fビューワーがインストールされている必要があります。

ファクス転送

本製品で受信したEメールやファクス文書は、他のEメールアドレス（コンピュータやインターネットファクス機）やファクス機器に自動転送することが可能です。また、通常の電話回線経由で転送することも可能です（この場合はモノクロのみになります）。
詳しくは ユーザーズガイド基本編3章「転送・リモコン機能 ファクス転送と電話呼び出し機能」を参照してください。

リレー配信機能（中継）を使うときは

インターネットファクスで受信した文書を、通常の電話回線を使用して他のファクス機器に再送信することができます。これをリレー配信機能と呼びます。配信先には、最大48台のファクス機器を指定できます。

リレー配信機能には、本製品が中継する場合と、本製品から送り、他の製品に中継させる場合があります。

本製品が中継するとき

本製品をリレー配信機能の中継点として使用するには、リレー配信データの発信元のドメイン名を、あらかじめ本製品に登録し、リレー配信を許可しておく必要があります。登録されていないドメインからのデータはリレー配信されません。登録できるドメイン名は最大10個です。
登録は、操作パネルのネットワークメニューやコンピュータのウェブブラウザで行います。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

補足

ドメイン名は、メールアドレスの"@"より後ろの部分です。メールアドレスがTOKYOFAX@brother.co.jpの場合、ドメイン名はbrother.co.jpとなります。

本製品から送り、他の製品に中継させるとき

出張先のアメリカの本製品（アドレスはFAX@brother.com）から、東京支社にある別の本製品（アドレスはTOKYOFAX@brother.co.jp）を経由して、東京の取引先の通常のファクス機にファクス送信したいような場合、リレー配信機能が便利です。
その際、東京支社の本製品には、あらかじめリレー配信データの発信元として、アメリカの本製品のドメイン名brother.comを、許可ドメインとして登録しておく必要があります。登録がない場合はリレー配信できません。

アメリカからインターネットファクスを送信する場合、宛先には、メールアドレスの後ろにリレー配信先のファクス番号を入力します。

複数のリレー配信先がある場合は、下記の手順に従います。

1 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを入力する
“TOKYOFAX@brother.co.jp(fax#03-5555-1234)”と入力します。
最大 60 文字まで入力できます。
ワンタッチダイヤルにも登録しておくことができます。

OKを押す

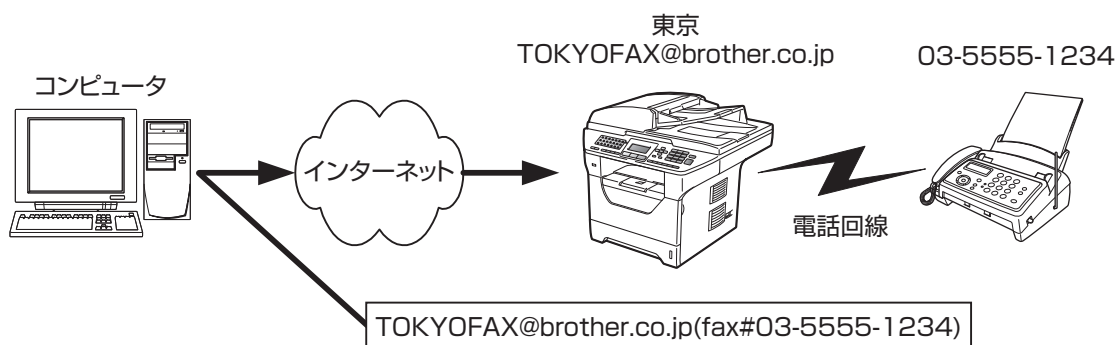
次のリレー配信先を含めたメールアドレスを入力する
“TOKYOFAX@brother.co.jp(fax#03-5555-5678)”と入力します。
最大 60 文字まで入力できます。
ワンタッチダイヤルにも登録しておくことができます。

3台目以降は、手順2、3をくり返す

を押して送信する

補足
アルファベットを入力する場合は、Shift＋1を押して、入力モードを切り替えてください。

コンピュータからリレー配信を行う

お持ちのコンピュータから東京にある本製品にＥメールを送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより異なります。

また、ソフトウエアやそのバージョンによっては、配信先のファクス番号を含んだメールアドレスの送信/同報に対応していない場合があります。

- Outlook Express
- Netscape Communicator 4.x 以降
- Eudora Ver 4.x 以降
- Outlook 97 以降

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバー作成時のアドレス欄に下記のように入力してください。
TOKYOFAX@brother.co.jp（fax#03-5555-1234）
（メールソフトによっては上記のとおり入力して［ENTER］キーを押すと“fax#03-5555-1234”と表示されることがありますが、正しく送信できます。）
リレー配信機能はネットワークPCファクス からも使用できます。（Windows®のみ）

補足
「T.37」規格でサポートしているイメージフォーマットは、RFC-2301記載のモノクロTIFF-F Profile Sのみです。

Windows®編

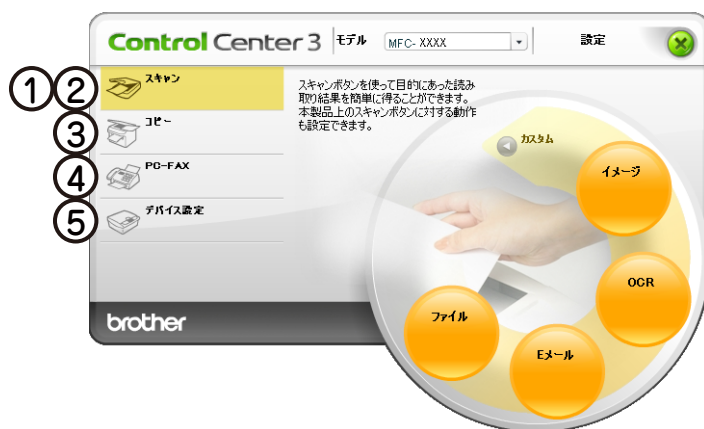
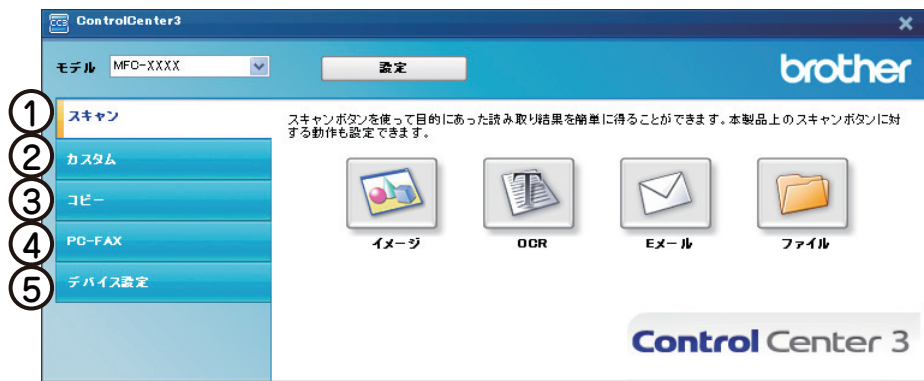
7章

その他の便利な使い方（ControlCenter3）

ControlCenter3とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter3の画面

ControlCenter3には、「Modern」と「Classic」の2種類のスキンが用意されています。どちらも使用できる機能は同じです。

① スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.129 を参照してください。

② カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.133 を参照してください。

③ コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.136 を参照してください。

④ PC-FAX

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.137 を参照してください。

⑤ デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.138 を参照してください。

ControlCenter3を起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ControlCenter3］を選択する

ControlCenter3 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

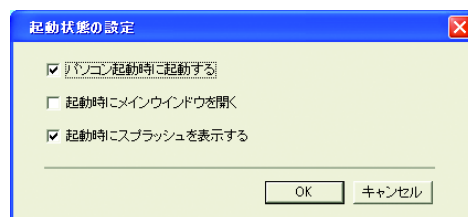
起動時の動作を設定する

コンピュータを起動したとき、ControlCenter3 も同時に起動させることができます。

タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  コンピュータが起動すると自動的にControlCenter3 が起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウインドウを開く：
  ControlCenter3 が起動すると、メインウインドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動する画面を表示します。

［OK］をクリックする

ControlCenter3のスキンを変更する

「Modern」と「Classic」のどちらかのスキンを選択できます。

［設定］をクリックして、［ControlCenter の設定］-［使用するスキンの選択］を選ぶ

スキン選択のダイアログボックスが表示されます。

「Modern」または「Classic」を選び、［OK］をクリックする

ControlCenter3 のスキンが変更されます。

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

スキャンを実行する

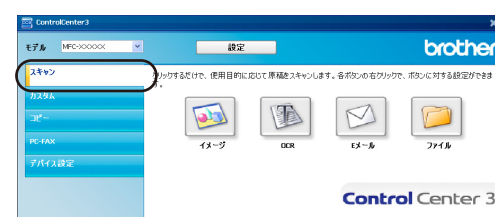
ControlCenter3からスキャンを実行します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

ControlCenter3 の「スキャン」をクリックする

Modernの場合

Classicの場合

「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。

- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「Eメール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されます。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

補足

「ファイル」を選択した場合、保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント￥マイピクチャ￥ControlCenter3￥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxx
  CCF：好みの文字列に変更できます。「スキャンの設定」P.132を参照してください。
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxx：通し番号

ファイル形式

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。

- Windows® ビットマップ（＊.BMP）
- JPEG（＊.JPG））
- TIFF（＊.TIF）
- TIFFマルチページ（＊.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（＊.PNG）
- PDF（＊.PDF）
- パスワード付きPDF（＊.PDF）
- XML Paper Specification（＊.XPS）

補足

●TIFFおよびTIFFマルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。

●XML Paper Specificationは、Windows Vista®に標準でインストールされているXMLベースの文書フォーマットです。

スキャンの設定を変更する

ボタンをクリックしたときに起動するアプリケーションやファイル形式などの設定を変更します。

「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択する

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、設定を変更する

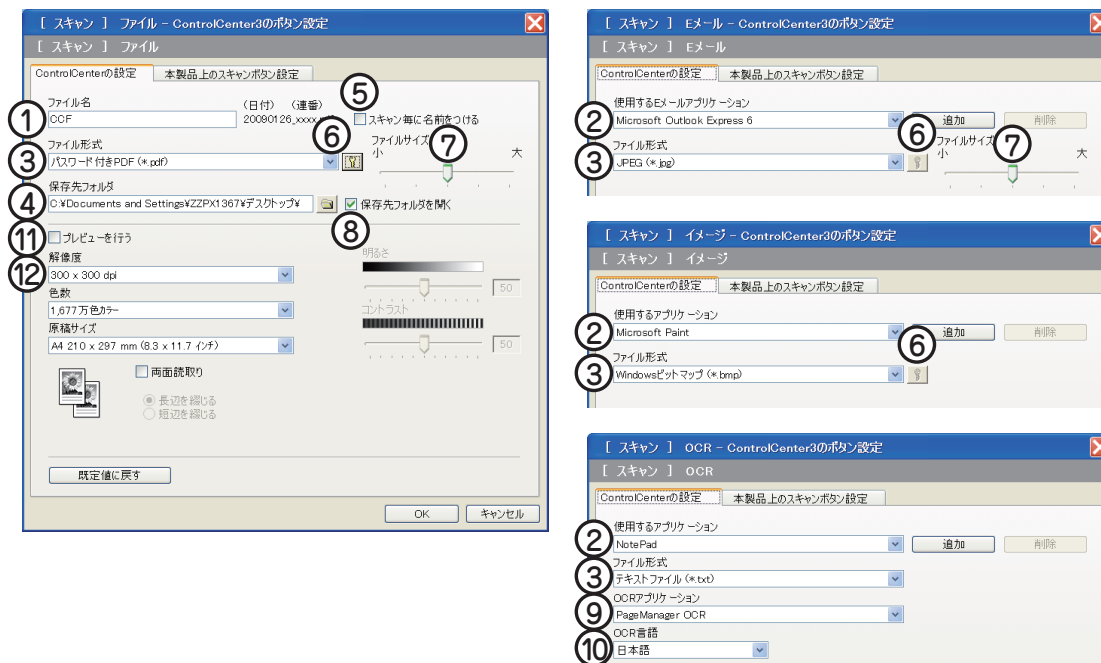
設定できる内容は、ボタンによって異なります。

「スキャンの設定」P.132

本製品の［スキャン］ボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本製品上のスキャンボタン設定」タブをクリックして、設定を変更します。

［OK］をクリックする

設定が変更されます。

スキャンの設定

① ファイル名（「ファイル」のみ）

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② 使用する E メールアプリケーション（「E メール」のみ）/ 使用するアプリケーション（「イメージ」/「OCR」のみ）

スキャンした原稿を添付するEメールアプリケーション、またはスキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。
［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

③ ファイル形式

データのファイル形式を選択します。

④ 保存先フォルダ（「ファイル」のみ）

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

⑤ スキャン毎に名前をつける（「ファイル」のみ）

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥ PDF パスワードの設定

ファイルを開くときのパスワードを設定します。ファイル形式を「パスワード付きPDF（*.pdf）」を選択したときのみ設定することができます。

⑦ ファイルサイズ（「イメージ」、「ファイル」、「E メール」のみ）

- 解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。
- ファイル形式で「TIFF」または「TIFFマルチページ」を選択した場合は、［圧縮］または［非圧縮］の選択をすることができます。

⑧ 保存先フォルダを開く（「ファイル」のみ）

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑨ OCR アプリケーション（「OCR」のみ）

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCRソフトウェア）を選択します。

⑩ OCR 言語（「OCR」のみ）

変換する言語を選択します。

⑪ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑫ 解像度 / 色数 / 原稿サイズ / 両面読取り / 明るさ / コントラスト

必要に応じて設定します。

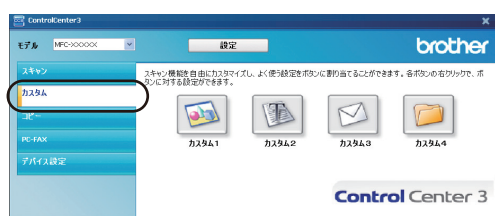
カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

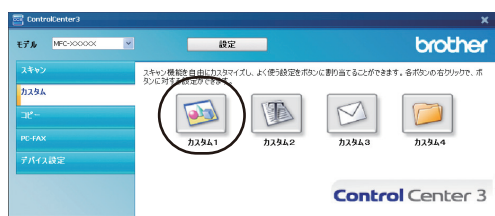
- Modernの場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。
- Classicの場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

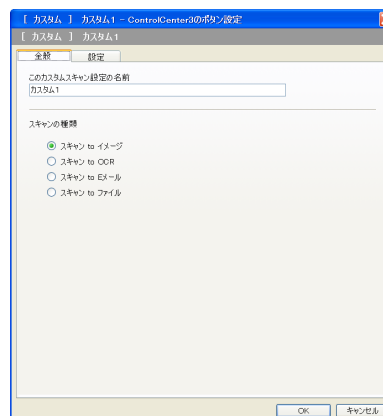
Modernの場合

Classicの場合

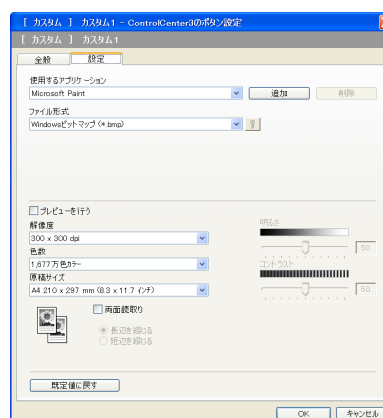
「カスタム 1」ボタンを右クリックして[ControlCenter のボタン設定]を選択する

「ControlCenter3 のボタン設定」ダイアログボックスが表示されます。

Modernの場合

Classicの場合

スキャンの名前と種類を設定する

「このカスタムスキャン設定の名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。
スキャンの種類は、「スキャン to イメージ」「スキャン to OCR」「スキャン to E メール」「スキャン to ファイル」から選びます。

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。
「スキャンの設定」P.132

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

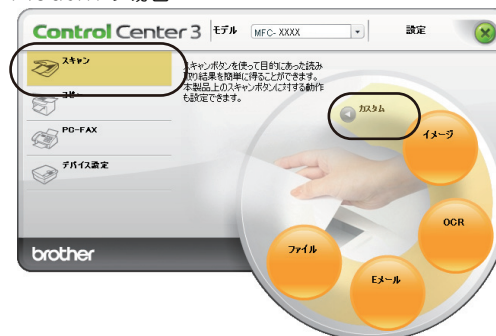
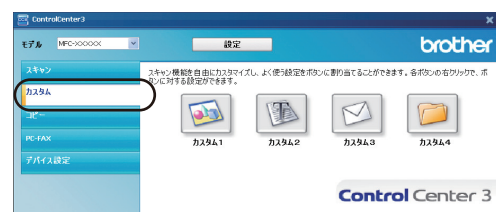
カスタムスキャンを実行する

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

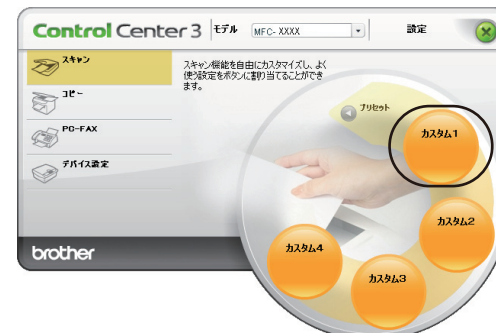
ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

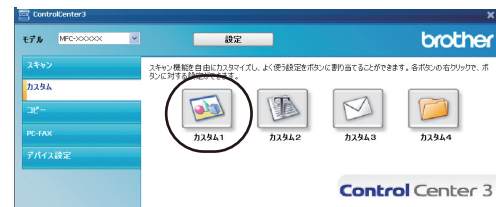
- Modernの場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

- Classicの場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

Modernの場合

Classicの場合

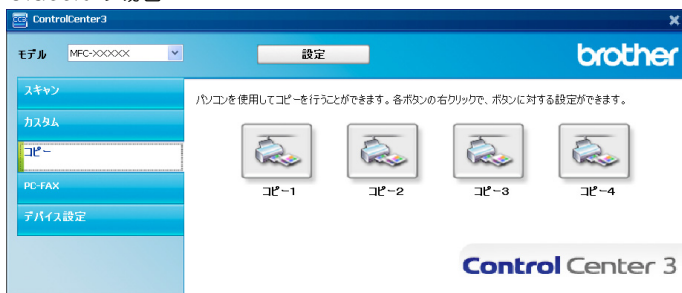
実行するスキャンのボタンをクリックする

設定にしたがってスキャンが実行されます。

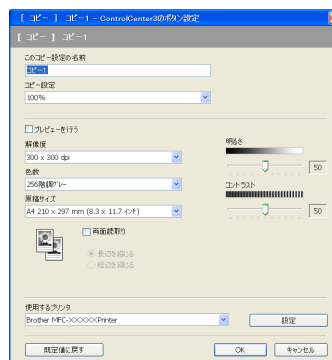
Modernの場合

Classicの場合

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。

Modernの場合

Classicの場合

コピーの設定を登録する

ボタンを右クリックして［ControlCenter のボタン設定］を選択する

「ControlCenter3 のボタン設定」－［コピー］ダイアログボックスが表示されます。

「このコピー設定の名前」に名前を入力する

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

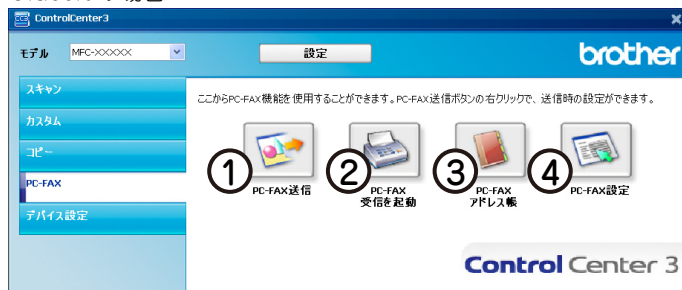
原稿をセットし、設定したボタンをクリックする

設定に従ってコピーが実行されます。

PCファクス

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、コンピュータで内容を確認することもできます。

Modernの場合

Classicの場合

① PC-FAX 送信

スキャンした原稿をPCファクス送信します。
右クリックでスキャンするデータの設定ができます。

PCファクス 送信の操作については、P.97 または P.98 を参照してください。

② PC-FAX 受信を起動

ファクスをコンピュータで受信するときにクリックします。ファクスを受信すると、ボタンが に変わります。

PCファクス 受信の設定および操作については、P.111 を参照してください。

③ PC-FAX アドレス帳

PCファクスのアドレス帳に相手先を登録します。

PCファクスアドレス帳の操作については、P.96 を参照してください。

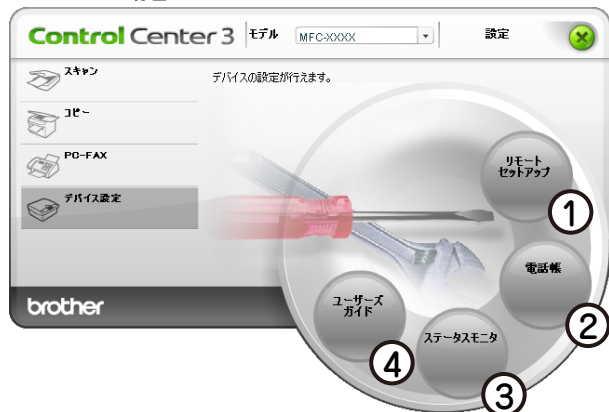
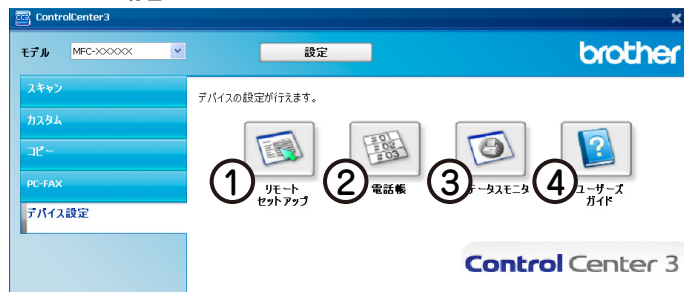
④ PC-FAX 設定

PCファクスを送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。

個人情報の登録については、P.94 を参照してください。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

Modernの場合

Classicの場合

① リモートセットアップ

コンピュータ上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.85 を参照してください。

② 電話帳

コンピュータ上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくはP.90 を参照してください。

③ ステータスモニタ

コンピュータ上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくはP.20 を参照してください。

④ ユーザーズガイド

コンピュータ上で本製品の画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照できます。

Macintosh編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。プリンタドライバは、Mac OSに簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。Macintoshとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもMacintoshからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高30枚（A4）の片面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 自動両面印刷

1分間に最高13ページ※の両面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）
省資源、経費節減に有効です。
※両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、6.5枚/分です。

● 1200 × 1200dpi（最高）出力

普通紙に1200 × 1200dpi（最高）相当の解像度で印刷します。（解像度を上げていくほど印刷速度は遅くなります。）HQ1200（2400×600dpi）よりもきれいに印刷することができます。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、はがきおよびOHPフィルムなどに対応します。

● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

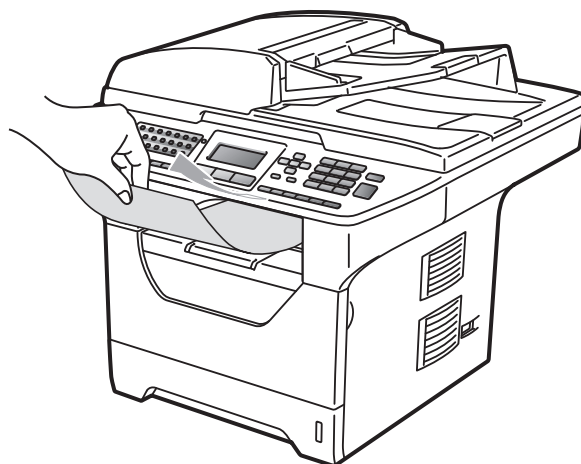
● セキュリティ印刷

データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくはP.156を参照してください。

補足

●解像度などの設定についてはP.153を参照してください。

●記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド基本編1章「ご使用の前に　記録紙について」を参照してください。

●印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

●本製品がMacintoshからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはMacintoshの印刷終了後です。また、Macintoshから印刷中にファクスを受信すると、Macintoshの印刷終了後に受信したファクスの印刷を開始します。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

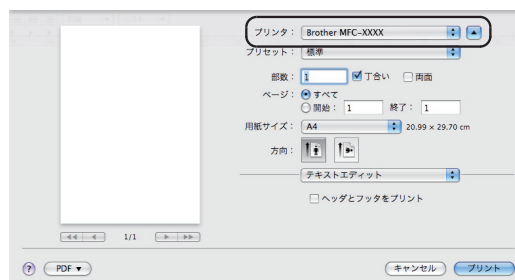
注意

ご使用のソフトウェアの種類やMacintoshの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

印刷する

片面に印刷する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリント］ダイアログボックス内の［プリンタ］から本製品のプリンタ名を選択する

必要に応じて部数、ページなどを設定し、［プリント］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

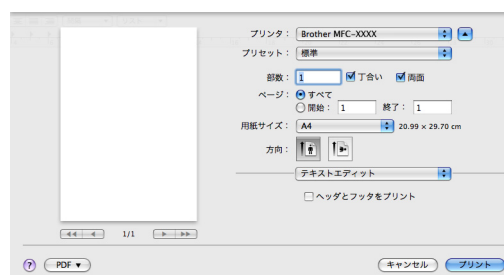
両面印刷（自動両面印刷）する

両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

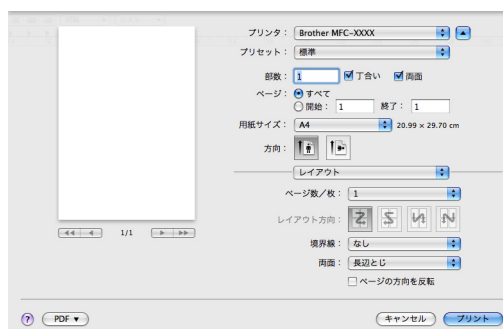
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリンタ］ダイアログボックス内の本製品のプリンタ名を選択する

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x の場合は、手順 4 に進みます。

［両面］のチェックボックスにチェックする

ポップアップメニューから［レイアウト］を選択し、両面の［長辺とじ］、［短辺とじ］を選択する

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x の場合

Mac OS X 10.5.x の場合

必要に応じて部数、ページなどを設定する。

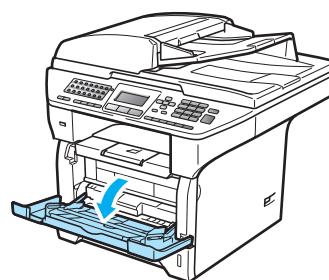
［プリント］をクリックする

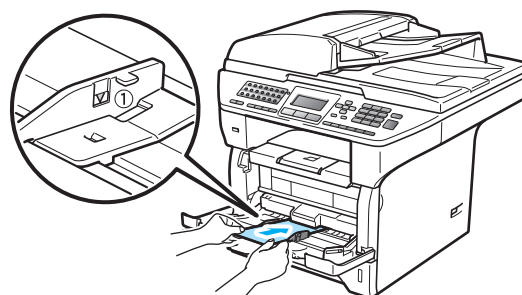
本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。

多目的トレイ（MPトレイ）を使用して印刷する

多目的トレイを開く

必要に応じて、用紙ストッパーを開きます。

印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする

記録紙は、多目的トレイ（MP トレイ）の両側にある記録紙ガイド（①）に収まるようにセットしてください。

記録紙ガイドをつまみながら、記録紙の幅に合わせる

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリンタ］ダイアログボックス内の本製品のプリンタ名を選択する

必要に応じて用紙サイズや向きなどの印刷設定を行ってください。

6 ［プリント］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

注意

■用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■多目的トレイ（MPトレイ）から用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に最上面の用紙以外を押さえてください。

操作パネルからのプリント操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

キャンセルを押す

メモリー内のデータが消去されます。

すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル（全て）」と表示されるまでキャンセルを押します。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。
両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m2～105g/m2）のみです。

メニュー、4 GHI、2 ABC、1の順に押す

- ▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。
- [1. HP LaserJet]または[2. BR-Script 3]を選択します。

スタートを押す

フォントリストが出力されます。

停止/終了を押す

プリンタ設定内容リストの出力

現在のプリンタの設定内容を印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、2 ABCの順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

スタートを押す

プリント設定内容が出力されます。

停止/終了を押す

テスト印刷

印刷の品質をテスト印刷して確認します。

メニュー、4 GHI、2 ABC、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

スタート を押す

テスト印刷が出力されます。

停止/終了 を押す

両面印刷

プリンタの印刷設定を両面にすることができます。
両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

メニュー、4 GHI、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

▲または▼を押して設定を選択する

［オフ］［オン（長辺とじ）］［オン（短辺とじ）］を選択します。

OK を押す

停止/終了 を押す

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

メニュー、4 GHI、4 GHI の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

1 を押す

プリント設定内容が初期化されます。

停止/終了 を押す

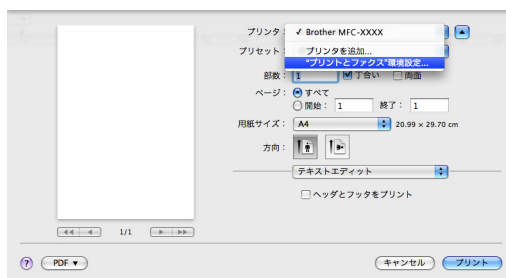
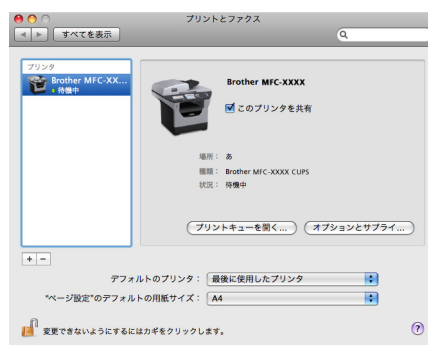
印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のMacintoshからステータスモニタで本製品の印刷状況などを確認できます。

ステータスモニタを起動する

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［ブラザーステータスモニタ］アイコンをクリックすると、ステータスモニタが起動し、ステータスモニタウィンドウが表示されます。
ControlCenter2を使ってステータスモニタを起動することもできます。詳しくはP.217を参照してください。

プリントキュー画面からのステータスモニタの起動方法

［プリント］ダイアログボックス内の［プリンタ］から［“プリントとファクス”環境設定］を選択する

プリンタリストから使用しているプリンタを選択する

［プリントキューを開く］をクリックする

補足

Mac OS X 10.3.9～10.4.xの場合は、［プリントキュー］をクリックする。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

[ユーティリティ］をクリックする

本製品の状態表示の更新

をクリックすると、ご使用のMacintoshと本製品が通信を開始し、本製品の状態を確認できます。

更新間隔の変更

本製品の状態表示の自動更新間隔を変更することができます。

メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［環境設定］を選択する

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

[入］にチェックが入っていることを確認して、
[リフレッシュ間隔］に数値を入力する

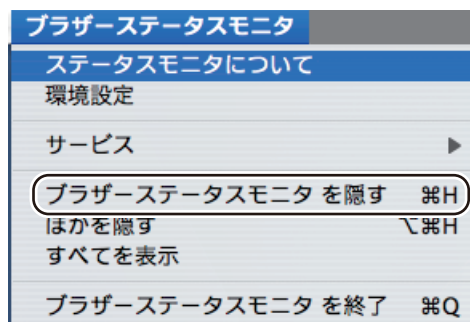
[OK］をクリックする

ウインドウの格納と表示

- ステータスモニタ起動後、ステータスモニタウインドウを格納（非表示に）するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［ブラザーステータスモニタを隠す］を選択します。
- ステータスモニタ格納後、再度ステータスモニタウインドウを表示するには、ドックのをクリックします。また、ControlCenter 2のデバイス設定タブからステータスモニタをクリックしてもウインドウが表示されます。

ブラザーステータスモニタ
ステータスモニタについて
環境設定
サービス
ブラザーステータスモニタ を隠す　⌘H
ほかを隠す　⌥⌘H
すべてを表示
ブラザーステータスモニタ を終了　⌘Q

ステータスモニタの終了

ステータスモニタを終了するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［ブラザーステータスモニタを終了］を選択します。

ウェブブラウザを使用して本製品にアクセスする

- 標準のウェブブラウザでHTTP（Hyper Text Transfer Protocol）を使用して、本製品を管理することが出来ます。（詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。）
- ステータスモニタウインドウのをクリックするとウェブブラウザを使用して本製品にアクセスすることもできます。（詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。）

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本製品をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））
ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピュータから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択する

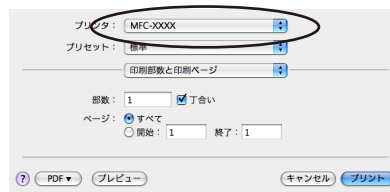
［対象プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。
以下の項目が設定できます。
- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

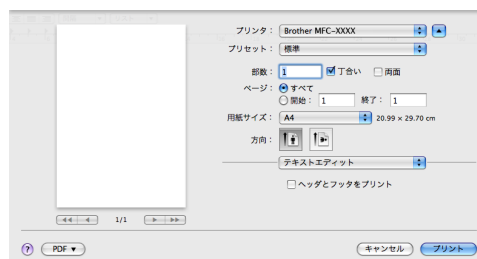
設定が終わったら、［OK］をクリックする

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

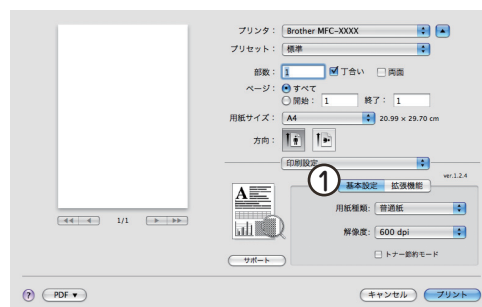
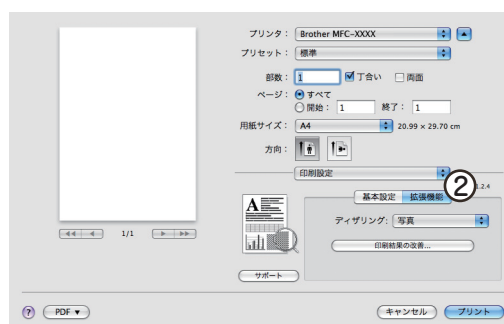
［プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。

- Mac OS X 10.3.9～10.4.x の場合は、手順4に進みます。
- Mac OS X 10.5.xの場合は、手順3に進みます。

Mac OS X 10.3.9～10.4.xの場合

Mac OS X 10.5.xの場合

［プリンタ］ポップアップメニューの横の ▼ をクリックする

ポップアップメニューから［印刷設定］を選択する

以下の項目が設定できます。

①基本設定
- 用紙種類
- 解像度
- トナー節約モード

②拡張機能
- ディザリング
- 印刷結果の改善

各項目を設定する

設定内容の詳細はP.152を参照してください。

［プリント］をクリックする

印刷が開始されます。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、お使いのアプリケーションの設定が優先されることがありますので、同時に使用しないでください。

［基本設定］画面での設定項目

① 用紙種類

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。
市販されている普通紙やコピー用紙で厚めのものに印刷する場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。
厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙］を選択します。［厚紙］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。
再生紙には［再生紙］を選択します。

②解像度

解像度を次の4種類から選択します。

「1200 dpi」:	1 インチあたり 1200 × 1200 ドットの解像度で印刷します。
「HQ1200」:	1 インチあたり 2400 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「600 dpi」:	1 インチあたり 600 × 600 ドットの解像度で印刷します。
「300 dpi」:	1 インチあたり 300 × 300 ドットの解像度で印刷します。

"メモリーがいっぱいです"のエラーが表示される場合は、解像度を下げて印刷してください。

③トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約することができます。

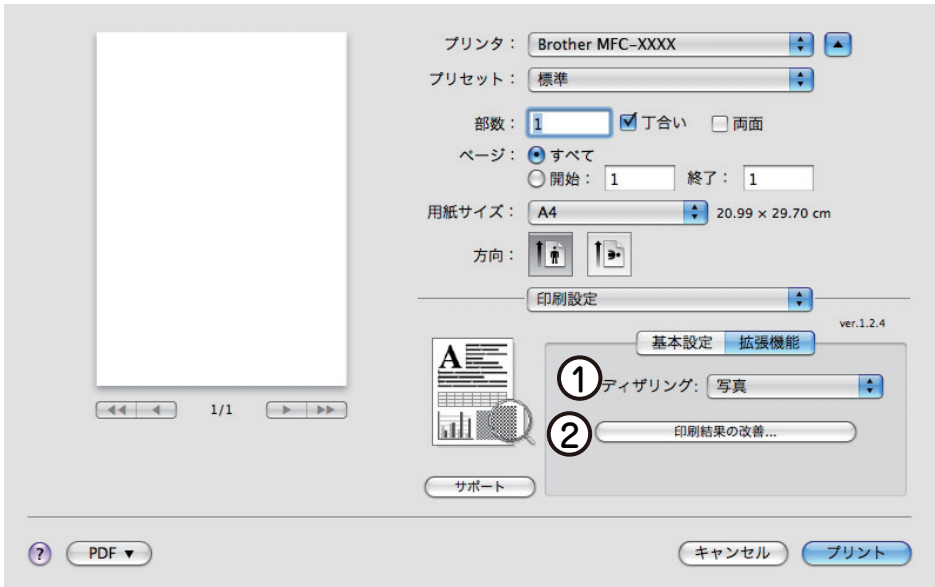
④ サポート

- Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）
  よくあるご質問（Q&A）、ユーザーズガイド、最新のドライバやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。
- ブラザー純正消耗品のご案内
  ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページが表示されます。

⑤上下反転（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x のみ）

チェックボックスをチェックすると、上下を逆にして印刷することができます。
Mac OS X 10.5.xの場合は、［レイアウト］での設定項目のページの方向を反転P.155で設定してください。

[拡張機能] 画面での設定項目

① ディザリング

記録紙や原稿、使用目的に合わせて選択します。

- 写真.......................................写真など階調が連続している印刷に適した設定です。暗部の微妙な階調の変化を再現できます。
- グラフィックス.......................グラフィックスなど、線やグラデーションに適した設定です。はっきりした濃さの表現になります。写真を印刷した場合、コントラストの大きい印刷になります。
- チャート/グラフ......................ビジネス文書やプレゼンテーション資料など、文字・グラフ・チャートが多い印刷に適した設定です。同じ濃さの領域は、ざらつきを少なく印刷します。
- テキスト.................................文字のみの文書の印刷に適した設定です。

② 印刷結果の改善

- **用紙のカールを軽減する**
  印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」をチェックすることでカールが軽減される場合があります。
  チェックしても改善されない場合は、[基本設定] 画面の用紙種類P.152をより薄いものに変更してください。
- **トナーの定着を改善する**
  印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」をチェックすることで改善される場合があります。
  チェックしても改善されない場合は、[基本設定] 画面の用紙種類P.152をより厚いものに変更してください。

その他の設定内容

［レイアウト］での設定項目

① ページ数／枚

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷することができます。
1枚の用紙に印刷するページ数を「1」、「2」、「4」、「6」、「9」、「16」から選択します。

② レイアウト方向

複数ページのレイアウト方向を選択します。

③ 境界線

複数ページを1枚の用紙に印刷する場合、各ページに仕切り線を挿入することができます。
仕切り線のタイプを「なし」、「極細線」、「細線」、「極細2本線」、「細2本線」から選択します。

④ ページの方向を反転（Mac OS X 10.5.x のみ）

ページの方向を反転して印刷することができます。

[セキュリティ印刷] での設定項目

● セキュリティ印刷

Macintoshから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

Macintoshでセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する

▼

Macintoshで印刷を実行する

▼

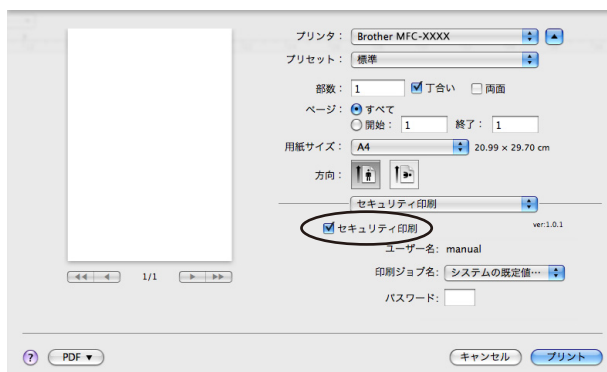
印刷データが本製品に届き、本製品のメモリー内に保持される

▼

本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データは本製品のメモリーからクリアされます。

● Macintosh の操作

[セキュリティ印刷] で、セキュリティ印刷チェックボックスにチェックを付ける

パスワード、ユーザー名、印刷ジョブ名を設定する

パスワードは半角 4 桁数字、ユーザー名と印刷ジョブ名は半角英数字で入力してください。

[プリント] をクリックする

● 本製品の操作

を押す

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。

セキュリティ印刷をします。

本製品のメモリーにあるデータおよび印刷中のデータをクリアします。

▲または▼を押してユーザーを選択し、OKを押す

▲または▼を押して印刷したいデータを選択し、OKを押す

４桁のパスワードを入力し、OKを押す

ｾｷｭﾘﾃｨ印刷
TEST1
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXX
入力&OKﾎﾞﾀﾝ

▲または▼を押して「プリント」を選択し、OKを押す

印刷をしないでデータを削除する場合は、▲または▼を押して「消去」を選択し、OKを押してください。

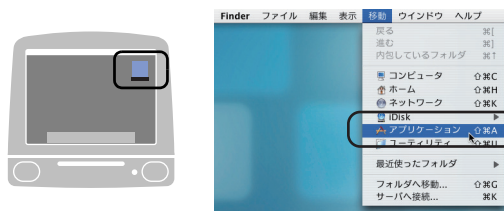
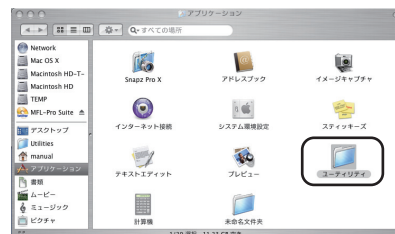
プリントしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力し、OKを押す

印刷を開始します。

BR-Script3プリンタドライバの設定をする

BR-Script3プリンタドライバは、PCファクス機能には対応していません。
USB接続しているMac OS Xは、１つのプリンタドライバのみ登録することができます。すでに［プリンタリスト］にブラザープリンタドライバが登録されている場合は、いったんドライバを削除してBR-Script3プリンタドライバをインストールする必要があります。

Mac OS X 10.3.9～10.4.xの場合

［移動］メニューの［アプリケーション］を選択する

［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックする

［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする

［追加］をクリックする

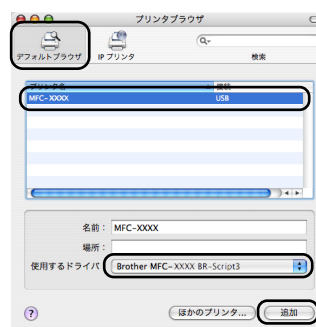
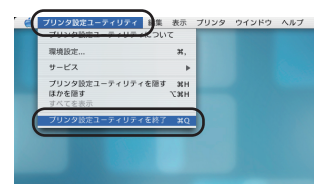
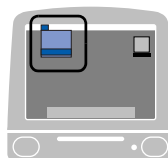
Mac OS X 10.4.x の場合は、手順６に進みます。

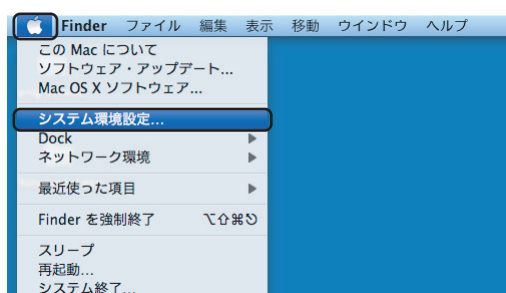
［USB］を選択する

［モデル名］を選択し、［Brother（モデル名）BR-Script3］を選択し、［追加］をクリックする

［Brother（モデル名）BR-Script3］は、Mac OS X 10.3.9 の場合［プリンタの機種］から選択します。Mac OS X 10.4.x の場合［使用するドライバ］から選択します。

Mac OS X 10.3.9

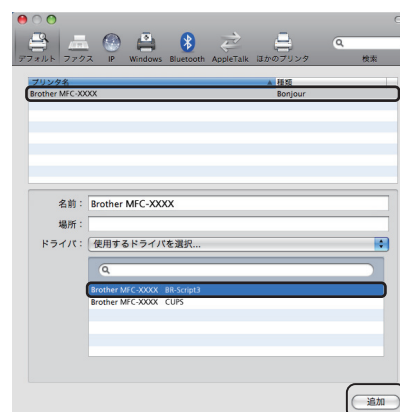
Mac OS X 10.4.x

［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］を選択する

Mac OS X 10.5.xの場合

メニューから［システム環境設定］を選択する

［プリントとファクス］アイコンをクリックする

3 ＋ をクリックする

4 ［デフォルト］アイコンをクリックする

5 ［Brother（モデル名）］を選択し、［ドライバ］から［使用するドライバを選択 ...］をクリックする

6 ［Brother（モデル名）BR-Script3］を選択し、［追加］をクリックする

7 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］を選択する

Macintosh編

2章

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナドライバをインストールする

付属のCD-ROMに収録されているドライバのインストールが必要です。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

ただし、以下の場合はドライバのインストールは不要です。

- 「スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】」P.165
- 「スキャンした原稿を共有フォルダに保存する 【スキャン to ネットワークファイル】」P.173
- 「スキャンした原稿をFTPサーバに保存する【スキャン to FTP】」P.172
- 「スキャンした原稿をUSBメモリーに保存する【スキャン to USB】」P.174

ネットワーク接続の場合の準備

● ネットワークを設定する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。ネットワークプリンタとしてお使いいただいていれば設定済みですが、そうでない場合は、画面で見るマニュアル(HTML形式)を参照してください。

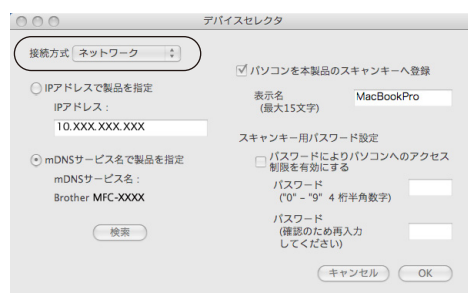
● スキャンするデバイスを選択する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、スキャンするデバイスをあらかじめ選んでおく必要があります。スキャンするデバイスを変更する場合は、以下の手順で操作してください。

[Macintosh HD] ― [ライブラリ] ― [Printers] ― [Brother] ― [Utilities] ― [DeviceSelector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックする

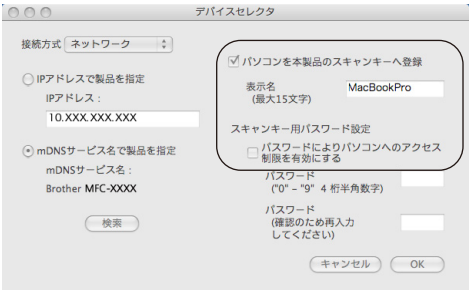
「デバイスセレクタ」画面が開きます。
デバイスセレクタは ControlCenter2 からも起動できます。P.206 を参照してください。

IP アドレスまたは mDNS サービス名で本製品を指定する

IP アドレスを変更するには、新しい IP アドレスを入力してください。
製品名の一覧から本製品を選択することもできます。
［検索］をクリックして一覧を表示してください。

項目を設定する

［OK］をクリックする

補足

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンしたい場合は、「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、表示名にお使いのMacintoshの名前を入力します。
- スキャンした原稿データをMacintoshに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

自動両面スキャンについて

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、［両面長辺とじ］または［両面短辺とじ］を選択することで自動両面スキャンをすることができます。

縦方向	横方向		LCDメッセージ
		→	両面長辺とじ
		→	両面短辺とじ

スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション		詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール	スキャン to Eメール送信	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。(本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、Macintosh上の操作は必要ありません。)	P.165
		スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをMacintoshに送信し、Eメール添付としてメールソフトが起動します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	P.168
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ		スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	P.169
	TWAINドライバ対応のアプリケーション		解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	P.176
	スキャン to OCR		スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word等で編集できます。	P.170
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル		スキャンしたデータをMacintoshのハードディスクに保存します。	P.171
	スキャン to FTP		スキャンしたデータを指定したFTPサーバに保存します。	P.172
	スキャン to ネットワークファイル		スキャンしたデータを指定したネットワーク上の共有フォルダに保存します。	P.173
	スキャン to USB		スキャンしたデータを本製品に差し込んだUSBメモリーに保存します。	P.174

補足

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

- TWAINとは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの スキャン を押してスキャンした原稿データを、Macintoshに送ってさまざまな形で利用します。
［スキャン］ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくはP.208を参照してください。

液晶ディスプレイに［次の原稿をセットしてください　OK ボタンを押してください］と表示された後、停止/終了 を押したり、しばらく操作を放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】

準備～本製品とメールサーバの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバ名（受信・送信）などの設定のことです。詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

スキャンした原稿をEメールで送る

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿は E メールの添付ファイルとして送信されます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

スキャン を押す

▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ　to　Eﾒｰﾙ」を選択する

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to PC
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

OK を押す

▲または▼を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し OK を押す

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［両面長辺とじ］または［両面短辺とじ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

▲または▼を押して「設定変更」を選択する

画質やファイル形式、ファイル名などを変更しない場合は、「ｱﾄﾞﾚｽ入力」を選択し、OK を押して、手順 12 へ進みます。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

OKを押す

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OKを押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[JPEG]、[XPS] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティ PDF]、[TIFF] を選択します。

11 OKを押す

保存する画像形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

12 送信先の E メールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法については画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、すでに登録してある E メールアドレスを入力することもできます。

13 スタートを押す

- 原稿のスキャンが開始されます。
- スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

補足

手順6〜10で画質を変更しない場合は、初期設定の画質・ファイル形式が適用されます。
詳しくは、P.182 を参照してください。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで送る

E メールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することもできます。画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限られます。インターネットファクスのアドレスは利用できません。

補足

スキャンの画質やファイル形式（スキャンプロファイル）は、E メールアドレスごとにワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録できます。詳しくは、ユーザーズガイド基本編2章「ファクス・電話帳 電話帳を作成する」を参照してください。

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

を押す

宛先の E メールアドレスが登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押す

を押す

- 原稿のスキャンが開始されます。
- スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿をEメールに添付して取り込むことができます。スキャンした原稿データがMacintoshに届くと、メール送信画面が起動します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択し［OK］を押す

［▲］または［▼］を押して「Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付」を選択し［OK］を押す

```
ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示
 OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 **［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し［OK］を押す**

（ネットワーク接続の場合）
［▲］または［▼］を押してスキャンした原稿を送信するMacintoshを選択する

ここでは、本製品に接続されているMacintoshが表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、Macintoshを選択した後にパスワードを入力してください。

［OK］を押す

［スタート］を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をMacintoshのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがMacintoshに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、Macintoshの画面に表示されます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

[スキャン]を押す

[▲]または[▼]を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択し[OK]を押す

[▲]または[▼]を押して「ｲﾒｰｼﾞ：PC 画像表示」を選択し[OK]を押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示
OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

[▲]または[▼]を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し[OK]を押す

（ネットワーク接続の場合）

[▲]または[▼]を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力してください。

[OK]を押す

[スタート]を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter2で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.209 を参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

[スキャン]を押す

[▲]または[▼]を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択し[OK]を押す

[▲]または[▼]を押して「OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換」を選択し[OK]を押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ：PC画像表示
OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

[▲]または[▼]を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し[OK]を押す

（ネットワーク接続の場合）

[▲]または[▼]を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力してください。

[OK]を押す

[スタート]を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、Macintoshの指定したフォルダに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、P.209 を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して「ｽｷｬﾝ to PC」を選択し［OK］を押す

［▲］または［▼］を押して「ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ保存」を選択し［OK］を押す

ｽｷｬﾝ to PC
▲OCR：ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
Eﾒｰﾙ：Eﾒｰﾙ添付
▼ﾌｧｲﾙ：ﾌｫﾙﾀﾞ保存
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

5

［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し［OK］を押す

（ネットワーク接続の場合）

［▲］または［▼］を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力してください。

［OK］を押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  ユーザ¥xxx¥ピクチャ
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦※
  mm：月※
  dd：日※
  xxxxx：通し番号
  ※ 本製品に接続されているMacintoshの日付が反映されます。

スキャンした原稿をFTPサーバに保存する【スキャン to FTP】

操作パネルの［スキャン］を押してスキャンした原稿データを、FTPサーバに保存します。
ドライバのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバ上に保存する機能です。スキャン to FTP を使用するには、ウェブブラウザであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法はP.187を参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバに送る

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

［スキャン］を押す

3

［▲］または［▼］を押して「スキャン to FTP」を選択し［OK］を押す

▲スキャン to ネットワークファイル
スキャン to Eメール
スキャン to PC
▼スキャン to FTP
▲▼で選択&OKボタン

［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し［OK］を押す

［▲］または［▼］を押して送信したい FTP サーバのプロファイル名を選択する

送信先の FTP サーバプロファイルを登録する方法は、P.187を参照してください。

［OK］を押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

を押す

ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPサーバは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示にならって設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を共有フォルダに保存する【スキャン to ネットワークファイル】

操作パネルの［スキャン］を押してスキャンした原稿データを、ネットワーク上の共有フォルダに保存します。
ドライバのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたCIFSサーバ上に保存する機能です。
スキャン to ネットワークファイルを使用するには、ウェブブラウザであらかじめプロファイルを登録する必要があります。
プロファイルを登録する方法はP.187 を参照してください。

スキャンした原稿を登録した共有フォルダに送る

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して「スキャン　to　ネットワークファイル」を選択し［OK］を押す

```
▲スキャン to USB
 スキャン to ネットワークファイル
 スキャン to Eメール
▼スキャン to PC
▲▼で選択&OKボタン
```

［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択し［OK］を押す

［▲］または［▼］を押して送信したいプロファイルを選択する

送信先の CIFS サーバをプロファイルに登録する方法は、P.187 を参照してください。

［OK］を押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

［スタート］を押す

ディスプレイに「接続中」と表示される

CIFS サーバへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

プロファイルは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示にならって設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿をUSBメモリーに保存する【スキャン to USB】

操作パネルの［スキャン］を押してスキャンした原稿を、本製品のUSBコネクタに接続したUSBメモリーに保存します。
ドライバのインストールは不要です。

USB メモリーを本製品の USB コネクタに接続する

スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

［スキャン］を押す

［▲］または［▼］を押して［ｽｷｬﾝ to USB］を選択し［OK］を押す

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to PC
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 **［▲］または［▼］を押して［両面長辺とじ］、［両面短辺とじ］または［片面］を選択する**

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［両面長辺とじ］または［両面短辺とじ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

［OK］を押す

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順7に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順14に進んでください。

［▲］または［▼］を押して「設定変更」を選択する

［OK］を押す

［▲］または［▼］を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

10 **［OK］を押す**

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティPDF]、[JPEG]、[XPS] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[セキュリティPDF]、[TIFF] を選択します。

OKを押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

保存するファイル名を入力する

- ファイル名は6文字まで入力することができます。
- 文字を削除するときは、クリア/バック を押します。

OKを押す

を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに BROTHER フォルダが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダがある場合は、その中に保存されます）

●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、P.185 を参照してください。

- ファイル形式
  カラー　100　dpi／PDF
- ファイル名
  yymmddxx
  yy：西暦の下2桁※
  mm：月※
  dd：日※
  xx：通し番号
  ※ 本製品の日付が反映されます。

アプリケーションからスキャンする

Macintosh側で、TWAIN対応のアプリケーションを操作してスキャンします。

TWAINドライバを使ってスキャンする

Macintoshからスキャンする場合は、TWAIN ドライバを使用し、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto! PageManager、Adobe Photoshop®など）から実行します。本製品がDevice Selectorで選択されていることを確認してください。

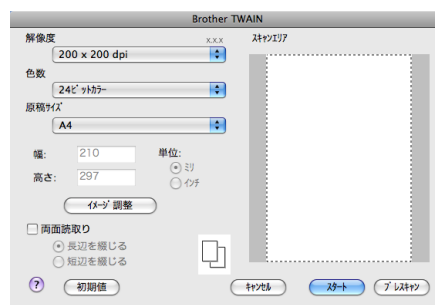
Macintosh を起動してアプリケーションソフトを起動する

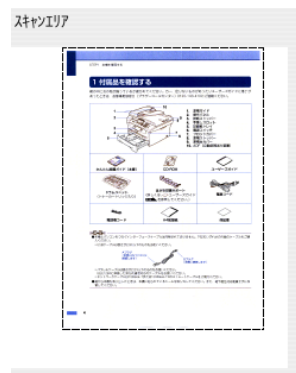
ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Brother TWAIN のスキャナウィンドウを表示させる

お使いのアプリケーションソフトウェアによってメニューの名称などは異なります。

- Presto! PageManagerの場合
  ［ファイル］メニューから［原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む］の順に選択する

［プレスキャン］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

点線をドラッグして、実際にスキャンする範囲を調節する

必要に応じてスキャナウィンドウ内の項目を設定する

設定項目の詳細については、P.177 を参照してください。

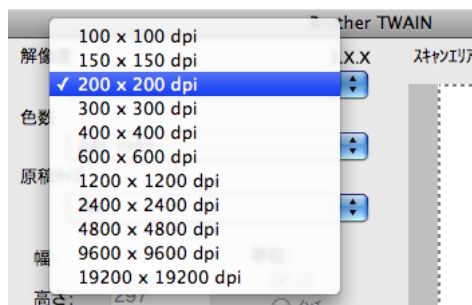
［スタート］ボタンをクリックする

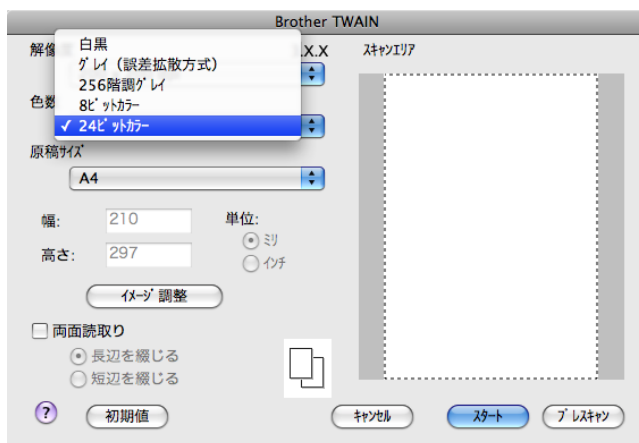
スキャンが終了するとアプリケーション上にイメージが表示されます。

TWAINダイアログボックスの設定項目

TWAINダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

● 解像度

スキャンの解像度は、解像度ポップアップメニューから選択します。より高い解像度を選択すると時間はかかりますが、精密なイメージを取り込むことができます。

● 色数

取り込む色数を設定します。

白黒

線画およびテキストのとき。

グレイ（誤差拡散方式）

写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。

256 階調グレイ

写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。

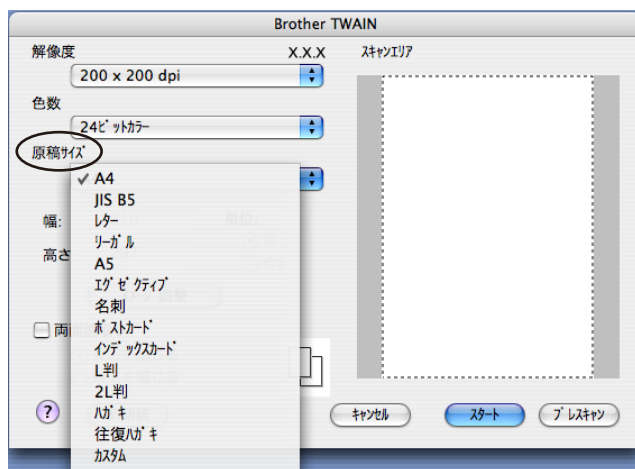
8 ビットカラー

256色のカラーで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。（解像度1200×1200dpi以上は対応していません。）

24 ビットカラー

1677万色のカラーで取り込みます。「8ビットカラー」の約3倍の容量です。

● 原稿サイズ

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。また、任意の寸法を入力したり任意の範囲を指定することもできます。

● イメージ調整

［イメージ調整］ボタンをクリックして、「明るさ」「コントラスト」「ColorSync」「ノイズ軽減」を調整します。
濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

「ColorSyncは」、ColorSync™を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

- マッチングスタイル
  知覚的（画像）…写真のようなイメージのとき選びます。
  彩度（グラフィックス）…はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
  相対的な色域を維持…色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
  絶対的な色域を維持…シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。
- スキャナ用プロファイル
  Brother sRGB Scannerを選びます。
- ノイズ軽減（24ビットカラーで解像度300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpiのときのみ）
  スキャンしたイメージのノイズを軽減します。スキャンしたイメージにノイズがある場合や、印字の際、縞状のパターンが発生する場合に使用してください。

自動両面スキャンする

両面に印刷された原稿を自動的に読取ることができます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

［両面読取り］のチェックボックスにチェックする

［長辺を綴じる］ または［短辺を綴じる］を選択します。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度や色数などの設定を調整する

［スタート］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］をクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

- スキャンする範囲をドラッグして調整することはできません。
- ［プレスキャン］ボタンは、使用することができません。

ソフトウェアを使うための設定

操作パネルからのスキャン設定

解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。また、スキャン to Eメール送信、スキャン to FTP、スキャン to ネットワークファイル、スキャン to USBでは、解像度とファイル形式の初期設定を変更できます。

ファイルサイズを変更する

メニュー、1、8 TUV、2 ABCの順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼でカラーまたはグレーを選択する

OKを押す

▲または▼でファイルサイズを選択する

［小］、［中］、［大］から選択できます。

補足

お買い上げ時は［中］に設定されています。

OKを押す

停止/終了を押す

スキャン to Eメール送信の初期設定を変更する

メニュー、7 PQRS、4 GHIの順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OKを押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］を選択できます。

OKを押す

停止/終了を押す

スキャン to FTPの初期設定を変更する

メニュー、7 PQRS、5 JKL の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼を押して解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OKを押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］ を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］ を選択できます。

OKを押す

停止/終了を押す

スキャン to ネットワークファイルの初期設定を変更する

メニュー、7 PQRS、6 MNO の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

▲ または ▼ を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OK を押す

▲ または ▼ を押して画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］ を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］ を選択できます。

OK を押す

停止/終了 を押す

スキャン to USBの初期設定を変更する

解像度と画像の形式を変更する

メニュー、5 JKL、2 ABC、1 の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

OKを押す

▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］を選択できます。

OKを押す

停止/終了を押す

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

ファイル名を変更する

1

メニュー、5 JKL、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

新しいファイル名を入力する

ファイル名は 6 文字まで入力できます。

OK を押す

停止/終了 を押す

FTP／ネットワークファイルの保存先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバやネットワーク上の共有フォルダに保存する際の送信先を、プロファイルとして10件まで登録することができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名......................................15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名..32字以内
- パスワード..32字以内
- 送信先フォルダ......................................60字以内

ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://XXXXX を入力する
- XXXXXは本製品のIPアドレスです。
- IPアドレスはネットワーク設定リストで確認することができます。ネットワーク設定リストの印刷方法については
ユーザーズガイド基本編4章「レポート・リスト　ネットワーク設定リストを印刷する」を参照してください。

「管理者設定」をクリックする

［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

必要に応じて設定を変更する

設定を変更する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ネットワークファイル　スキャン設定］をクリックすると以下の画面が表示され、【スキャン to FTP】または【スキャン to ネットワークファイル】の設定を変更することができます。
また、15文字以内で2種類のオリジナルファイル名を登録することができます。

補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。【スキャン to ネットワークファイル】のプロファイルを設定する場合は、上記画面の［ネットワーク］にチェックをしてから該当のプロファイルを設定してください。

プロファイルを設定する

本製品のウェブページから［管理者設定］-[FTP/ネットワークファイル　スキャンプロファイル]をクリックすると以下の画面が表示され、【スキャン to FTP】または【スキャン to ネットワークファイル】のプロファイルを設定することができます。

補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。【スキャン to ネットワークファイル】のプロファイルを設定する場合は、事前に［FTP/ネットワークファイル　スキャン設定］画面で［ネットワーク］にチェックをする必要があります。P.187 を参照してください。

プロファイル名をクリックすると以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。

【スキャン to FTP】の場合

brother
MFC-XXXX
ホームページ / メンテナンス情報 / リストとレポート / デバイスの検索 / 管理者設定 / ネットワーク設定
基本設定 / ファクス設定 / コピー設定 / プリンタ設定 / USBダイレクト
Brother Solutions Center

管理者設定
パスワードの設定 / Web表示
FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル / FTP/ネットワークファイル スキャン設定 / セキュリティ機能ロック
プロファイル名 1 / プロファイル名 2 / プロファイル名 3 / プロファイル名 4 / プロファイル名 5
プロファイル名 6 / プロファイル名 7 / プロファイル名 8 / プロファイル名 9 / プロファイル名 10

プロファイル名 1(FTP)

プロファイル名
サーバ アドレス
ユーザ名
パスワード
新しいパスワードの確認
転送先フォルダ
ファイル名　BRN001BA90009C9
画質　カラー 100dpi
ファイルタイプ　PDF
パッシブモード　○オフ　⊙オン
ポート番号　21

取消　OK

【スキャン to ネットワークファイル】の場合

brother
MFC-XXXX
ホームページ / メンテナンス情報 / リストとレポート / デバイスの検索 / 管理者設定 / ネットワーク設定
基本設定 / ファクス設定 / コピー設定 / プリンタ設定 / USBダイレクト
Brother Solutions Center

管理者設定
パスワードの設定 / Web表示
FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル / FTP/ネットワークファイル スキャン設定 / セキュリティ機能ロック
プロファイル名 1 / プロファイル名 2 / プロファイル名 3 / プロファイル名 4 / プロファイル名 5
プロファイル名 6 / プロファイル名 7 / プロファイル名 8 / プロファイル名 9 / プロファイル名 10

プロファイル名 6(ネットワーク)

プロファイル名
サーバ アドレス
転送先フォルダ
ファイル名　BRN001BA90009C9
画質　カラー 100dpi
ファイルタイプ　PDF
接続時にパスワード認証を行う　⊙オフ　○オン
接続パスワード　0000

認証設定
認証方法　⊙自動　○Kerberos　○NTLMv2
ユーザ名
ドメイン名を指定するには、ユーザ名欄に下記形式で入力してください。
ユーザ名@ドメイン名
ドメイン名\ユーザ名
パスワード
新しいパスワードの確認
Kerberosサーバアドレス

取消　OK

プロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

「サーバアドレス」にサーバのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

【スキャン to FTP】の場合のみ
サーバにログインするためのユーザ名を入力する

【スキャン to FTP】の場合のみ
サーバにログインするためのパスワードを入力する

スキャンした原稿の転送先フォルダを入力する

転送先フォルダのパスを入力します。（例：brother/abc/）

必要に応じて［ファイル名］から、画像を保存するファイル名を選択する

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、次の「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナのカウンタ（6 文字）＋拡張子が付きます。（例：Mitsumori098765.pdf）

必要に応じて［画質］から解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100　dpi
- カラー　200　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- グレー　100　dpi
- グレー　200　dpi
- グレー　300　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

必要に応じて［ファイルタイプ］から画像の形式を選択する

- カラー /グレーを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［セキュリティ PDF］、［TIFF］を選択できます。

補足

「セキュリティ PDF」を選択した場合は、スキャン開始前に4桁のパスワードを入力する必要があります。

【スキャン to FTP】の場合
必要に応じて、パッシブモードとポート番号を設定する

ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありませんが、FTP サーバの設定を御確認ください。

【スキャン to ネットワークファイル】の場合
必要に応じて、パスワード認証を設定する

[OK] をクリックする

設定した内容で、プロファイルが登録されます。

Macintosh編

4章

リモートセットアップ

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をMacintoshで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［Remote Setup］アイコンをダブルクリックします。
ネットワーク接続時は、パスワードを入力する必要があります。（初期設定は“access”）
リモートセットアップはControlCenter2からも起動できます。P.217 を参照してください。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド基本編8章「付録　機能一覧」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にMacintoshにダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いの Macintosh に Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイドを参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ウィルスバスター™などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド基本編4章「レポート・リスト　設定内容リストを印刷する」と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モードタイマー	–	○
	記録紙設定	記録紙タイプ	○
		記録紙サイズ	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープ　モード	○
	トレイ選択	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	画面のコントラスト	–	×
	セキュリティ	セキュリティ機能ロック	×
		セキュリティ設定ロック	×
	原稿読み取り設定	原稿台スキャンサイズ	○
		ファイルサイズ	○
		両面読み取り方向	○
ファクス	受信設定	呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
		両面印刷	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○
		リアルタイム送信	○
		ポーリング送信	×
		送付書	○
		送付書コメント	○
		海外送信モード	×
	電話帳登録	電話帳/ワンタッチ	○
		電話帳/短縮	○
		電話帳/グループ	○
	レポート設定	送信結果レポート	○
		通信管理間隔	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	応用機能	転送/メモリー受信	○
		暗証番号	○
		ファクス出力	×
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチ ダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○
		LDAPサーバ	○
	通信待ち確認	–	×
	その他	安心通信モード	×
		ナンバーディスプレイ	×
コピー	コピー画質	–	○
	FBテキスト画質	–	○
	明るさ	–	○
	コントラスト	–	○
プリンタ	エミュレーション	–	×
	プリンタ オプション	フォント リスト	×
		プリンタ設定	×
		テスト プリント	×
	両面印刷	–	○
	プリンタ リセット	–	×
USBダイレクト	ダイレクト プリント	記録紙サイズ	○
		記録紙タイプ	○
		レイアウト	○
		印刷の向き	○
		部単位	○
		プリント画質	○
		PDFオプション	○
		インデックス プリント	○
	スキャン to USB	解像度	○
		ファイル名	○
レポート印刷	送信結果レポート	表示	×
		印刷	×
	機能案内	–	×
	電話帳リスト	メモリー番号順	×
		名前順	×
	通信管理レポート	–	×
	設定内容リスト	–	×
	着信履歴リスト	–	×
	ネットワーク設定リスト	–	×
ネットワーク	有線LAN	TCP/IP設定	○
		イーサネット	○
		初期設定に戻す	×
		有線LAN有効	×
	無線LAN	TCP/IP設定	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ネットワーク	無線LAN	無線接続ウィザード	×
		SES/WPS/AOSS	×
		WPS(PIN方式)	×
		無線状態	×
		初期設定に戻す	×
		無線LAN有効	×
	Eメール/IFAX	メールアドレス	○
		サーバ設定	○
		メール受信設定	○
		メール送信設定	○
		リレー設定	○
	スキャン to Eメール	–	○
	スキャン to FTP	–	○
	スキャン to ネットワークファイル	–	○
	タイムゾーン	–	○
	ネットワーク設定リセット	–	×
製品情報	シリアルNo.	–	×
	印刷枚数表示	–	×
	消耗品寿命	ドラム寿命	×
		ヒーター寿命	×
		レーザー寿命	×
		PFキットMP 寿命	×
		PFキット 1 寿命	×
		PFキット 2 寿命	×
サービス	データ転送	ファクス転送	×
		レポート転送	×
初期設定	受信モード	–	○
	時計セット	–	○
	発信元登録	–	○
	回線種別設定	–	○
	ダイヤルトーン設定	–	○
	特別回線対応	–	×
	ナンバー プレフィックス	–	○
	リセット	機能設定	×
		ネットワーク	×
		電話帳 & ファクス	×
		全設定	×
	表示言語	–	×

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド基本編8章「付録　機能一覧」参照してください。

電話帳を登録する

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「電話帳登録」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大40件（01〜40）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001〜300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は10桁（漢字入力の場合）まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

登録する短縮番号の行にある「ファクス／電話」に電話番号、ファクス番号を入力する

種別を選ぶ

「相手先名称」に相手先の名前を入力する

漢字で登録 / 修正することができます。

グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

［OK］をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～20」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

「相手先名称」にグループ名を入力する

グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

[OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

Macintosh編

5章

PCファクス

Macintoshからファクスを送る

PCファクスを利用すると、Macintosh上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。あらかじめ、Macintosh上のアドレスブックに相手先を登録しておくことで、アドレスブックを呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

Mac OS Xの最新バージョンへの対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しています。以下のサイトを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

Mac OS X 10.3.9～10.4.xの場合

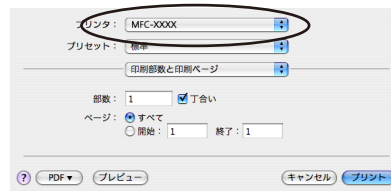
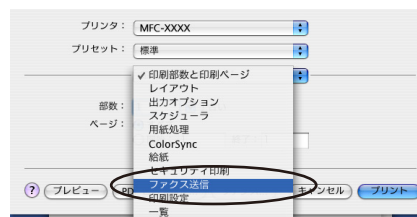
Macintosh のアプリケーションでファイルを作成する

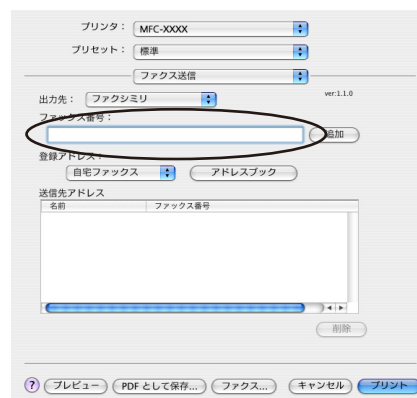
［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。
お使いの機種名が表示されているか確認してください。

プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作をくり返して、すべてのファクス番号を入力します。

［プリント］をクリックする

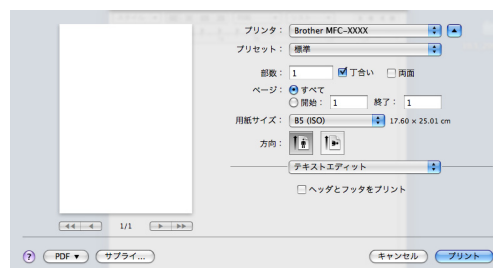
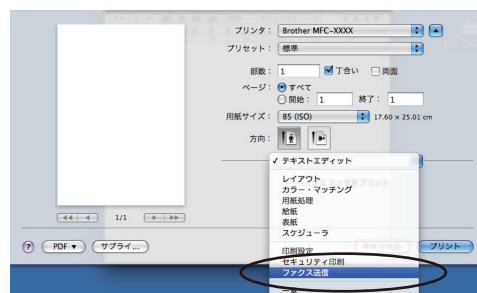
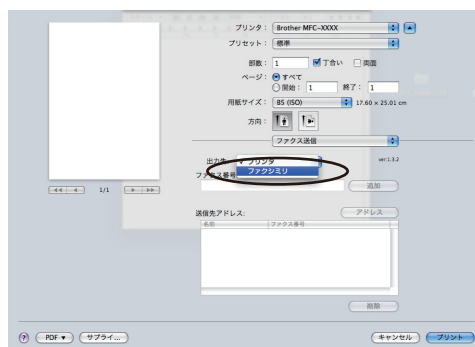
ファクス送信が開始されます。

Mac OS X 10.5.x～の場合

Macintosh のアプリケーションでファイルを作成する

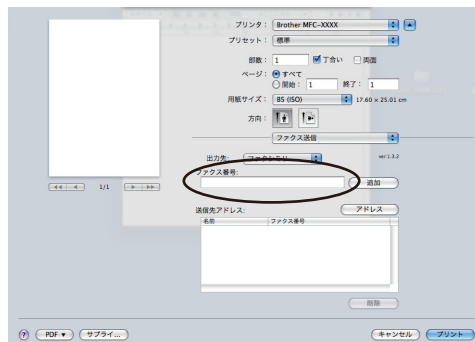
［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。
お使いの機種名が表示されているか確認してください。

3 ［プリンタ］ポップアップメニューの横の ▼ をクリックする

プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作をくり返して、すべてのファクス番号を入力します。

［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

アドレスブックを利用する

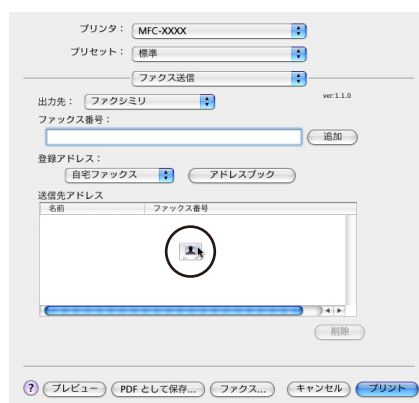
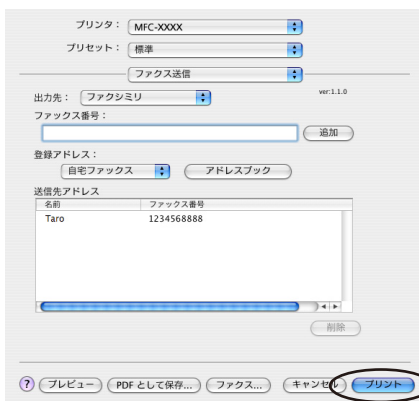
Mac OS X 10.3.9～10.4.xの場合

アドレスブックからvCardをドラッグすることで送信先を設定することができます。

[アドレスブック] をクリックする

アドレスブックが起動します。

アドレスブックから vCard を［送信先アドレス］までドラッグする

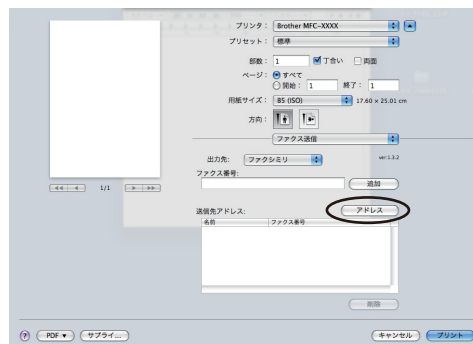
［送信先アドレス］に番号が表示されます。

ファクス送信先の設定が完了したら、[プリント] をクリックする

注意

■vCardは自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

Mac OS X 10.5.x～の場合

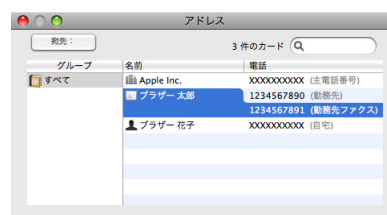
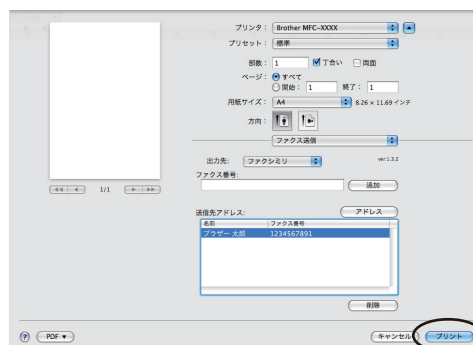
[アドレス] をクリックする

アドレスブックが起動します。

ファクスの送り先をアドレスブックから選択して [宛先] をクリックする

[送信先アドレス] に番号が表示されます。

ファクス送信先の設定が完了したら、[プリント] をクリックする

Macintosh編

6章

その他の便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の画面

ControlCenter2では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。
ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。

①モデル

使用中のモデルが表示されます。[その他]を選択すると、デバイスセレクタが表示されます。

②スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.208 を参照してください。

③カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.211 を参照してください。

④コピー /PC-FAX

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.213 を参照してください。

また、スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。P.213 を参照してください。

⑤デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.217 を参照してください。

ControlCenter2を起動する

[Macintosh HD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [ControlCenter] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

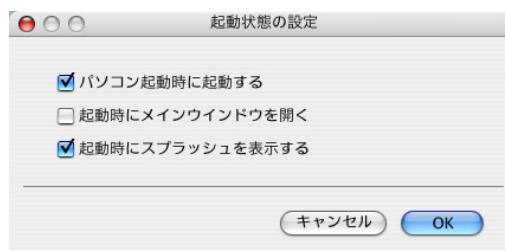
起動時の動作を設定する

Macintoshを起動したとき、ControlCenter2も同時に起動させることができます。

メニューバーの をクリックして、[起動状態の設定] を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2 が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウインドウを開く：
  ControlCenter2 が起動し、ウインドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動する画面を表示します。

[OK] をクリックする

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、Macintoshで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにMacintoshの指定したフォルダに保存します。

スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。
それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。

- Windows® ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF（*.TIF）
- TIFFマルチページ（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）
- パスワード付きPDF（*.PDF）

補足
TIFFおよびTIFFマルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

［Control］キーを押しながらボタンをクリックする

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本体スキャンボタンの設定］をクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合

［OK］をクリックする

スキャンの設定

① ファイル名（「ファイル」のみ）

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② 使用する E メールアプリケーション（「E メール」のみ）/ 使用するアプリケーション（「イメージ」/「OCR」のみ）

スキャンした原稿を添付するEメールアプリケーション、またはスキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。
［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

③ ファイル形式

データのファイル形式を選択します。「パスワード付きPDF（*.pdf）」を選択すると、ファイルを開くときのパスワードを設定することができます。

④ 保存先フォルダ（「ファイル」のみ）

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

⑤ スキャン毎に名前をつける（「ファイル」のみ）

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥ ファイルサイズ（「イメージ」、「ファイル」、「E メール」のみ）

- 解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。
- ファイル形式で「TIFF」または「TIFFマルチページ」を選択した場合は、［圧縮］または［非圧縮］を選択することができます。

⑦ 保存先フォルダを開く（「ファイル」のみ）

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑧ OCR アプリケーション（「OCR」のみ）

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCRソフトウェア）を選択します。

⑨ OCR 言語（「OCR」のみ）

変換する言語を選択します。

⑩ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

⑪ 解像度 / 色数 / 原稿サイズ / 両面読取り / 明るさ / コントラスト

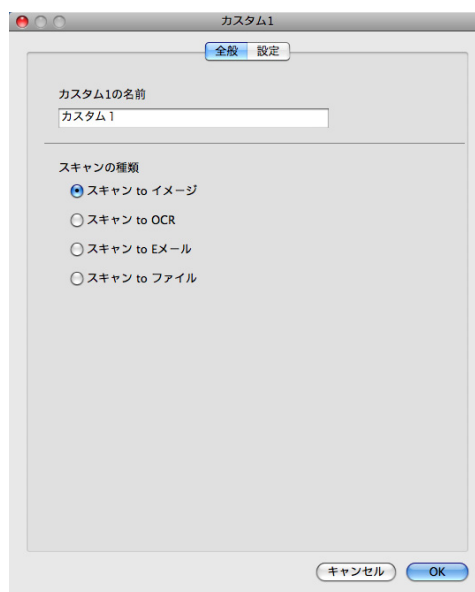
必要に応じて設定します。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。

よく使う設定を登録する

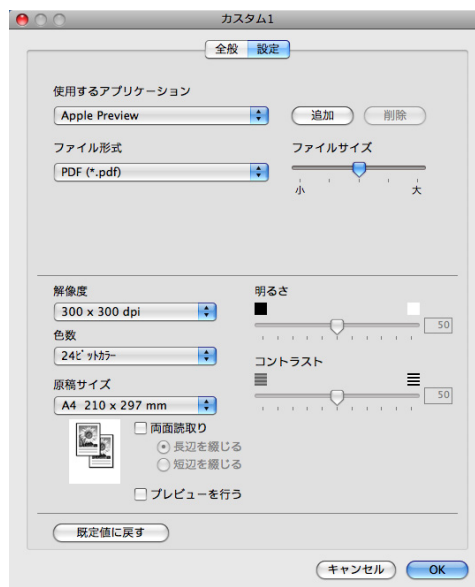
[Control] キーを押しながらボタンをクリックする

「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

「カスタム 1 の名前」に名前を入力する

スキャンの種類を選択する

スキャンの種類は「スキャン to イメージ」「スキャン to OCR」「スキャン to E メール」「スキャン to ファイル」から選びます。

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

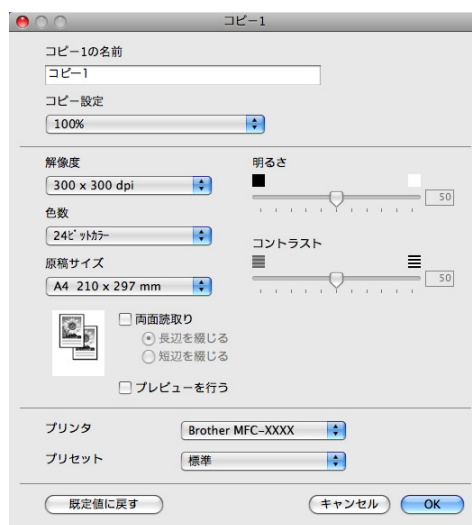
設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PCファクス

原稿をコピーしたり、Macintoshからファクスをします。コピーとファクス送信の設定を４つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

［Control］キーを押しながらボタンをクリックする

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

「コピー 1 の名前」に名前を入力する

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

コピーを実行する

原稿をセットする

ControlCenter2 の「コピー /PC-FAX」をクリックする

実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする

[プリント] をクリックする

コピーが実行されます。

ファクスを送信する

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

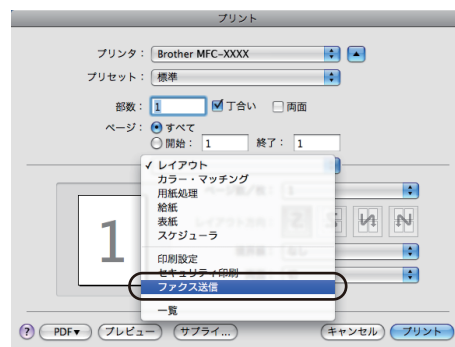
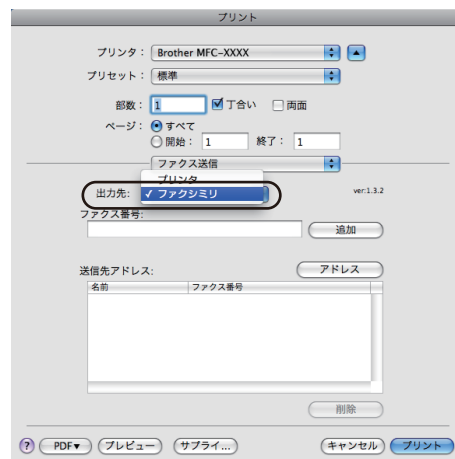
原稿をセットする

ControlCenter2 の「コピー /PC-FAX」をクリックする

実行するコピーのボタンをクリックする

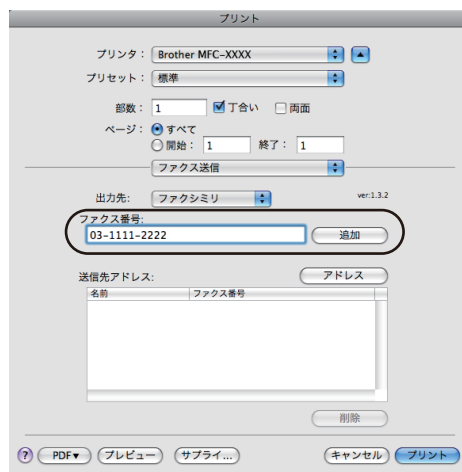
ページ設定画面が表示されます。

「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

「出力先」で「ファクシミリ」を選ぶ

「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする

補足

複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

詳しくは、P.200 を参照してください。

［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

補足

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

① リモートセットアップ

Macintosh上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.192を参照してください。

② 電話帳

Macintosh上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくは、P.197を参照してください。

③ ステータスモニタ

Macintosh上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくは、P.147を参照してください。

付　録

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド基本編７章「こんなときは　エラーメッセージ」を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイド基本編7章「こんなときは　故障かな？と思ったら」を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行っても問題が解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

エミュレーションモードの設定

印刷データを受け取ったとき、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷することができます。下記のエミュレーションモードが自動で選択されます。

● HP LaserJet モード

HP LaserJet モード（HP モード）は、ヒューレット・パッカードLaserJet レーザープリンタのPCL6 言語互換のエミュレーションモードです。
アプリケーションソフトがヒューレット・パッカード LaserJet レーザープリンタの PCL6 言語に対応している場合は、このモードを使用すると、最も品質のよい印刷が可能です。

● EPSON FX-850 モード

EPSON FX-850モードは、ドットマトリクスプリンタ用の業界基準を準拠するためのエミュレーションモードです。ドットマトリクス対応プリンタとして印刷する必要がある場合は、このモードを使用してください。

● BR-Script 3 モード

BR-Script 3 モードは、当社独自の言語とPostScript® 言語の解析プログラムで構成されたエミュレーションモードです。レベル3 のPostScript® に対応したテキストやグラフィックスの印刷が可能です。

PostScript のコマンドに関する技術的な情報は、下記の文献を参照してください。

- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Reference, third Edition. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1999. ISBN: 0-201-37922-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Program Design. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1988. ISBN: 0-201-14396-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Tutorial and Cookbook. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1985. ISBN: 0-201-10179-3

メニュー、4 GHI、1 の順に押す

▲または▼で選択してOKで決定することも可能です。

▲または▼を押して「自動」、「HP LaserJet」、「BR-Script 3」または「Epson FX-850」を選択する

お買い上げ時は「自動」に設定されています。

OKを押す

エミュレーションモードが登録されます。

停止/終了を押す

設定メニューを終了します。

動作環境

Windows®

本製品とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

OS	CPU	メモリ
Windows Vista®	32ビット（x86）または 64ビット（x64）プロセッサ	512MB（推奨1GB）以上の システムメモリ
Windows® XP Professional	32ビット（x86）プロセッサ	128MB（推奨256MB）以上の システムメモリ
Windows® XP Professional x64 Edition	64ビット（x64）プロセッサ	256MB（推奨512MB）以上の システムメモリ
Windows® XP Home	32ビット（x86）プロセッサ	128MB（推奨256MB）以上の システムメモリ
Windows® 2000 Professional	32ビット（x86）プロセッサ	64MB（推奨256MB）以上の システムメモリ
Windows Server® 2008	32ビット（x86）または 64ビット（x64）プロセッサ	512MB（推奨2GB）以上の システムメモリ
Windows Server® 2003	32ビット（x86）プロセッサ	256MB（推奨512MB）以上の システムメモリ
Windows Server® 2003 x64 Edition	64ビット（x64）プロセッサ	256MB（推奨512MB）以上の システムメモリ

補足

- 上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。
- Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008は、ネットワークプリントのみ対応しています。

ディスク容量

OS	空き容量
Windows Vista®	1GB以上
Windows® XP Professional	460MB以上
Windows® XP Professional x64 Edition	
Windows® XP Home	
Windows® 2000 Professional	
Windows Server® 2008	50MB以上
Windows Server® 2003	
Windows Server® 2003 x64 Edition	

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

IEEE1284準拠（双方向パラレルインターフェース）
Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のコンピュータでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN：IEEE802.11 b/g

補足

- パラレルケーブル、USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- インストール時には、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

Macintosh

本製品とMacintoshを接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

OS	CPU	メモリ
Mac OS X 10.4.4以降	Power PC G4/G5、 Intel® Core™ Processor	512MB（推奨1GB）以上
Mac OS X 10.3.9～10.4.3	Power PC G4/G5、 Power PC G3 350MHz 以上	128MB（推奨256MB）以上

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のコンピュータでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN：IEEE802.11 b/g

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS X 10.3.8までをお使いの場合は、Mac OS X 10.3.9以降へのアップグレードが必要となります。

索　引

よ

り

れ